NTT docomo

Galaxy S8

SC-02J

取扱説明書

’18.3

はじめに

「SC-02J」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）
各部の名称と機能について説明しています。

■「取扱説明書」（本端末のアプリ）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
- ホーム画面で → 「取扱説明書」をタップします。
  項目によっては、記載内容をタップして、説明ページよりダイレクトに内容の参照や機能の起動を行うことができます。
- 初めてご利用される際には、画面の指示に従って本アプリのダウンロードとインストールをする必要があります。
- 「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で「Playストア」から「SC-02J取扱説明書」を検索し、「取扱説明書」アプリをダウンロードしてください。

■「取扱説明書」（PDFファイル）
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
- ドコモのホームページでダウンロード
  https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/sc02j/index.html

※ 最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。
- タップとは、本端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です（P.29）。

（例）ディスプレイのホーム画面から、（アプリアイコン）、（設定アイコン）を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で → 「設定」

- 本書の操作手順や画面は、主に初期状態に従って記載しています。本端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書は端末カラーが「Orchid Gray」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。ホームアプリは、ホーム画面で「ホーム切替」をタップして切り替えられます。
- ホーム画面やアプリ画面などに、操作方法などを説明するガイダンス画面が表示される場合があります。「以後表示しない」などの選択項目が表示されている画面は、選択すると、以後表示されなくなります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-02J」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

SC-02J本体（保証書付き）

ご利用にあたっての注意事項

クイックスタートガイド

外付けテレビアンテナケーブル SC04

AKGチューニングマイク付高音質イヤホン（試供品）

SIM取り出しツール（試供品）

本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html

目次

目次/注意事項
本体付属品 …… 1
本端末のご利用について …… 4
安全上のご注意（必ずお守りください） …… 5
取り扱い上のご注意 …… 14
防水/防塵性能 …… 18

ご使用前の確認と設定
各部の名称と機能 …… 20
ドコモnanoUIMカード …… 21
microSDカード …… 24
充電 …… 26
電源を入れる/切る …… 28
基本操作 …… 29
文字入力 …… 33
初期設定 …… 36
通知LED …… 37
画面表示とアイコン …… 37
通知パネルについて …… 39
エッジスクリーン …… 40
ホーム画面 …… 44
アプリ画面 …… 45
クイック検索ボックスを使用する …… 49
最近使用したアプリの一覧 …… 49
分割画面表示を利用する …… 50
ホームアプリの切り替えかた …… 51
緊急時長持ちモードを有効にする …… 51

docomo LIVE UX
ホーム画面の見かた …… 52
ホーム画面の管理 …… 53
アプリ画面の見かた …… 54
アプリの管理 …… 55
おすすめアプリのインストール …… 55
すべてのアプリを表示 …… 56
ホーム画面のバックアップと復元 …… 56
マイマガジンの利用 …… 57
ホームアプリの情報 …… 57

電話
電話をかける …… 58
電話を受ける …… 59
通話中の操作 …… 60
履歴 …… 62
伝言メモ …… 63
国際電話（WORLD CALL）を利用する …… 63
通話設定 …… 64
電話帳 …… 67

メール/ウェブブラウザ
ドコモメール …… 70
SMS …… 70
Eメール …… 72
Gmail …… 74
緊急速報「エリアメール」 …… 75
ウェブブラウザ …… 76

アプリ
dメニュー …… 79
dマーケット …… 79
Playストア …… 80
Galaxy Apps …… 80
おサイフケータイ …… 81
トルカ …… 83
テレビ（フルセグ/ワンセグ） …… 83
カメラ …… 90
ギャラリー …… 94
プレイヤー …… 95
GPS/ナビ …… 96
時計 …… 97
カレンダー …… 98
Galaxy Notes …… 99
ボイスレコーダー …… 100
電卓 …… 101
ドコモデータコピー …… 101
YouTube …… 103
辞書 …… 103
S Health …… 104

本体設定
設定メニュー …… 105
接続 …… 106
サウンドとバイブ …… 112
通知 …… 114
ディスプレイ …… 115
壁紙とテーマ …… 116
端末のメンテナンス …… 116
アプリ …… 118
ロック画面とセキュリティ …… 119
クラウドとアカウント …… 126
ドコモのサービス/クラウド …… 127
Google™ …… 128
ユーザー補助 …… 128
一般管理 …… 130
ソフトウェア更新 …… 131
端末情報 …… 132

ファイル管理
ストレージ構成 …… 133
ファイル操作 …… 133

データ通信	Bluetooth®通信	135
	NFC通信	136
外部機器接続	パソコンとの接続	137
	プリンターとの接続	138
	Smart View	139
海外利用	国際ローミング（WORLD WING）の概要	140
	海外で利用可能なサービス	140
	海外でご利用になる前に	141
	滞在先で電話をかける／受ける	142
	国際ローミングの設定	143
	帰国後の確認	144
付録／索引	試供品	145
	トラブルシューティング（FAQ）	145
	あんしん遠隔サポート	151
	保証とアフターサービス	151
	ソフトウェアアップデート	153
	主な仕様	154
	携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて	156
	輸出管理規制	159
	知的財産権	160
	SIMロック解除	161
	索引	162

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、ドコモminiUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 本端末は、iモードのサイト（番組）への接続やiアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末では、マナーモード中（バイブ、サイレント）でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末情報」をタップします。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態にすることができます（P.153）。
- 本端末は、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める各利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因する全ての不具合について、当社では一切責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面に従って操作してください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し端末のセキュリティを確保してください（P.120）。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスの加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモnanoUIMカード、外付けテレビアンテナケーブルの取り扱いについて（共通） …… P.6
2. 本端末の取り扱いについて …… P.7
3. アダプタ、ワイヤレスチャージャーの取り扱いについて …… P.9
4. ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて …… P.10
5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて …… P.11
6. 材質一覧 …… P.11
7. 試供品（AKGチューニングマイク付高音質イヤホン、SIM取り出しツール）の取り扱いについて …… P.12

1.本端末、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモnanoUIMカード、外付けテレビアンテナケーブルの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止
高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P.18「防水／防塵性能」

禁止
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P.18「防水／防塵性能」

禁止
本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける

分解禁止
分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水濡れ禁止
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P.18「防水／防塵性能」

水濡れ禁止
充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P.18「防水／防塵性能」

指示
オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告

禁止
落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

禁止
ワイヤレスチャージャーや本端末に金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止
ワイヤレスチャージャーと本端末の間に、金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示
ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、本端末に装着しているカバーなどは取り外してください。
カバーの材質や厚み、本端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがなどの原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。
指示
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
指示
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
指示
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(NFC ／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください。)

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
指示
- 電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

破損したまま使用しないでください。
禁止
火災、やけど、けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
禁止
落下して、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
禁止
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P.18「防水／防塵性能」

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
禁止
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
禁止
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようご注意ください。
指示
アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

2.本端末の取り扱いについて

⚠ 危険

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
禁止
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
禁止
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

本端末内部の物質などが目や口の中に入ったときは、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
指示
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告

禁止 **虹彩認証を乳幼児に対して使用しないでください。**
視力障害などの原因となります。

禁止 **ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。**
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止 **自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。**
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止 **点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。**
けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止 **本端末内のドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**
また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。**
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。**
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示 **病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。**
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。**
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

指示 **心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。**
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。**
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示 **内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

指示 **ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。**
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

禁止 **モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。**
けがなどの事故の原因となります。

禁止 **ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。**
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止 **一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止 **内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。**
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

指示 **めまい、発作、意識喪失、失神などのてんかんに関連する症状を経験したり、ご家族がこのような症状を経験されている場合は、虹彩認証のご使用にあたって医師とよく相談してください。**

指示 **ドコモnanoUIMカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端にご注意ください。**
SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。

指示 **自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示 **本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。**
各箇所の材質については以下をご参照ください。
→ P.11「材質一覧」

指示 **本端末の受話口、リアカメラ部、スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。**
付着物により、けがなどの原因となります。

指示 **ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。**
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

3.アダプタ、ワイヤレスチャージャーの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止 **アダプタやワイヤレスチャージャーのコードが傷んだら使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **アダプタやワイヤレスチャージャーは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **雷が鳴り出したら、アダプタやワイヤレスチャージャーには触れないでください。**
感電などの原因となります。

禁止 **コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **アダプタやワイヤレスチャージャーのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。**
発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止 **本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、ワイヤレスチャージャー、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意

禁止

コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

4. ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
けがなどの原因となります。

5.医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

6.材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ(タッチスクリーン)	ガラス	AFコーティング
外装ケース(側面)	アルミニウム	陽極酸化
スリット(上部、下部)	PBT-GF45%(MA-5450/K24615)	−
ドコモnanoUIMカード/microSDカードトレイ	PC	レーザー刻印
ドコモnanoUIMカード/microSDカードトレイ(側面)	アルミニウム	陽極酸化
背面パネル	ガラス	ASコーティング
電源/画面ロックキー、音量UPキー/音量DOWNキー/シャッターキー、Bixbyキー	アルミニウム	陽極酸化
受話口	アルミニウム	陽極酸化
指紋センサー(周囲部分)	アルミニウム	陽極酸化
指紋センサー(中央部分)	エポキシ樹脂	UV硬化樹脂
リアカメラ周辺部	アルミニウム	陽極酸化
リアカメラレンズパネル	ガラス	AFコーティング
USB Type-C接続端子	コルソン合金およびSTS630	金メッキおよびニッケルメッキ
USB Type-C接続端子(周囲部分)、ヘッドホン接続端子(周囲部分)	PBT-GF45%(MA-5450/K24615)	−
ヘッドホン接続端子	銅・チタン合金	金メッキ

使用箇所		使用材質	表面処理
外付けテレビアンテナケーブル SC04	イヤホンマイク端子（金属部）	真鍮	ニッケルメッキおよび金メッキ
	イヤホンマイク端子外装、接続プラグ外装	低密度ポリエチレン、熱可塑性エラストマー	−
	ケーブル	JLS-FR331W803F BLACK	−
	接続プラグ（金属部）	真鍮	ニッケルメッキおよび金メッキ
	接続プラグ（樹脂部）	低密度ポリエチレン、熱可塑性エラストマー	−
AKGチューニングマイク付高音質イヤホン	プラグ（金属部）	銅、ニッケル	ニッケルメッキ
	プラグ（外装）	TPE	腐食処理
	ケーブル（ひも部）	ポリエステル	撥水コーティング
	ケーブル分岐部	TPE	腐食処理
	ケーブルコントロールリング	TPE	腐食処理
	ケーブル	TPE	−
	スイッチ	PC	UVコーティング、HB透明プライマー処理
	イヤホンスピーカー部	TPU	放電腐食処理
	イヤホン外装	PC	UVコーティング、HB透明プライマー処理
	イヤホン（AKG部）	アルミニウム	サンディング処理、ダイアカット処理、陽極酸化処理
	イヤホン（スピーカー側ケーブル境界）	TPE	腐食処理
	イヤピース	シリコン	腐食処理
SIM取り出しツール		SUS304	バレル研磨

7.試供品（AKGチューニングマイク付高音質イヤホン、SIM取り出しツール）の取り扱いについて

⚠ 危険

禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。

禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
指示
各箇所の材質については以下をご参照ください。
→ P.11「材質一覧」

■ AKGチューニングマイク付高音質イヤホン

⚠ 危険

分解、改造をしないでください。
分解禁止
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
水濡れ禁止
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
禁止
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

自動車などを運転中にAKGチューニングマイク付高音質イヤホンを操作しないでください。
禁止
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

AKGチューニングマイク付高音質イヤホンを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
禁止
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

⚠ 注意

AKGチューニングマイク付高音質イヤホンのコードを持って本端末を振り回さないでください。
禁止
本人や他の人に当たったり、コードが外れたりするなど、けがなどの事故の原因となります。

AKGチューニングマイク付高音質イヤホンを使用するときは、音量に気を付けてください。
指示
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

■ SIM取り出しツール

⚠ 警告

SIM取り出しツールの先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
禁止
本人や他の人に当たり、けがや失明などの原因となります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
禁止
落下して、けがなどの原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **SC-02Jは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**
アダプタ、ワイヤレスチャージャー、ドコモnanoUIMカード、外付けテレビアンテナケーブルは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用できない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。

■ **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
指定のオプション品以外を使用した場合、故障、破損の原因となります。

■ **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

■ **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

■ **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は0℃～35℃、湿度は0%～95%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常はドコモnanoUIMカード／ microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。**
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。

■ **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると端末の誤作動の原因となります。

■ **本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。**
近接・照度センサーを使用する各種機能が動作しない、ワイヤレスチャージャーで充電できないなど、正常に動作しない場合があります。
近接・照度センサーの位置は、以下をご参照ください。
⇒ P.20「各部の名称と機能」

■ **内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。**
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**

■本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
・電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。

■本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

アダプタ、ワイヤレスチャージャーについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

■毛布などを被せた状態でワイヤレスチャージャーを使用しないでください。

■指定の機器や専用ACアダプタ以外は、ワイヤレスチャージャーに使用しないでください。

■本端末にアダプタやUSBケーブルを接続している状態でワイヤレスチャージャーに置かないでください。

■磁気カードや磁気を帯びたものをワイヤレスチャージャーに近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤作動の原因となります。

ドコモnanoUIMカードについてのお願い

■ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用できない場合があります。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

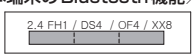
Bluetooth機能を利用する場合のお願い

■本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。

■Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■周波数帯について

本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。



2.4	：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
FH/DS/OF/XX	：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDM、その他の方式であることを示します。
1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
8	：想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

■無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては利用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■5GHz機器使用上の注意事項

本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を利用できます。

- 5.2GHz帯（W52／36、40、44、48ch）
- 5.3GHz帯（W53／52、56、60、64ch）
- 5.6GHz帯（W56／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）

本端末に内蔵の無線LANを5.2GHz／5.3GHz帯でご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについてのお願い

■ 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター , P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。

■ 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター , P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。
また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

■ 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

試供品（AKGチューニングマイク付高音質イヤホン、SIM取り出しツール）についてのお願い

AKGチューニングマイク付高音質イヤホン

■ 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をかけないでください。
AKGチューニングマイク付高音質イヤホンは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

■ 端子は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子が汚れた状態で使用すると、正常にご利用できない場合があります。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ 本端末からAKGチューニングマイク付高音質イヤホンを取り外すときは、必ずAKGチューニングマイク付高音質イヤホンのプラグ部分を持って本端末から水平に引き抜いてください。
無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

SIM取り出しツール

■ SIM取り出しツールを、ドコモnanoUIMカード／ microSDカードトレイイジェクトホール以外の穴などに挿入しないでください。
故障、破損の原因となります。

■ 無理な力がかからないように使用してください。
故障、破損の原因となります。

■ 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。

■ SIM取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。
携帯端末の故障、破損の原因となります。

注意

■ 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク 〒 」が本端末の電子銘板に表示されております。
電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末情報」→「認証情報」
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。

■ 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

SC-02Jは、ドコモnanoUIMカード／ microSDカードトレイを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 SC-02JにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にSC-02Jを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。（水中においてカメラ機能は使用できません。）

※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SC-02Jが有する防水性能でできること

■ 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。

■ 常温の水道水で手洗いすることができます。

- 規定（P.18）以上の強い水流を直接当てないでください。
- ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
- 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
- 洗った後は所定の方法（P.19）で水抜きしてください。
- 強くこすらずに洗ってください。

防水／防塵性能を維持するために

■ 水や粉塵の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- ヘッドホン接続端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、USB Type-C接続端子などを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- ドコモnanoUIMカード／ microSDカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定（P.18）以上の強い水流を直接当てないでください。SC-02JはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ヘッドホン接続端子、送話口／マイク、受話口、スピーカーなどに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- ドコモnanoUIMカード／ microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に水が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、ドコモnanoUIMカード／ microSDカードトレイの取り付け／取り外しはしないでください。

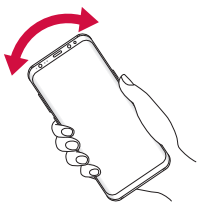
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水抜きについて

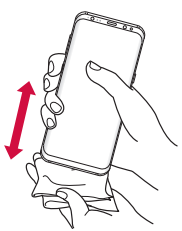
本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



③ ヘッドホン接続端子、送話口／マイク、受話口、スピーカー、USB Type-C接続端子、キーなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。



④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- 水を拭き取った後に本端末内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

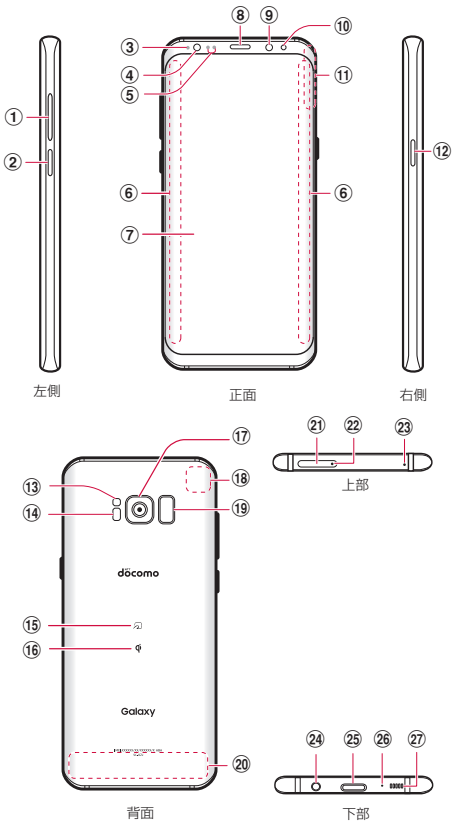
充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を十分に拭き取り自然乾燥させてから、USB Type-C接続端子に接続してください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



① 音量UPキー／音量DOWNキー／シャッターキー
② Bixbyキー（P.32）
③ 通知LED※1（P.37）
④ 虹彩認証用LED
⑤ 近接・照度センサー※2
⑥ エッジスクリーン（P.40）
⑦ ディスプレイ（タッチスクリーン）（P.29）
⑧ 受話口
⑨ フロントカメラ（P.90）
⑩ 虹彩認証用カメラ（P.125）
⑪ GPSアンテナ※3
⑫ 電源／画面ロックキー（P.28）
⑬ フラッシュ／ライト
⑭ 心拍数センサー
⑮ マーク
⑯ マーク
⑰ リアカメラ（P.90）
⑱ Wi-Fi／Bluetoothアンテナ※3
⑲ 指紋センサー（P.123）
⑳ LTE／FOMAアンテナ※3
㉑ ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ（P.22）
㉒ ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイイジェクトホール
㉓ 送話口／マイク（上部）※4
㉔ ヘッドホン接続端子
㉕ USB Type-C接続端子
㉖ 送話口／マイク（下部）※5
㉗ スピーカー

※1 通知がある場合などに点灯／点滅します。
※2 センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。
※3 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
※4 通常の通話、ハンズフリー使用時の通話、ボイスレコーダー録音時（インタビュー）、動画撮影時やメモアプリなどの音声認識時に動作します。
※5 通常の通話、ハンズフリー使用時の通話、ボイスレコーダー録音時（標準／インタビュー／音声-テキスト変換）、動画撮影時やメモアプリなどの音声認識時に動作します。

お知らせ

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電源／画面ロックキーやリアカメラのレンズや指紋センサーの周囲、および側面には端末保護のための透明な保護シートが付いています。ご使用の際は、必要に応じてお取り外しください。

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。

- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やSMSの送受信、パケット通信などの機能が利用できません。
- 日本国内では、ドコモnanoUIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- ドコモnanoUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。
- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出しツール（試供品）が必要です。

ドコモnanoUIMカードの暗証番号について

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号が設定されています（P.122）。

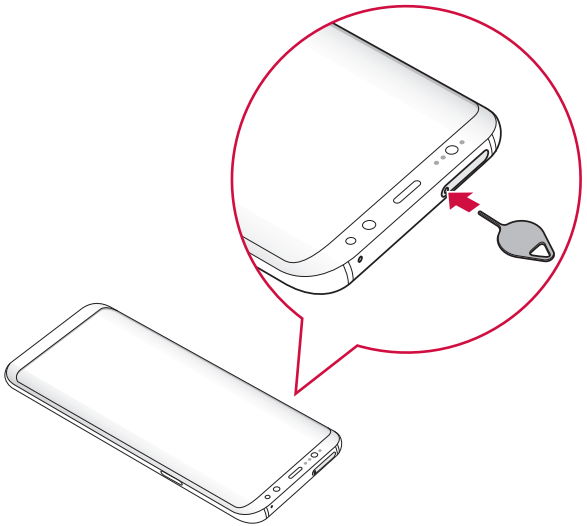
ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外し

ドコモnanoUIMカードを取り付ける

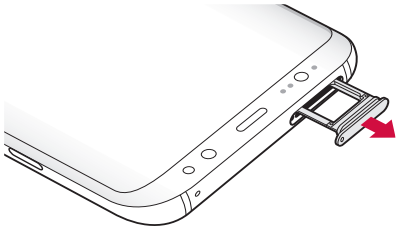
1 SIM取り出しツールの先端をドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイイジェクトホールに水平に差し込む

ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが少し出てきます。

- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

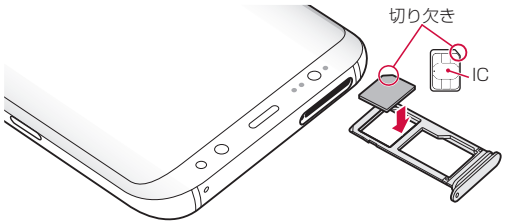


2 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをまっすぐ引き出す



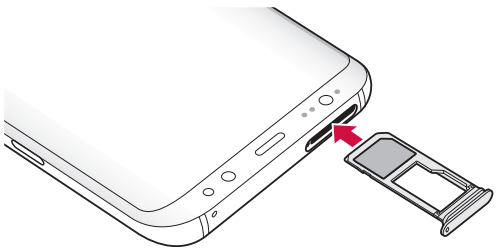
3 ドコモnanoUIMカードのIC面を下にして、矢印の向きにドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイにはめ込む

- ドコモnanoUIMカードをドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイにしっかり取り付けてください。



4 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが破損する恐れがあります。



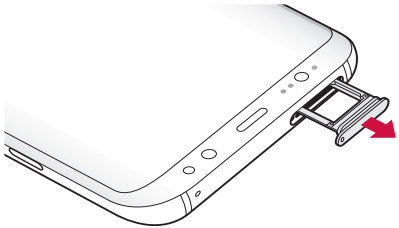
ドコモnanoUIMカードを取り外す

1 SIM取り出しツールの先端をドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイイジェクトホールに水平に差し込む（P.22）

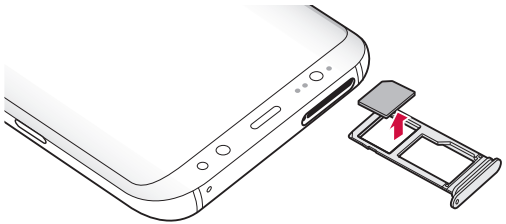
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが少し出てきます。

・まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

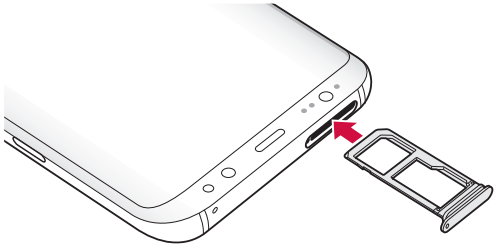
2 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをまっすぐ引き出す



3 ドコモnanoUIMカードをドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイから取り外す



4 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む（P.22）



お知らせ

- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモnanoUIMカードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモnanoUIMカードはなくさないようご注意ください。
- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。

ペーパークリップの例

microSDカード

本端末は、microSDカード（microSDHCカード、microSDXCカードを含む）を取り付けて使用することができます。

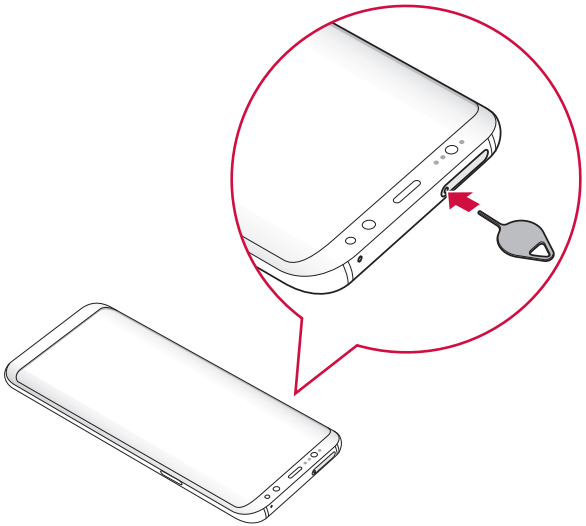
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードおよび256GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2018年3月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- 本端末に対応しているmicroSDカードのスピードクラスは最大CLASS 10、UHSスピードクラスはクラス3です。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。

microSDカードの取り付け

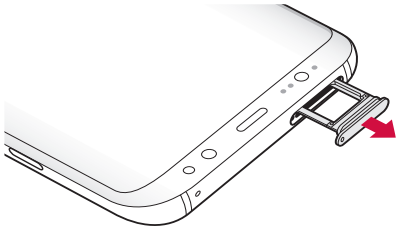
1 **SIM取り出しツールの先端をドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイイジェクトホールに水平に差し込む**

ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが少し出てきます。

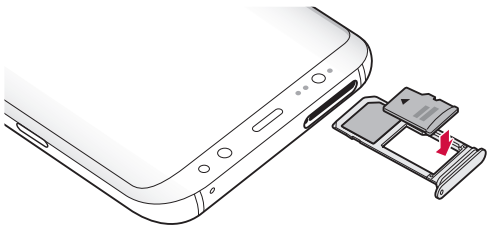
- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。



2 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをまっすぐ引き出す

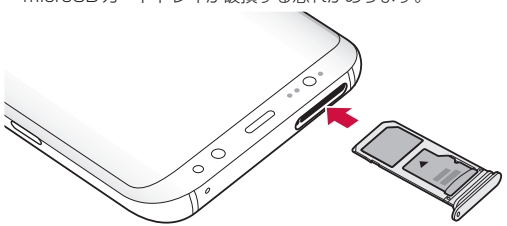


3 microSDカードの端子（金属）面を下にして、矢印の向きにドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイにはめ込む



4 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが破損する恐れがあります。



microSDカードの取り外し

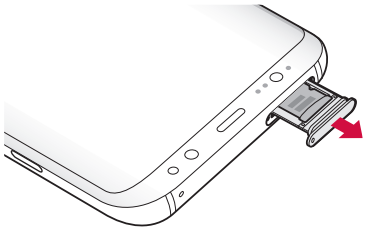
microSDカードを取り外すときは、あらかじめ外部SDカードの「マウント解除」（P.117）を行ってください。

1 SIM取り出しツールの先端をドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイイジェクトホールに水平に差し込む（P.24）

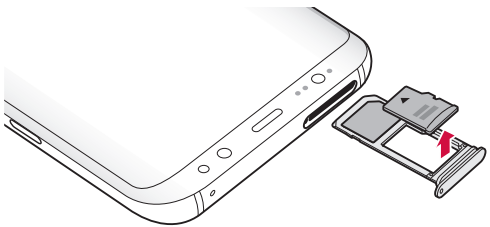
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが少し出てきます。

- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

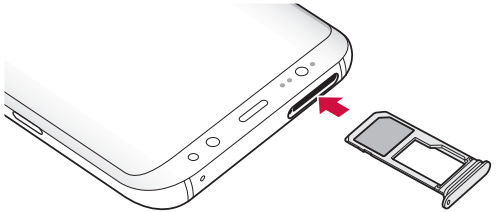
2 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをまっすぐ引き出す



3 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイからmicroSDカードを取り外す



4 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本端末に差し込む（P.25）



お知らせ

- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。
  ペーパークリップの例

microSDカードを初期化する

microSDカードを初期化すると、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末のメンテナンス」

2「ストレージ」→ ⋮ →「ストレージ設定」

3「外部SDカード」→「初期化」→「初期化」→「完了」

充電

■ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 充電しながらテレビ視聴などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。

Li-ion 00

■ 充電について

- ACアダプタ 06（別売）はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタ 06の詳細については、ACアダプタ 06の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でも本端末の電源を入れておけば、本端末を操作することができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

■ 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

- 充電中に本端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後本端末は内蔵電池から電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ACアダプタ、DCアダプタ、ワイヤレスチャージャーから外して再度セットし直してください。

■ 内蔵電池の使用時間の目安

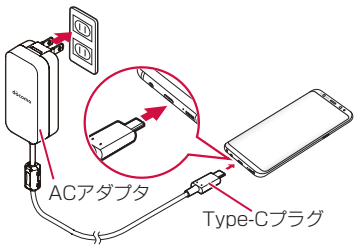
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度などで異なります。使用時間の目安については、「主な仕様」（P.154）をご参照ください。

■ 内蔵電池の充電時間の目安

- 充電時間の目安については、「主な仕様」（P.154）をご参照ください。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 06（別売）を使って充電する方法を説明します。



1. 本端末のUSB Type-C接続端子に、ACアダプタのType-Cプラグを水平に差し込む
2. ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む
3. 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
4. 本端末からACアダプタのType-Cプラグを水平に引き抜く

DCアダプタで充電する

DC アダプタ 04（別売）は、自動車のアクセサリーソケット（12V ／ 24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。
DC アダプタ 04を使用する場合は、microUSB変換アダプタ B to C 01（別売）が必要です。
詳細については、DCアダプタ、microUSB変換アダプタの取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレスチャージャーで充電する

ワイヤレスチャージャー 03（別売）で充電する場合は、製品に付属されている取扱説明書をご覧ください。

- Qiマークがある製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）による無接点充電規格に適合しています。

ワイヤレスチャージャーで充電する場合のご注意

- 本端末に市販のカバーなどを装着している場合は、外してください。
- 充電するときは、バイブレーションを動作させないでください。振動により端末が動き、充電が完了できなかったり、落下する恐れがあります。
- テレビやラジオなどに雑音が入る場合がありますので、なるべく離れた場所で充電してください。
- 他の無接点充電対応機器から30cm以上離してください。本端末を正しく検出できず、充電できない場合があります。
- ワイヤレスチャージャーで充電中は、テレビの視聴やコンテンツの受信などがしにくい場合があります。充電しながらテレビの視聴やコンテンツの受信などを行う場合は、ACアダプタをご使用ください。また、本端末はACアダプタの電源プラグ部からなるべく離してください。
- 本端末が高温になった場合は、充電速度が遅くなったり、停止したりする場合があります。
- 充電しながらゲームや動画など多くの電力を消費する機能を使用すると、充電が停止する場合があります。

USBケーブル A to C を使って充電する

USBケーブル A to C 01（別売）を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、P.137をご覧ください。
- パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上にポップアップ画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

電池が切れそうになると

通知音が鳴り、充電を促すメッセージが表示され、ディスプレイが暗くなります。電池残量がなくなると自動的に本端末の電源が切れます。機能やアプリによっては、起動しようとすると電池残量が少ない旨のメッセージが表示され、起動できないことがあります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **▯（電源／画面ロックキー）を2秒以上押す**
- 起動画面が表示され、続いてロック画面が表示されます。
- 初めて電源を入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います（P.36）。

2 🔒

■電波状態を確認する

ステータスバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます（P.38）。
🚫 が表示されたときは、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外や電波の届かない場所にいます。

電源を切る

1 **▯（電源／画面ロックキー）を1秒以上押す**

2 **「電源OFF」→「電源OFF」**
- 本端末が振動し、電源が切れます。
- ▯（電源／画面ロックキー）を1秒以上押すと、電源OFF以外に再起動や緊急時長持ちモードの有効／無効（P.51）の操作ができます。

画面ロックを設定／解除する

画面ロックを設定し、タッチスクリーンやキーの誤動作を防止できます。
- 「画面のタイムアウト」（P.115）の設定により画面の表示が消えると、約5秒後に自動的に画面ロックが設定されます。

画面ロックを設定する

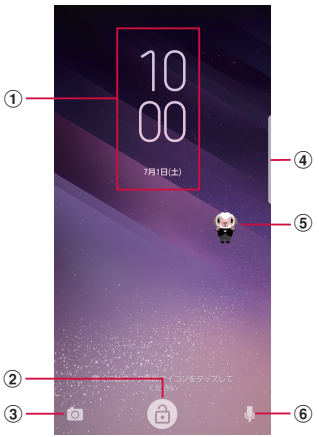
1 **▯（電源／画面ロックキー）を押す**
- 画面の表示が消え、画面ロックが設定されます。

画面ロックを解除する

1 **画面ロック中に▯（電源／画面ロックキー）を押す／□（ホームボタン）を押し込む**
- ロック画面が表示されます。

2 🔒

ロック画面について



ロック画面（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **時計ウィジェット**
② **ロック解除ボタン**※
③ **カメラ起動ボタン**
④ **エッジパネルハンドル**
- 画面の中央に向かってスワイプするとエッジパネルが表示されます（P.41）。

⑤ **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

⑥ **しゃべってコンシェルボタン**※
- しゃべってコンシェルを起動します。

※ ホーム画面を「docomo LIVE UX」に設定している場合のみ表示されます。

お知らせ
- 画面ロック中に不在着信などの通知情報があると、ロック画面に通知情報が表示される場合があります。
- 画面ロックの解除方法は変更できます（P.120）。

基本操作

タッチスクリーン、モーションを使って多様な操作ができます。

- タッチスクリーンに電気を帯びた物質や金属性の物質が触れないように注意してください。静電気により本端末がうまく動作しないことがあります。
- 充電中に本端末を使用すると、タッチスクリーンが動作しないことがあります。この場合は、本端末を充電機器から取り外してください。
- 本端末を持って操作する場合は、アンテナが組み込まれている部分を手で覆わないようにしてください。

タッチスクリーンの使いかた

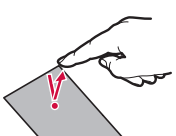
■ タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチスクリーンが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作できます。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。
また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。



■ ロングタッチする

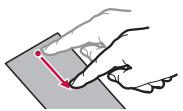
表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。

■ ドラッグする

表示項目やアイコンなどを指で触れたまま移動します。

■ スワイプする

表示画面を指で軽くなぞる動作です。

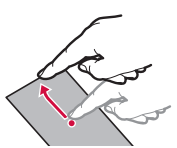


■ スクロールする

表示内容を指で触れながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。

■ フリックする

表示内容を指で触れながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。



■ ピンチアウトする／ピンチインする

表示されている画像やホームページなどを2本の指で触れながら、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭めたり（ピンチイン）して表示内容の拡大／縮小ができます。

ナビゲーションバーの使いかた

画面下部に表示されるナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。

ナビゲーションバー

●／○	**ナビゲーションバーの表示／非表示ボタン** ナビゲーションバーを常時表示するか否かを切り替えます。 ● にすると、ナビゲーションバーが常時表示されます。 ○ にすると、ナビゲーションバーが非表示になります。表示したいときは、画面下部から上方向へフリックします。
⥂	**履歴ボタン** 最近使用したアプリの一覧が表示されます。
□	**ホームボタン** ホーム画面が表示されます。ロングタッチすると、Googleアプリが起動します。画面ロック中に押し込むと、ロック画面が表示されます（P.28）。Always On Displayの表示中に押し込むと、Always On Displayの表示を終了することができます（P.32）。
←	**戻るボタン** 直前の画面に戻ります。また、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルなどを閉じます。一部のアプリを終了できます。

お知らせ

- ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ディスプレイ」→「ナビゲーションバー」をタップすると、ナビゲーションバーの表示／非表示ボタンを表示させるかどうかの設定、ホームボタンの押し込み圧力レベルの調整、ホームボタンを押しこんでロック解除をできるようにするかの設定、ナビゲーションバーのボタンのレイアウトの設定などができます。

高度な機能の使いかた

簡単な動作で機能を実行できます。

- 一部のアプリでは本機能を利用できない場合があります。

高度な機能の主な機能

本端末を動かすなどの動作で、次の操作ができます。

- 高度な機能を利用する前に、ホーム画面で ⊞ →「設定」→「高度な機能」→ 利用する高度な機能をONにする必要があります。

■ スマートステイ

画面を見ている間は表示が消えないように設定します。

■ ゲーム

「Game Launcher」をON にすると、Game Launcherアプリですべてのゲームを自動的にまとめて管理できます。

■ 片手モード

「片手モード」をON にし、画面表示サイズの縮小方法で「ジェスチャー」を選択すると、画面の右下または左下から斜め上にスワイプして、画面サイズを縮小することができます。「ボタン」を選択すると、ホームボタンをすばやく3回タップして、画面サイズを縮小することができます。

■ 指紋センサーのジェスチャー

指紋センサーを上下にスワイプすると、通知パネルを開閉できます。

■ カメラをクイック起動

▯（電源／画面ロックキー）をすばやく2回押してカメラを起動します。

■ 端末アシスタンスアプリ

標準の端末アシスタンスアプリを選択したり、各機能を端末アシスタンスアプリに許可するかどうかを設定します。

■ マルチウィンドウ

使用中のアプリを、スワイプでポップアップ表示にしたり、⥂（履歴ボタン）をロングタッチして分割画面表示（P.50）やスナップウィンドウにしたりできるようにします。

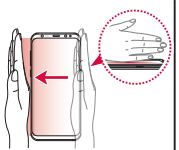
■ スマートキャプチャ

画面キャプチャ後に、「Bixby Vision」、「スクロールキャプチャ」、「ペン」、「トリミング」、「共有」が表示され、以下の操作をすることができます。

- Bixby Visionの利用（P.93）
- 画面の非表示領域のキャプチャ
- 画面への書き込み
- 画面キャプチャのトリミング
- 共有

■ スワイプキャプチャ

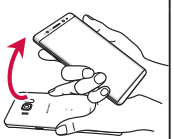
手の側面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存できます。



■ スマートアラート

不在着信※や新着SMSがある状態で、画面の表示が消えているときに本端末を持ち上げると振動して通知します。

※ 標準の電話アプリが「連絡先」の場合に通知します。



■ スワイプして発信／メッセージ送信

「ダイヤル」、「連絡先」または「メッセージ」アプリで、連絡先または電話番号をスワイプして発信やメッセージ送信を行うかどうかを設定します。

■ デュアルメッセンジャー

同じアプリをそれぞれ個別のアカウントで使用します。
アプリ画面にもう１つのアプリアイコンが表示されます。
デュアルメッセンジャーが利用可能なアプリはデュアルメッセンジャー画面に記載されているアプリのみです。

■ SOSメッセージを送信

SOSメッセージを送信できるようにするかどうかを設定します。

■ Direct share

共有パネルから特定の人たちとコンテンツを直接共有できます。

■ ビデオエンハンサー

対応するアプリで動画の画質を向上させます。

お知らせ

- 本端末に過度な動き（揺れ、衝撃など）を与えた場合、センサーの特性によってモーションが正しく動作しない場合があります。
- 暗い色の手袋などを着用したり、センサーの認識範囲外で動作をした場合は、センサーの特性により高度な機能が正しく動作しない場合があります。
- 端末設定によっては、スマートアラートが正常に動作しない可能性があります。
- デュアルメッセンジャーで作成した２つ目のアプリを削除するには、デュアルメッセンジャー画面で、削除したいアプリの をタップし、デュアルメッセンジャー機能をOFFにします。２つ目のアプリを残したまま、最初（メイン）のアプリを削除することはできません。

Always On Displayを設定する

画面がOFFのときに、時計やカレンダー、画像を表示することができます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」

2 「Always On Display」→ ○

3 表示するコンテンツやレイアウトを設定

お知らせ

- Always On Displayの表示を終了するには、▯（電源／画面ロックキー）を押すか、□（ホームボタン）を押し込みます。

Bixbyを利用する

Bixbyでは、アプリの情報をまとめて表示します。Galaxyアカウントを登録すると、本端末の使用状況などを分析し、おすすめ情報などを表示できます。

1 Bixbyキーを押す

2 画面を上下にスワイプして情報を見る

お知らせ

- Bixbyを利用するにはGalaxyアカウントへのサインインが必要です。
- ホームアプリがGalaxyホームに設定されている場合は、ホーム画面で画面を右にフリックしてもBixbyを起動できます。
- ⋮ →「設定」をタップすると、Bixbyの設定やBixby Homeにカードとして表示するアプリの設定ができます。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末の縦／横の向きや傾きなどを感知するモーションセンサーによって、ディスプレイの表示方向を自動的に切り替えることができます。

1 通知パネル（P.39）を開く

2

お知らせ

- ホーム画面や一部の機能など、表示方向が自動的に切り替わらない機能やアプリもあります。

設定を切り替える

トグルスイッチをタップまたはドラッグしたり、チェックボックスをタップしたりすると、設定のON／OFFや有効／無効を切り替えることができます。

- はON、はOFFの状態です。
- は有効、○は無効の状態です。

画面の表示内容を画像として保存する

表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。

1 画像として保存したい画面を表示

2 （電源／画面ロックキー）と音量DOWNキーを同時に1秒以上押す

お知らせ

- 一部のアプリではスクリーンキャプチャが動作しない場合があります。
- キャプチャした画像はjpg形式で保存され、「ギャラリー」／「フォト」アプリで確認できます。
- 高度な機能の「スワイプキャプチャ」（P.31）の機能をONにすると、本端末の画面上を手の側面で右から左、または左から右にスワイプしてスクリーンキャプチャできます。
- 高度な機能の「スマートキャプチャ」（P.31）の機能をONにすると、画面キャプチャ後に「Bixby Vision」、「スクロールキャプチャ」、「ペン」、「トリミング」、「共有」が表示されるようになります。「スクロールキャプチャ」をタップすると、画面をスクロールして表示できる領域を1枚の画像としてキャプチャし続けることができます。「スクロールキャプチャ」でキャプチャした画像はjpg形式で保存されます。

文字入力

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボード（Galaxy日本語キーボード）を表示し、キーボードのキーをタップします。

お知らせ

- Google音声入力、ドコモ文字編集を利用すると、音声で文字を入力できます。
- 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボードの種類（入力方法）を切り替える

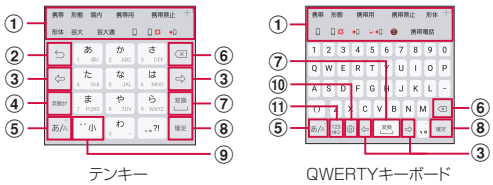
1 ホーム画面で →「設定」→「一般管理」→「言語とキーボード」→「標準キーボード」

2 利用したいキーボードを選択

Galaxy日本語キーボードで入力する

Galaxy日本語キーボードは、「テンキー」と「QWERTYキーボード」の2種類のキーボードを利用できます。

- テンキー：一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が入力されるまで数回タップします。
- QWERTYキーボード：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。



テンキー　QWERTYキーボード

① 予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 「日本語予測変換」／「予測変換」をOFFに設定している場合や、予測変換候補の表示中に をタップすると、通常変換候補が表示されます。
- をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示領域を広げます。 をタップすると、元の表示に戻ります。

② 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます（フリック入力時は切り替わりません）。
- 文字が入力されていない場合は、表示されているキーの操作を実行します。
ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。

：音声入力に切り替え
：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
：Galaxy日本語キーボードの設定メニューを表示
：標準キーボード／片手操作キーボードに切り替え

③ カーソルを左または右に移動します。
- テンキーで同じキーに割り当てられている文字を続けて入力する場合は、⇨ をタップします。
- 「日本語ワイルドカード予測」／「ワイルドカード予測」をONに設定している場合は、⇨ をタップするとワイルドカード予測（P.34）を利用できます。

④ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補が表示されます。
- 文字が入力されていない場合は、123 が表示され、タップすると数字／記号入力モードに切り替わります。ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号の一覧を表示します。タブをタップすると一覧表示が切り替わります。⌨ をタップすると、キーボード表示に戻ります。

⑤ ひらがな漢字／英字入力モードに切り替えます。

⑥ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑦ 通常変換候補を表示します。
- 変換候補が表示されていない場合は、タップするとスペースを入力できます。空白 は、ひらがな漢字入力の場合のみ表示されます。

⑧ 入力した文字を確定します。
- ↵ が表示されている場合は、タップすると改行します。
- 次へ が表示されている場合は、タップすると次の入力欄にカーソルを移動します。
- 完了、🔍、実行 が表示されている場合は、タップすると検索などの操作を行います。

⑨ 濁点や半濁点を付けたり、文字を大文字／小文字に切り替えたりします。
- 英字入力モードの場合は A/a と表示されます。

⑩ 表示されているキーの操作を実行します。
- ロングタッチすると次のアイコンメニューが表示されます。キーの表示は、選択したアイコンメニューにより異なります。

：音声入力に切り替え
：クリップボードを表示してテキストなどの貼り付け
：Galaxy日本語キーボードの設定メニューを表示
：標準キーボード／片手操作キーボードに切り替え

⑪ 記号入力モードに切り替えます。
- ロングタッチすると絵文字／顔文字／記号の一覧を表示します。タブをタップすると一覧表示が切り替わります。⌨ をタップすると、キーボード表示に戻ります。

お知らせ
- ドコモ文字編集には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

キーボードの種類を切り替える

1 キーボード表示中に ⚙
2「テンキー⇔QWERTYキーボード」
3「テンキー」／「QWERTYキーボード」→「OK」

お知らせ
- 手順3で「カスタム設定」を選択した場合は、画面の向き、入力モードごとにキーボードの種類を設定できます。

半角／全角を切り替える

1 キーボード表示中に あ/A をロングタッチ
2「半角」／「全角」

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。
- 「日本語予測変換」と「日本語ワイルドカード予測」をONに設定している場合に利用できます。
- 英語／韓国語入力時は、「予測変換」と「ワイルドカード予測」をONに設定している場合に利用できます。

例：「東京都」を入力する場合

1 キーボード表示中に「と」「う」を入力
2 ⇨ を4回タップ
- 「とう○○○○」が表示され、予測変換候補に「東京都」が表示されます。
- 読みの文字数を変更する場合は、⇦ ／ ⇨ をタップします。

3「東京都」

文字列の切り取り／コピー／貼り付け／選択をする

1 キーボード表示中に入力した文字列をロングタッチ

- ／ などが表示されます。／ などをドラッグすると、カーソルを移動できます。

2 利用する機能をタップ

機能	説明
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	コピーした／切り取った文字列を貼り付けます。
全て選択	入力したすべての文字を選択します。
⋮	辞書機能の利用やクリップボードの表示、共有などの機能が利用できます。

お知らせ

- 画面を横向きにした場合は、表示が異なる場合があります。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合や、利用できない機能がある場合があります。
- 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチするとメニューが表示され、「貼り付け」「全て選択」「クリップボード」を利用できます（アプリによっては利用できない場合があります）。

文字入力／変換機能を設定する

Galaxy日本語キーボードの設定を行う

Galaxy日本語キーボードを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

1 ホーム画面で → 「設定」→「一般管理」→「言語とキーボード」→「オンスクリーンキーボード」→「Galaxy日本語キーボード」

2 設定したい項目をタップ

項目	説明
入力言語	システムの言語、日本語、英語、韓国語の組み合わせから選択します。
テンキー⇔QWERTYキーボード	キーボードの種類を切り替えます。
フリック入力	フリックタイプの選択、フリック感度やトグル入力を設定します。
表示／操作補助	キーサイズ・候補表示行数などの表示やキー操作音・キーポップアップなどの操作補助を設定します。
予測／変換	学習辞書に語句を保存したり、変換候補の表示などを設定します。
音声入力	音声での文字入力を「ドコモ音声入力」「Google 音声入力」「使用しない」から選択します。
辞書登録	ユーザー辞書に単語などを登録／編集します。
外部アプリ連携	マッシュルーム拡張を使用するかどうかを設定します。
バックアップと復元	NFCを通じて、他の端末との間でバックアップデータを送信、受信、復元します。
リセット	学習辞書や設定を初期化します。
iWnn IME for Galaxy	Galaxy日本語キーボードのバージョンを確認します。

ドコモ文字編集の情報を確認する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「一般管理」→「言語とキーボード」→「オンスクリーンキーボード」→「ドコモ文字編集」

2 「アプリ情報」
- ドコモ文字編集の詳細情報を確認できます。

Google音声入力の設定を行う

Google音声検索時に使用する言語などを設定できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「一般管理」→「言語とキーボード」→「オンスクリーンキーボード」→「Google音声入力」

2 設定したい項目をタップ

初期設定

お買い上げ後、初めて本端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って、使用する言語やGoogle／Galaxyアカウントなどの設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。
ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なる場合があります。

1 ⊛
- 言語を変更する場合は、「日本語」をタップします。
- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行ってください。
  - Wi-Fi
  - 利用規約
  - アカウントの追加
  - 名前
  - 端末を保護
  - Google サービス

2 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら「すべてのリンク先の内容に同意する」の ○ をタップ →「次へ」
- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行ってください。
  - dアカウント
  - ドコモクラウド
  - アプリ一括インストール

3 Galaxyアカウントの設定を行う

4 ホーム切替の設定を行う

5 その他の便利な機能の設定を行う

6 「完了」
- ホーム画面の使い方が表示されます。「次へ」→「次へ」→「以後表示しない」／「OK」をタップするとホーム画面が表示されます。

お知らせ
- 設定した各機能は後から変更できるものもあります。
- オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態（4G/3G/GSM）であることをご確認いただくか、Wi-Fiネットワークに接続されていることをご確認ください。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

通知LED

画面表示がOFFのときに通知LEDの点灯／点滅により、不在着信や充電中などの通知や本端末の状態をお知らせします。

- 「LEDインジケーター」（P.115）で通知LEDを動作させるかどうかを設定できます。

動作	説明
赤で点灯	充電中
緑で点灯	充電完了
赤で点滅	電池残量が残りわずか
青で点滅（約5秒間隔）	新着メールなどの通知あり、不在着信の通知あり
青で点滅（約1秒間隔）	ボイスレコーダーで録音中

お知らせ

- 充電中に通知がある場合は、通知をお知らせする動作が優先されます。
- 通知LEDの点灯／点滅は、アプリによって異なる場合があります。

画面表示とアイコン

ディスプレイ上部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

主な通知アイコン

- 通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

通知アイコン		参照先
	発信中／着信中／通話中	P.59
	不在着信あり	P.62
	新着Gmailあり	P.74
	新着Eメールあり	P.72
	新着SMSあり	P.70
	SMSの配信に問題あり	P.70
	新着エリアメールあり	P.75
	データダウンロード中／完了	-
	データアップロード中／完了	-
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり	P.64
	伝言メモ機能自動応答設定中	P.63
	伝言メモの録音メッセージあり	P.63
	アラームあり	P.97
	カレンダーのアラーム通知あり	P.98

通知アイコン		参照先
	音楽再生中／一時停止中	P.95
	エラーメッセージあり	-
	USBテザリング機能有効	P.110
	Wi-Fiテザリング機能ON	P.109
	Bluetoothテザリング機能有効	P.110
	テザリング機能を2つ以上同時にON	-
	Galaxy Appsのアプリがインストール完了／インストール済みアプリのアップデートあり	P.80
	ソフトウェアアップデートの設定／確認中	P.153
	dマーケットに更新可能なアプリあり	P.79
	Google Playに更新可能なアプリあり	P.80
	Google Playのアプリのインストール完了	P.80
	非表示の通知情報あり	-
	VPN接続中	P.111
	スクリーンキャプチャで保存した画像あり	P.33
	本端末のメモリの空き容量低下	-
	フルセグ／ ワンセグ視聴中／録画中	P.83
	おまかせロック設定中	-
	ドコモアプリの位置情報機能ON	P.127

主なステータスアイコン

ステータスアイコン		参照先
（弱⇔強）	電波状態	-
（弱⇔強）	電波状態（国際ローミング中）	-
	圏外	-
	機内モード設定中	P.109
	4G（LTE）ネットワーク使用可能／通信中※	-
	3Gネットワーク使用可能／通信中	-
	FOMAハイスピード／ HSDPAネットワーク使用可能／通信中	-
	GPRSネットワーク使用可能／通信中	-
	Wi-Fiネットワーク使用可能／通信中	P.106
	ユーザー認証が必要なWi-Fiネットワークに接続し、ユーザー認証が未成立の状態 インターネットには接続できません	P.106
	Bluetooth機能ON	P.135
	Bluetoothデバイスと接続中	P.135
	マナーモード（バイブ）設定中	P.113
	マナーモード（サイレント）設定中	P.113
	アラーム設定中	P.97
	VoLTE使用可能	-
（低⇔高）	電池レベル	P.26

ステータスアイコン		参照先
	充電中	P.26
	Wi-Fi Direct接続中	P.108
	本端末とドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロック設定中	P.82
	本端末またはドコモnanoUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロック設定中	P.82

※ 本端末は、LTE接続時は常に「4G+」が表示されます。

通知パネルについて

ステータスバーを下にスクロール／フリックすると通知パネルが表示され、通知情報などを確認したり、アイコンをタップして機能を設定したりすることができます。通知パネルを上にスクロール／フリックすると通知パネルを閉じることができます。

通知パネルの表示内容

通知パネルの表示内容（展開時）

① 現在の日付と時刻が表示されます。

② クイック設定ボタンで、各種機能のON／OFFを切り替えます。通知パネル中央のバー(③)を下にスクロールすると、表示されていないアイコンを表示できます。ロングタッチすると、各機能の設定メニュー画面が表示されます。

- Wi-Fi：→ P.106
- サウンド：→ P.112
- Bluetooth：→ P.135
- 自動回転：→ P.33
- ライト：→ ライトを点灯／消灯します。
- 機内モード：→ P.109
- 省電力モード：→ P.116
- モバイルデータ：→ データ通信のON／OFFを切り替えます。OFFにすると、モバイルネットワークによるデータ通信ができなくなります。
- パフォーマンスモード：→ P.117
- ブルーライトフィルター：→ P.115
- Wi-Fiテザリング：→ P.109
- セキュリティフォルダ：→ セキュリティフォルダの設定をします。

- 位置情報：→ P.96
- NFC ／おサイフケータイ：→ P.136
- Always On Display：→ P.32
- Smart View：→ P.139
- 通知をミュート：→ P.114
- 同期：→ P.126
- Edge lighting：→ P.43

③ 下にスクロールするとクイック設定ボタンの一覧が表示されます。

④ 進行中情報や通知情報®が表示されます。情報を確認したり、タップしてアプリを起動したりすることができます。

⑤ 通知するアプリを選択します。

⑥ タップすると、設定メニューが表示されます（P.105）。

⑦ タップすると通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消去できます。
- 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。

⑧ 接続中の通信事業者名が表示されます。

⑨ クイック設定ボタンの順番を変更したり、クイック設定ボタンの表示レイアウトを変更します。

⑩ クイック設定ボタン一覧のページ枚数と現在の位置を示します。

⑪ ディスプレイの明るさを調整します（P.115）。

※ ロック画面（「パターン」、「PIN」、「パスワード」、「指紋認証」、「虹彩認証」、「顔認証」のいずれかの場合）で表示した通知パネルの通知の一部が非表示になる、および通知されなくなることがあります。

お知らせ

- クイック設定ボタンは、ONに設定されている場合は青色で表示されます。

エッジスクリーン

エッジスクリーンで様々な機能が利用できます。

■ エッジパネル → P.41、P.42

各アプリのショートカット（APPS EDGE）、よく使う連絡先（PEOPLE EDGE）やスマート選択などを利用できます。

■ Edge lighting → P.43

着信やSMSなどの受信を光でお知らせします。

エッジパネルを設定する

エッジパネルをONにすると、画面ON時に、エッジパネルハンドルが表示され、スワイプするとエッジパネルを表示できます。エッジパネルには、アプリや機能、よく使う連絡先などを表示できます。
また、使用するエッジパネルを追加したり、エッジパネルやエッジパネルハンドルの位置などを設定したりできます。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「ディスプレイ」 → 「エッジスクリーン」
- エッジスクリーンの設定メニューが表示されます。

2 「エッジパネル」 →

エッジパネルの並び順を変更する

1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」
2 → 「並べ替え」
3 移動したいパネルの に触れたまま、移動したい位置までドラッグして離す
4

エッジパネルを追加する

エッジスクリーンに、使用したいエッジパネルを追加します。

1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」
2 追加したいエッジパネルにチェックを付ける

エッジパネルをダウンロードする

Galaxy Appsからエッジパネルをダウンロードできます。

1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」
2 「ダウンロード」
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

エッジパネルを編集する

1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」
2 エッジパネル下の「編集」
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

エッジパネルハンドルを設定する

エッジパネルハンドルの位置やサイズなどを設定できます。

1 エッジスクリーンの設定メニューで「エッジパネル」
2 → 「エッジパネルハンドル」
3 各項目を設定

エッジパネルを利用する

1 エッジスクリーンのエッジパネルハンドルを画面の中央に向かってスワイプ

- エッジパネルが表示されます。

エッジパネルハンドルを右側に設定した場合の例
「ひつじのしつじくん ®」
©NTT DOCOMO

2 エッジパネルをスワイプして使用したいパネルを表示する

エッジパネルの画面例

① **設定**
- エッジパネルの設定ができます（P.41）。

② **現在の位置**
- エッジパネルの枚数と現在の位置を示します。

③ **機能**
- 各エッジパネルの機能が表示されます。

④ **編集**
- 表示されているエッジパネルの編集ができます。

⑤ **エッジパネルの選択**
- 表示したいエッジパネルを選択できます。

People edgeを利用する

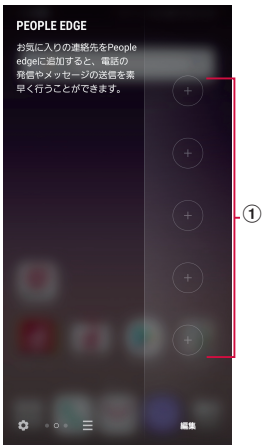
People edgeに友達などよく使う連絡先を登録すると、登録した相手への電話発信やSMS作成などが簡単にできます。

- あらかじめ「ドコモ電話帳」や「連絡先」に登録しておく必要があります。

1 エッジスクリーンのエッジパネルハンドルを画面の中央に向かってスワイプ

- エッジパネルが表示されます。

2 エッジパネルをスワイプしてPeople edgeパネルを表示する



① **連絡先**

- よく使う連絡先を登録します。

Edge lightingを設定する

Edge lightingをONにすると、通知を受信したときや、画面がOFFで本端末を伏せている状態で着信があったときにエッジスクリーンが点灯します。Edge lightingを表示させる条件や通知を受信するアプリを設定できます。

1 ホーム画面で → 「設定」→「ディスプレイ」→「エッジスクリーン」

- エッジスクリーンの設定メニューが表示されます。

2 「Edge lighting」→

- Edge lightingを表示させる条件を「画面がONのとき」／「画面がOFFのとき」／「常に」から選択します。
- 「Edge lightingスタイル」をタップすると、Edge lightingのエフェクト、色、透明度および幅を設定できます。
- 「通知を管理」をタップすると、通知を受信するアプリを設定できます。

クイック返信のメッセージを編集する

クイック返信では、着信でエッジスクリーンが点灯しているときに心拍数センサーの上に指を約2秒間置くことで、着信拒否メッセージを送信することができます。

1 エッジスクリーンの設定メニューで「Edge lighting」

2 ⋮ →「クイック返信」

3 クイック返信メッセージのメッセージ文をタップして編集

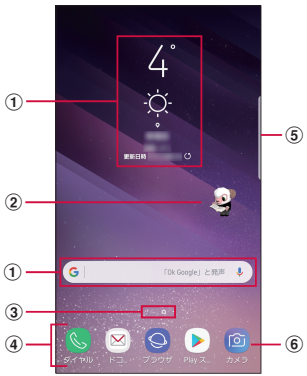
4 ＜

ホーム画面

□（ホームボタン）をタップして表示される画面（ホーム画面）には「docomo LIVE UX」「Galaxyホーム」の2種類の画面があります。

- 「docomo LIVE UX」については、P.52をご覧ください。
- 曲面部分の色は見る角度によって変わる場合があります。
- ホームアプリの切り替えかたについては、P.51をご覧ください。

Galaxyホーム



ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① **ウィジェット（例：天気予報、Google検索）**
- ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリ）の起動や操作を行います。

② **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

③ **ホーム画面の現在の位置**

④ **ドック**
- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
- ショートカットやフォルダなどを配置できます。

⑤ **エッジパネルハンドル（P.41）**

⑥ **ショートカット**
- アプリなどを起動できます。

お知らせ

- ホーム画面で画面を上下にフリックすると、アプリ画面（P.45）が表示されます。
- ホーム画面で画面を右にフリックすると、「Bixby」（P.32）が起動します。
- ホーム画面で画面をロングタッチ →「ホーム画面設定」→「アプリボタン」をタップすると、ホーム画面にアプリボタンを表示するかどうかを設定できます。

ショートカットやウィジェットを追加する

1 **ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ**
- アプリのショートカットを追加する場合は、ホーム画面で画面を上にフリックし、手順3へ進みます。

2 **「ウィジェット」**

3 **ホーム画面に追加したい項目をロングタッチ → 追加したい位置までドラッグして離す**

フォルダを作成する

1 **ホーム画面でショートカットをロングタッチ → まとめたいショートカット上にドラッグ**

2 **フォルダ名を入力 →「完了」**

壁紙の変更

1 **ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ**

2 **「壁紙」**

3 **壁紙を選択 → 変更する画面を選択 →「壁紙に設定」**
- 壁紙以外の画像を選択する場合は、 → 画像を選択 → 変更する画面を「ホーム画面」／「ロック画面」／「ホーム画面とロック画面」から選択 →「壁紙に設定」をタップしてください。

テーマの変更

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ

2「テーマ」

3 変更するテーマを選択 →「適用」

お知らせ

- ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを削除するには、ショートカットやウィジェット、フォルダなどをロングタッチ →「ホームから削除」／「ホーム画面から削除」／「フォルダを削除」をタップします。
- ネットワークに接続するウィジェットや壁紙、テーマの場合、パケット通信料が発生する場合や有料の場合があります。

アプリ画面

ホーム画面が「Galaxyホーム」のアプリ画面について説明します。

1 ホーム画面で画面を上にフリックする

- アプリ画面が表示されます。

アプリ画面の表示内容（表示例）

「ひつじのしつじくん®」

©NTT DOCOMO

① **検索**
- 文字を入力するとアプリを検索できます。
- をタップすると音声で検索できます。

② **フォルダ**
- 複数のアプリが格納されています。

③ **アプリ**

④ **アプリ画面の現在の位置**

⑤ **メニュー**
- アプリを並べ替えたり、ホーム画面やアプリ画面の設定を変更したりすることができます。

⑥ **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

アプリ一覧

一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。

アイコン	アプリ	説明
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→ P.70
	電話	電話の利用や、通話の設定をすることができるアプリです。→ P.58
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoのアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。→ P.67
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。ｉコンシェルに対応しています。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。ｉコンシェルに対応しています。
	はなして翻訳	お互いの言葉を相手の言語に翻訳するアプリです。言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。
	マネレコ	銀行口座の残高やクレジットカードの明細などをまとめて確認できる家計簿アプリです。
	マイマガジン	マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。→ P.57
	おすすめアプリ	おすすめアプリを表示します。
	Galaxy Apps	アプリのダウンロードや、インストールしたアプリのアップデートができます。→ P.80
	S Health※	体組成計や心拍数計などと連携して健康管理します。→ P.104
	Gear Manager※	Gearをモバイル端末に接続し、Gear Managerの機能およびGear Appsからインストールしたアプリを管理および監視します。
	Gmail	Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。→ P.74
	ドライブ※	画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。

アイコン	アプリ	説明
	Playムービー＆TV※	Google Playから映画を購入できます。
	Duo※	ビデオ通話を行います。
	フォト※	写真や動画を閲覧できます。 Googleフォトに同期してバックアップしたり、他人と共有したりすることもできます。
	Word	Android向けのMicrosoft Wordアプリです。
	PowerPoint	Android向けのMicrosoft PowerPointアプリです。
	Excel	Android向けのMicrosoft Excelアプリです。
	OneDrive	Microsoft OneDriveアプリです。オンラインストレージを利用できます。
	データコピー	機種変更時のデータ移行や、「microSDカード」もしくは「データ保管BOX」へのバックアップ・復元ができるアプリです。→ P.101
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
	フォトコレクション	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。→ P.75
	しゃべってコンシェル	話しかけるだけであなたの意図を読み取り、天気や乗換情報を調べたり、電話発信やアラーム設定などが簡単にできます。また、豊富なキャラクターとの会話もお楽しみいただけます。
	ｉコンシェル	スマートフォンがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートするサービスです。 あなたのスケジュールやお住まいのエリア、現在地に応じて、雨雲アラームや鉄道運行情報、おでかけスポットなど、毎日の生活に役立つ情報を最適なタイミングでお届けします。

アイコン	アプリ	説明
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→ P.151
	あんしんスキャン	ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	Amazonショッピング	Amazonで買い物ができます。
	マクドナルド	マクドナルドの公式アプリです。店舗で使えるクーポンや最新情報の取得ができます。
	LAWSON	ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。
	iDアプリ	ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。→ P.82
	おサイフケータイ	本端末を店などの読み取り機にかざすだけでお支払いなどができます。→ P.81
	トルカ	お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。→ P.83
	Facebook	Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。
	Messenger	携帯電話の連絡先やFacebook の友達・グループにメッセージ送信、音声・ビデオ通話ができます。
	Instagram	本端末で撮影した写真や動画を自由に編集し、家族や友達、そして世界中の人と簡単に共有できます。
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。
	ブラウザ	ウェブブラウザアプリです。→ P.76

アイコン	アプリ	説明
	メッセージ	SMSの送受信ができます。→ P.70
	Eメール※	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。→ P.72
	Galaxy Notes※	ノートを作成します。→ P.99
	カレンダー	スケジュールを管理できます。→ P.98
	時計	アラーム、世界時計などを利用できます。→ P.97
	電卓※	電卓を利用して、様々な計算ができます。→ P.101
	マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。→ P.133
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。→ P.95
	テレビ	テレビの視聴などができます。→ P.83
	辞書	辞書を利用して単語などを調べることができます。→ P.103
	ボイスレコーダー※	音声を録音できます。→ P.100
	Playストア	Google Play からアプリをダウンロードできます。→ P.80
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。→ P.103
	マップ	Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます。→ P.97
	Google	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	Chrome	Googleのウェブブラウザアプリです。
	Play Music※	音楽を探して再生したり共有できます。 自分の音楽をクラウド上にアップロードし、後から聴くこともできます。
	ダイヤル	Galaxyが提供する「ダイヤル」アプリを利用して、電話の発着信ができます。

アイコン	アプリ	説明
	連絡先	Galaxyが提供する「連絡先」アプリを利用して、連絡先の管理ができます。
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。→ P.94
	カメラ	静止画や動画を撮影できます。→ P.90
	Galaxy Members※	Galaxy Membersを起動します。
	設定	本端末の各種設定ができます。→ P.105
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。→ P.79
	dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。→ P.79
	dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。
	セキュリティフォルダ	セキュリティフォルダの設定をします。

※「工場出荷状態に初期化」すると、アンインストールされます。再度ダウンロードする際には、Wi-Fi接続が必要な場合があります。

お知らせ

- このアプリ一覧は、初期状態でプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリには一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」(P.80)などで再度ダウンロードできる場合があります。
- 通知情報があるアプリのアイコンに、数字(通知情報の件数)が表示される場合があります。

ショートカットのホーム画面への追加

1 アプリ画面でホーム画面に追加したいアプリをロングタッチ
2 追加したい位置までドラッグして離す

アプリの並べ替え

1 アプリ画面で移動したいアプリをロングタッチ
2 移動したい位置までドラッグして離す

アプリの削除／無効化

1 アプリ画面で削除／無効にしたいアプリをロングタッチ
2 「アンインストール」／「無効」→「OK」／「無効」

お知らせ

- 無効にしたアプリを有効にしたい場合は、アプリ画面で「設定」→「アプリ」→「全てのアプリ」→「無効」→ 有効にしたいアプリをタップ →「有効」をタップします。

クイック検索ボックスを使用する

入力した文字が含まれる情報を本端末内やインターネットから検索できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットをタップ

- クイック検索ボックスが表示されます。
- クイック検索ボックスに文字を入力すると、検索ボックスの下に入力中の文字を含む本端末内の情報や検索候補が表示されます。
- Google Now のお知らせ画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

クイック検索ボックス

① 入力した文字が表示されます。

② 入力した文字をすべて消去できます。
文字入力前に をタップすると、音声で検索したい語句を入力できます（ウェブ検索のみ）。

お知らせ

- ホーム画面で「Google」→「Google」をタップしても起動できます。

最近使用したアプリの一覧

1 ⇄（履歴ボタン）

- アプリのサムネイルをタップすると、アプリを起動できます。
- 「全て閉じる」をタップすると、一覧をすべて削除できます。
- サムネイルを左右にスクロール／フリックすると、一覧から削除できます。
- ⊟ をタップすると分割画面表示（P.50）を起動できます。
- アプリをロングタッチすると一部のアプリをポップアップで起動できます。
- 「アプリ固定モード」（P.120）をONに設定している場合は、直前に表示していたアプリのサムネイルに が表示されます。

アプリを画面に固定する

画面にアプリを固定して、他のアプリを利用できないようにすることができます。

- あらかじめ「アプリ固定モード」（P.120）をONにしておく必要があります。

1 固定したいアプリを起動

2 ⇄（履歴ボタン）

3 アプリのサムネイルの

4 「OK」

お知らせ

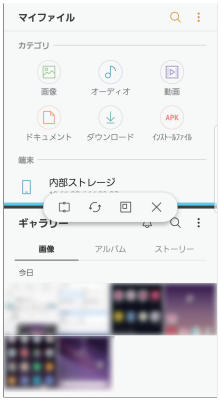
- アプリの固定を解除するには、⇄（履歴ボタン）と ←（戻るボタン）を同時にロングタッチします。

分割画面表示を利用する

2つの画面を表示したり、ポップアップで異なるアプリを同時に使用することができます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。

※ 一部のアプリでは、本機能を利用できない場合があります。



分割画面表示例

1 ⇄（履歴ボタン）

- アプリのサムネイルが表示されます。

2 アプリのサムネイルの ⊟ をタップ

- 画面が上下に分割され、アプリが画面の上側に表示されます。

3 画面の下側でアプリのサムネイルをタップ

- アプリが画面の下側に表示されます。
- 「アプリリスト」をタップして、画面の下側に表示されたアプリを選択することもできます。

お知らせ

- 横画面の場合は左右に分割して表示されます。
- 中央に表示される仕切り線の ▬ を上下（横画面の場合は左右）にドラッグすると、アプリの表示範囲を変更できます。その際、選択しているアプリは青色で表示されます。
- 中央に表示される仕切り線の ▬ をタップすると機能ボタンが表示されます。
  - ⊡ をタップすると、選択しているアプリの領域を選択して画面上部に固定できます。縦画面の場合に表示されます。
  - ⊠ をタップすると、画面上部の固定を解除できます。アプリを画面上部に固定している場合に表示されます。
  - ⟳ をタップすると、2つの画面の上下（横画面の場合は左右）が切り替わります。
  - ⊡ をタップすると、選択しているアプリがポップアップで表示されます。
  - ✕ をタップすると、分割画面表示が終了します。

ホームアプリの切り替えかた

□（ホームボタン）をタップして表示されるホーム画面を変更します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「アプリ」→ ⋮ →「標準アプリ」→「ホーム画面」

2 「docomo LIVE UX」／「Galaxyホーム」

3 「OK」

緊急時長持ちモードを有効にする

緊急時長持ちモードを有効にすると、以下の設定に変更され、電池の消費を抑えることができます。

- 使用可能なアプリの数が制限されます。
- 画面OFF時にモバイルデータが無効になります。
- Wi-FiやBluetoothなどの接続機能が無効になります。
- マナーモード（バイブ、サイレント）がOFFになります。

1 ▯（電源／画面ロックキー）を1秒以上押す

2 「緊急時長持ちモード」→ 利用規約を確認し、チェックを付ける →「同意」→「ON」

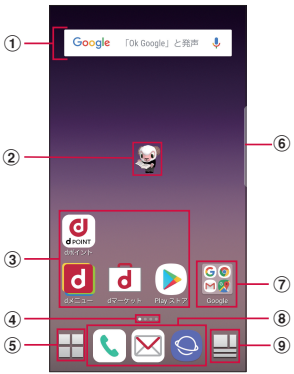
お知らせ

- 緊急時長持ちモードを無効にするには、⋮ →「緊急時長持ちモードをOFF」をタップするか、または▯（電源／画面ロックキー）を1秒以上押し、「緊急時長持ちモード」をタップします。
- 緊急時長持ちモードで、再びWi-Fi、Bluetooth機能をONにするには、⋮ →「設定」→「Wi-Fi」／「Bluetooth」→ ◯ をタップして設定します。
- 緊急時長持ちモードで、マナーモード（バイブ）をONにするには、音量DOWNキーをマナーモードが設定されるまで押してください。
- 緊急時長持ちモードを有効にすると、一部の機能が制限されます。また、使用可能なアプリにおいて、使用できる機能が制限されます。
- 緊急時長持ちモードでも、テレビやブラウザは電池をより多く消費します。
- 緊急時長持ちモードを無効にすると、ホーム画面の一部のウィジェットが表示されなくなり、再配置が必要になることがあります。
- 緊急連絡先には、緊急通報（119番）が登録されています。
- ホーム画面のアプリを削除するには、⋮ →「削除」→ 削除するアプリをタップ →「完了」をタップします。

docomo LIVE UX

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリやウィジェットを起動したり、アプリ一覧画面を表示したりすることができます。



ホーム画面の表示内容（表示例）
「ひつじのしつじくん ®」
©NTT DOCOMO

① **ウィジェット（例：Google検索）**
- ウィジェットの起動や操作を行います。

② **マチキャラ（例：ひつじのしつじくん）**
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

③ **アプリ**
- アプリを起動できます。

④ **現在の位置**
- ホーム画面のページ枚数と現在の位置を示します。
- ホーム画面を左右にスクロール／フリックするとページを切り替えられます。

⑤ **アプリボタン**
- アプリ画面が表示されます。→ P.54
- ホーム画面を切り替えても常に表示されます。

⑥ **エッジパネルハンドル（P.42）**

⑦ **フォルダ**
- 複数のアプリをフォルダにまとめることができます。

⑧ **アプリ**
- ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
- ショートカットやフォルダも配置できます。

⑨ **マイマガジンボタン**
- マイマガジンが表示されます。→ P.57
- ホーム画面を切り替えても常に表示されます。

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面にアプリを移動したり、ウィジェットのショートカットやフォルダを追加したりできます。

アプリなどを移動／追加する

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ

2 「アプリを表示」／「ウィジェットを表示」／「フォルダを作成」
- アプリやウィジェットを移動／追加する場合は、アイコンをロングタッチ → 画面下部のホーム画面までドラッグして離します。

お知らせ
- ネットワークに接続するウィジェットの場合、パケット通信料が発生する場合があります。
- フォルダ名を変更するには、変更したいフォルダをタップ → フォルダ名をタップ → フォルダ名を入力 →「完了」をタップします。
- アプリの通知があるとき、アプリアイコンやフォルダの右上に、● が表示される場合があります。

アプリなどの移動

1 ホーム画面で移動したいアプリやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

アプリをホーム画面からアプリ画面に戻す

1 ホーム画面でアプリ画面に戻したいアプリをロングタッチ

2 「アプリ一覧に戻す」までドラッグして離す

ウィジェットなどをホーム画面から削除

1 ホーム画面で削除したいウィジェットやショートカットなどをロングタッチ

2 「ホーム画面から削除」までドラッグして離す

アプリやウィジェットのアンインストール

1 ホーム画面でアンインストールしたいアプリやウィジェットをロングタッチ

2 「アンインストール」までドラッグして離す →「OK」
- アンインストール完了のメッセージが表示されます。

お知らせ
- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットの場合は、手順2で「アプリ無効化」までドラッグして離す →「無効」→「無効」をタップすると、無効化（P.118）することができます。

きせかえの変更

壁紙やアプリ画面を一括設定できる機能です。

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「きせかえを変更」

2 設定するテーマを選択 →「設定」

壁紙の変更

ホーム画面の壁紙を自分好みに変更できます。

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「壁紙を変更」

2 壁紙を選択
- 「写真の一覧から選ぶ」をタップすると、撮影した写真やキャプチャした画像から壁紙を選択できます。
- 「他の壁紙を選ぶ」をタップすると、「ライブ壁紙」／「壁紙」／「ギャラリー」／「フォト」から選択できます。

3 画面の指示に従って壁紙を設定

マチキャラを表示する

ホーム画面上を自由に動き回るキャラクターを設定し、「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示します。

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「マチキャラ設定」

2「キャラ表示」の

お知らせ

- 表示されているキャラクターをロングタッチしても設定画面が表示されます。

ホーム画面の追加

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「ホーム画面一覧」またはホーム画面でピンチイン

2「ホーム画面を追加する」
- 最大7枚までページを追加できます。

ホーム画面の並べ替え

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「ホーム画面一覧」またはホーム画面でピンチイン

2 ホーム画面のサムネイルをロングタッチ

3 移動したい位置までドラッグして離す

ホーム画面の削除

1 ホーム画面でアプリやウィジェットなどのない壁紙部分をロングタッチ →「ホーム画面一覧」またはホーム画面でピンチイン

2 削除したいホーム画面のサムネイルの

アプリ画面の見かた

1 ホーム画面で
- アプリ画面が表示されます。
- ホーム画面を下にスクロール／フリックしても、アプリ画面を表示できます。

アプリ画面の表示内容（表示例）

① **「アプリ」タブ／「ウィジェット」タブ／「壁紙」タブ／「おすすめ」ボタン**
- アプリ／ウィジェット／壁紙画面を表示します。
- 「おすすめ」ボタンでは、ドコモがおすすめするアプリをインストールできます（P.55）。

② **アプリ**
- ホーム画面に貼り付けられていないアプリが表示されます。アイコンを選択して、アプリを起動することができます。
- 画面を左右にスクロール／フリックするとページを切り替えられます。

③ **すべてのアプリを表示**
- すべてのアプリをリストで一覧表示します（P.56）。

④ **ホーム画面**
- 左右にスクロール／フリックするとページを切り替えられます。
- 上にスクロール／フリックするとホーム画面を表示できます。

⑤ **メニュー**
- 検索や各種設定、ヘルプなどのメニューを表示します。

⑥ **現在の位置**
- アプリ画面のページ枚数と現在の位置を示します。

アプリの管理

アプリのホーム画面への移動

1 アプリ画面でホーム画面に移動したいアプリをロングタッチ

2 画面下部のホーム画面までドラッグして移動したい位置で離す

アプリやウィジェットのアンインストール

1 アプリ／ウィジェット画面でアンインストールしたいアプリ／ウィジェットをロングタッチ

2 「アンインストール」までドラッグして離す →「OK」
- アンインストール完了のメッセージが表示されます。

お知らせ
- アンインストールできない一部のアプリやウィジェットの場合は、手順2で「アプリ無効化」までドラッグして離す →「無効」→「無効」をタップすると、無効化（P.118）することができます。

アプリの移動

1 アプリ画面で移動したいアプリをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

おすすめアプリのインストール

ドコモがおすすめするアプリをインストールできます。

- 初回起動時にはおすすめアプリの説明ページが表示されます。「おすすめアプリを見る」をタップしたあと、✕をタップまたは「おすすめアプリ一覧へ」をタップすると、アプリの一覧が表示され、おすすめアプリの通知もONになります。

1 アプリ画面で「おすすめ」

2 利用したいアプリを選択
- アプリの紹介画面が表示されます。

お知らせ
- ホーム画面で ⊞ →「おすすめ」→ ⚙ →「通知設定」の トグル をタップすると、通知のON／OFFの切り替えができます。

すべてのアプリを表示

アプリを検索する機能です。

1 アプリ画面で「すべてのアプリを表示」

すべてのアプリが一覧になったページが表示されます。そのページでアプリをタップするとアプリが起動します。 をタップすると、アプリのある画面に遷移し、アイコンにフォーカスが当たった状態で表されます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

ホーム画面のバックアップ

1 アプリ画面で ⋮ →「配置のバックアップと復元」

- ホーム画面の設定情報をバックアップ／復元するには、dアカウントの設定が必要です（P.127）。

2 ⚙ →「バックアップ」

ホーム画面の復元

1 アプリ画面で ⋮ →「配置のバックアップと復元」

2「最新のバックアップデータを復元」→「復元する」

- バックアップデータが複数ある場合は、「バックアップデーター覧から復元」をタップしバックアップデータを選択します。

マイマガジンの利用

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

1 ホーム画面で

- 初めて利用するときは、画面の指示に従ってマイマガジンに表示するジャンルなどを設定します。
- ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。記事一覧画面を左右にフリックしてジャンルを切り替えます。

2 読みたい記事をタップ

お知らせ

- ホーム画面で上にフリックしてもマイマガジンの記事一覧画面を表示できます。
- ホーム画面で → → 「マイマガジン設定」をタップして、位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

ジャンルを設定する

記事一覧画面に表示するジャンルの追加や削除、並べ替えができます。

1 ホーム画面で → → 「表示ジャンル設定」

2 ジャンルにチェックを付ける／チェックを外す

- チェックの付いたジャンルが表示されます。
- ジャンルの並び替えをするには、 をタップし、≡ を上下にドラッグして位置を変更して、「OK」をタップします。

マイマガジンの利用設定

1 ホーム画面で → → 「マイマガジン設定」→「マイマガジン利用設定」

2 「利用する」／「利用しない」→「OK」

- 「アイコンを表示する」のチェックを付ける／外すことで、ホーム画面にマイマガジンのアイコンを表示するかどうかを設定することができます。

お知らせ

- アプリ画面で → 「マイマガジン利用設定」をタップしてもマイマガジンを利用するかどうかを設定できます。

ホームアプリの情報

バージョン情報

docomo LIVE UXの提供者やバージョン情報などが確認できます。

1 アプリ画面で → 「アプリ情報」

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合には、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」ボタンが表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートします。

ヘルプ

docomo LIVE UXについての詳細説明や操作方法などが確認できます。

1 アプリ画面で → 「ヘルプ」

電話

電話をかける

1 ホーム画面で → 「ダイヤル」

2 相手の電話番号を入力

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

ダイヤル画面

① **電話帳**
「ドコモ電話帳」アプリが起動します。

② **ダイヤル**：ダイヤル画面が表示されます。
履歴：履歴画面が表示されます（P.62）。
お気に入り：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます（P.69）。

③ **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

④ **電話発信キー**
入力した電話番号に電話をかけます。

⑤ **メニュー**
メニューを表示します。

⑥ **削除キー**
一番右側の番号またはカーソルの左側の番号を削除します。ロングタッチすると、入力された番号をすべて削除できます。

⑦ **電話帳登録キー**
入力した電話番号を電話帳に登録します。

3

- ビデオコールを発信する場合は、 → 「ビデオコール」をタップします。

4 通話が終了したら

お知らせ

- 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にするには、電話番号の前に「186」（通知）／「184」（非通知）を入力します。「発信者番号通知」（P.64）を利用して、あらかじめ通知／非通知を設定することもできます。
- 銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するためには、「2秒間の停止を追加」または「待機を追加」を使用します。
  - ダイヤル画面で電話番号を入力 → → 「2秒間の停止を追加」→ 任意の番号を入力 → をタップすると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
  - ダイヤル画面で電話番号を入力 → → 「待機を追加」→ 任意の番号を入力 → をタップすると、電話がつながって「はい」をタップしたときにプッシュ信号（番号）が送信されます。
- VoLTEは、通話やビデオコールを高品質でご利用いただけます。
  VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種であること
  - VoLTE利用可能エリアであること
  - 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」（P.141）が「4G／3G／GSM（自動接続）」に設定され、「通話モード設定」がONに設定されていること
- VoLTE（HD+）は、通話やビデオコールの音声がVoLTEよりさらに高音質でご利用いただけます。
  VoLTE（HD+）のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、自分と相手がVoLTE（HD+）対応機種である必要があります。
- ビデオコールは、お互いの映像を見ながら通話ができます。また、音声通話と切り替えられます。
  - ビデオコールの発信時は音声通話料およびパケット通信料がかかります。また、着信時にもパケット通信料がかかります。
  - 映像はベストエフォート通信（通信の混雑具合に応じた最適速度となる）のため、通信環境により品質は異なります。
  - 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、画面上にビデオコール切り替えに失敗した旨が表示され、音声通話が継続されます。
  - ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。
- ホーム画面で → 「ダイヤル」をタップしてGalaxyが提供する「ダイヤル」アプリを起動し、をタップしても、電話をかけることができます。ただし、ドコモが提供する「電話」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモnanoUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 「番号指定拒否」（P.64）を設定した状態で緊急通報110番、119番、118番に発信すると、番号指定拒否はOFFになります。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは緊急通報は利用できません。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

- 着信中の画面が表示されます。

着信中の画面
（音声通話）

着信中の画面
（ビデオコール）

2 ／ を表示される円の外側までドラッグ

- 通話が開始されます。

着信拒否する場合

／ を表示される円の外側までドラッグします。

着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝える場合

画面下部の「メッセージを送信」を上方向にドラッグし、拒否理由をタップします。

- 拒否理由は変更できます（P.65）。

「伝言メモ」で応答する場合

画面下部の「メッセージを送信」を上方向にドラッグし、「伝言メモ」をタップします。

- 音声通話の場合のみ利用できます。

ビデオコールで自分の映像を相手に送信したくない場合

「自分を非表示」をタップしてから、 を表示される円の外側までドラッグします。

ビデオコールを音声通話で受ける場合

 を表示される円の外側までドラッグします。

- 音声通話が開始されます。

3 通話が終了したら ／

お知らせ

- 着信中に▯(電源／画面ロックキー）や音量UPキー／音量DOWNキーを押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。
- 「スグ電設定」(P.66）の「応答」をONにすると、電話がかかってきた際に、端末を耳にあてるだけで電話を受けられます。

アプリ起動中に着信を受ける

アプリの起動中に音声通話の着信があると、ポップアップに着信が表示されます。

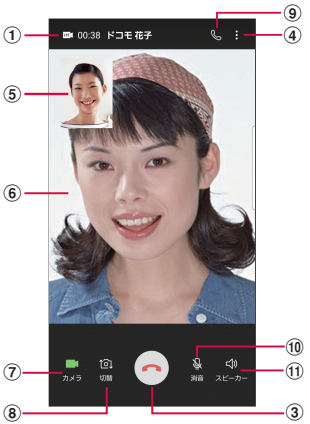
着信中の画面

- 「応答」／「拒否」をタップすると通話を開始／拒否できます。
- 「メッセージを送信」をタップすると、着信拒否をして相手にSMSで拒否理由を伝えたり、伝言メモで応答したりすることができます。
- 画面をタップすると、全画面表示になります。

通話中の操作

通話中は以下のような画面が表示されます。

音声通話中の画面



ビデオコール通話中の画面

① **高音質表示**

② **メニューアイコン**
タップしてそれぞれの操作を行います。
- 通話を追加：別の相手に電話をかけます。
- ビデオコール：ビデオコールに切り替えます。
- Bluetooth：Bluetoothデバイスと接続してハンズフリーで通話します。
- スピーカー：相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
- 消音：自分の声を相手に聞こえないようにします。
- キーパッド／非表示：キーパッドの表示／非表示を切り替えます。キーパッドをタップしてプッシュ信号を送信します。

③ ／
通話を終了します。

④ ／
通話中画面のメニューを表示します（P.61）。

⑤ **自分の画像**
- →「映像エリア切替」をタップすると、自分の画像と相手の画像が入れ替わります。

⑥ **相手の画像**
相手の設定によっては、代替画像が表示されます。
- 相手の映像を受信できないときは が表示されます。

⑦ **カメラ**
自分の画像を相手に送信するかどうかを切り替えます。

⑧ **切替**
相手に送信する映像のカメラを内側／外側で切り替えます。

⑨ **音声通話**
音声通話に切り替えます。

⑩ **消音**
自分の声を相手に聞こえないようにします。

⑪ **スピーカー**
スピーカーから音声を出力するかどうかを設定します。

お知らせ

- 音声通話中に、相手がビデオコールに切り替えた場合は、ビデオコールへの切り替えを確認するメッセージが表示されます。「承認」をタップするとビデオコール通話中の画面になります。
- ビデオコール通話中にアプリを「電話」から切り替えた場合、相手に映像が送信されなくなります。

通話中画面のメニュー

通話中画面で ⋮／⋮ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
通話を保留／通話を再開※1※2	通話を保留／再開します。
録音／録音を停止※2	通話中の音声を録音／録音を停止します。
音声補正を有効にする／音声補正を無効にする※3	音声補正を有効にするかどうかを切り替えます。
連絡先を表示／連絡先に追加※2	連絡先を表示／連絡先に追加します。
メッセージを送信※3	SMSを送信します。
オーディオデバイスに切替／本体に切替※4	Bluetoothデバイスを利用して通話するかどうかを設定します。
音声通話に切替※4	音声通話に切り替えます。
映像エリア切替※4	自分の画像と相手の画像を入れ替えるかどうかを設定します。

※1 「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。
※2 音声通話中のみ表示されます。
※3 音声通話中のみ表示されます。接続しているネットワークによって、表示されない場合があります。
※4 ビデオコール通話中のみ表示されます。

お知らせ

- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に音量UPキー／音量DOWNキーを押します。
- 音声通話中の画面は、本端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき（ヘッドセットなどを取り付けている場合やスピーカーをONにしている場合を除く）や操作せずに約30秒経過すると、自動的に消えます。本端末を顔から遠ざけたり、▯（電源／画面ロックキー）を押したりすると、通話中画面を表示できます。

履歴

履歴画面では、発着信履歴を一覧で確認できます。

- 最大500件まで表示できます。

1 ホーム画面で → 「履歴」

- 履歴画面が表示されます。

履歴画面

① **電話帳**
「ドコモ電話帳」アプリが起動します。

② **ダイヤル**：ダイヤル画面が表示されます（P.58）。
履歴：履歴画面が表示されます。
お気に入り：お気に入りに追加した連絡先の一覧が表示されます（P.69）。

③ **履歴切り替え**
着信履歴または発信履歴のみの表示に切り替えます。「すべて」をタップすると、すべての発着信履歴を表示します。

④ **名前、電話番号、発着信日時**
- タップすると発信画面を表示します。発信画面の項目をタップすると、電話発信、SMS送信などを行います。
- ロングタッチすると、以下のメニューが表示されます。
  - 発信前に番号を編集：発信前に番号を編集します。
  - 通話履歴から削除：通話履歴から削除します。
  - 着信拒否番号として登録：迷惑電話ストップサービス（P.64）の着信拒否番号として登録したり、着信やメッセージを拒否する番号指定拒否（P.64）への登録／解除ができます。
  - お気に入りに登録：お気に入りに登録します。
  - 居場所を確認：イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチのサイトへ接続します。

⑤ **メニュー**
メニューを表示します。

⑥ **発信、着信、不在着信**
- 音声通話／ビデオコールの区別は表示されません。

⑦ **音声電話発信キー**
発着信履歴の電話番号に音声発信します。

お知らせ

- 不在着信がある場合はステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にスクロール／フリックし、画面の指示に従って操作してください。
- ホーム画面で →「ダイヤル」をタップしてGalaxyが提供する「ダイヤル」アプリを起動し、「履歴」をタップしても、発着信履歴を確認することができます。ただし、ドコモが提供する「電話」アプリとは、利用できる機能などが異なります。

伝言メモ

電話に応答できないときに、応答メッセージを流して伝言を録音する伝言メモを設定できます。

- ビデオコールでは伝言メモは利用できません。

1 ホーム画面で → ⋮ →「通話設定」

2「伝言メモ設定」→「メッセージで自動応答」→「毎回」／「バイブ／サイレント設定中は有効」／「手動」

- 「応答メッセージを再生するまでの時間」をタップすると応答時間を0～120秒まで設定できます。
- 「言語」をタップすると応答メッセージの言語を設定できます。

お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にスクロール／フリックし、「新しい録音メッセージ」をタップすると、伝言メモを確認できます。ホーム画面で → ⋮ →「通話設定」→「伝言メモ設定」→「録音メッセージ」をタップしても、伝言メモを確認できます。
- 最大録音時間は1件あたり約13時間です。最大保存件数はシステムメモリ（本体）の空き容量により異なります。

国際電話（WORLD CALL）を利用する

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。海外での利用については、P.140をご覧ください。

- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されない／正しく表示されないことがあります。この場合、履歴から電話をかけることはできません。

1 ホーム画面で →「ダイヤル」→「0」「1」「0」→ 国番号 → 地域番号（市外局番）→ 相手の電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2

3 通話が終了したら

お知らせ

- 「国番号-地域番号（市外局番）-電話番号」の先頭に、「0」をロングタッチして「+」を入力すると、発信時に国際ダイヤルアシスト画面が表示されます。「WORLD CALLで発信」をタップすると「+」が国際アクセス番号の「009130010」に変換され、国際電話をかけることができます。

通話設定

ホーム画面で → ⋮ →「通話設定」をタップすると通話関連機能の設定ができます。

項目		説明
番号が未登録の連絡先を非表示		Galaxyが提供する「ダイヤル」アプリで連絡先を表示する際、電話番号が登録された連絡先のみを表示し、その他の連絡先は非表示にします。
ネットワークサービス	留守番電話サービス※1	かかってきた電話に応答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。
	転送でんわサービス※1	かかってきた電話に応答できなかったときに、電話を転送するサービスです。
	キャッチホン※1	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけることができるサービスです。
	発信者番号通知	電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を通知します。
	迷惑電話ストップサービス	相手の番号を登録し、迷惑電話の着信拒否を設定します。
	番号通知お願いサービス	番号通知お願いサービスを開始／停止します。
	着信通知	着信通知を開始／停止します。
	英語ガイダンス	英語ガイダンスを設定します。
	遠隔操作設定	遠隔操作を開始／停止します。
	公共モード（電源OFF）設定	電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
海外設定		→ P.143
番号指定拒否	拒否する番号のカテゴリ	拒否する番号のカテゴリを設定します。
	電話番号を追加	着信とメッセージを拒否する電話番号を管理します。
クイック拒否メッセージ		→ P.65
通話応答／終了	音量アップキーを押して着信に応答	音量UPキーを押して着信に応答するかどうかを設定します。
	自動応答	ヘッドセットやBluetoothデバイスが接続された状態で電話がかかってきた場合に、2秒後に自動的に接続するかどうかを設定します。
	電源キーを押して通話終了	▯（電源／画面ロックキー）を押して通話を終了するかどうかを設定します。 ・「電源キーを押して通話終了」がONの状態で、通話中にスリープモードになった場合は、▯（電源／画面ロックキー）を押してスリープモードを解除してから▯（電源／画面ロックキー）を押すと通話を終了できます。
伝言メモ設定※1	メッセージで自動応答	→ P.63
	応答メッセージを再生するまでの時間	→ P.63
	言語	→ P.63
	録音メッセージ	→ P.63
発信者情報を表示		発信者の直近の情報を表示するかどうかを設定します。
ポップアップで通話を表示		他のアプリの使用中に、通話中の画面をポップアップで表示するかどうかを設定します。
通話通知	通話開始時のバイブ	通話開始時に本端末を振動させるかどうかを設定します。
	通話終了時のバイブ	通話終了時に本端末を振動させるかどうかを設定します。
	通話開始時に音を再生	通話開始時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話終了時に音を再生	通話終了時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話中の通知	アラームやSMSの受信などが発生したときに通知音を鳴らすかどうかを設定します。

項目		説明
着信音とキーパッド音	着信音	着信音を設定します。
	バイブパターン	バイブパターンを設定します。
	着信時にバイブ	着信時にバイブを振動させるかを設定します。
	ダイヤルキーパッド音	ダイヤルキーパッドをタップしたときに操作音を再生します。
電話スタンプを表示		Galaxyが提供する「ダイヤル」アプリで発信や通話をする際、電話スタンプを使用するかどうかを設定します。
通話を録音	通知	通話の録音が完了したときに、通知を受信します。
	通話の自動録音	選択した番号に発着信した通話を自動的に録音します。
	保存場所※2	保存場所を選択できます。
自動市外局番		「ダイヤル」アプリで電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する局番（エリアコード）を登録できます。
スグ電設定		→P.66
電話アプリについて		Galaxyが提供する「ダイヤル」アプリについて確認します。

※1 ビデオコールではご利用いただけません。
※2 microSDカードを取り付けている場合のみ表示されます。

着信拒否時にSMSで送信する拒否理由を登録する

本端末では、電話の着信を拒否して相手にSMSで拒否理由を伝えることができます。拒否メッセージは、最大6件まで登録できます。

- 初期状態では3件の拒否メッセージが登録されています。

1 ホーム画面で → ⋮ →「通話設定」→「クイック拒否メッセージ」

2 拒否メッセージを入力 → ＋

登録済みの拒否メッセージを編集する場合

編集したい拒否メッセージをタップ → 拒否メッセージを編集 →「保存」をタップします。

拒否メッセージを削除する場合

削除したい拒否メッセージの － をタップします。

指定した電話番号からの着信とメッセージを拒否する

着信とメッセージを拒否したい相手の電話番号を登録したり、番号カテゴリを選択したりできます。電話番号は、最大100件まで登録できます。

1 ホーム画面で → ⋮ →「通話設定」→「番号指定拒否」

2 拒否したい電話番号を入力 → ＋

- 👤 →「連絡先」／「グループ」／「履歴」をタップすると、連絡先やグループ、履歴から電話番号を選択して入力できます。
- 「拒否する番号のカテゴリ」→ 拒否したい番号カテゴリにチェックを付けると、まとめて拒否できます。

スグ電設定をする

モーションおよび音声キーワードだけで電話の操作ができる「スグ電」の設定を行います。

1 ホーム画面で → ⋮ →「通話設定」→「スグ電設定」

項目		説明
応答		端末を耳に当てることで応答できるかを設定します。
切断	モーション	通話中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで切断できるかを設定します。 スグ電の切断をONにして、切断動作（モーション）が実行されると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。 • 相手が保留中の場合 • 伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中） • 切断する際に、端末を下向きに置く動作が速いと反応しない（切断できない）場合があります。その場合は、動作をゆっくり行うと反応（切断）します。 • 端末を強く振ると、モーションが実行したとみなされ、切断される場合があります。
	音声	通話中に切断キーワードを発した後に端末を耳から離すことで切断できるかを設定します。 • スグ電の切断をONにして、切断動作（切断キーワード）が実行されると、以下においては切断が有効となり、通話が切断されます。 - 相手が保留中の場合 - 相手が伝言メモ起動中の場合（応答メッセージ再生中／伝言メモ録音中） • 音声終話をONにしている状態で通話している時は、他のマイクを利用するアプリや通話中の音声を利用するアプリ（例：通話録音アプリ）は使用できないことがございます。通話中にご利用になりたい場合は、終話後に切断（音声）をOFFにすることで利用可能になれます。 • 伝言メモ、音声メモの起動中（応答メッセージの再生中／伝言メモ、音声メモの録音中）は、音声での切断ができません。伝言メモ、音声メモの録音中に電話に出た場合には、音声での切断が可能になります。 •「はなして翻訳」を利用した通話の場合は、音声での切断はできません。

項目		説明
切断	音声	• スグ電音声機能の提供には音声認識技術や言語処理技術を用いておりますが、当社はそれらの技術の精度などについて何らの保証をするものではありません。 • 通話時に声量が小さすぎたり、騒音下で通話したり、または発話の仕方によっては、音声認識ができない場合があります。
発信		ホーム画面で端末を1回振ってから耳に当てることで、あらかじめ登録した相手、または発着信履歴に登録された相手に発信できるかを設定します。 • ホーム画面中もしくはスワイプロック中でのみ発信が可能です。
消音・拒否		着信中に画面を下向きにして端末を水平に置く、または端末を2回振ることで応答拒否できるかを設定します。「消音」「切断」「拒否してSMS送信」から選択できます。 • 端末を強く振ると、モーションが実行されたとみなされ、応答拒否される場合があります。
発信ランキング		発信回数の多い相手の確認ができます。
着信時名前非表示		着信時に端末を動かすまで相手の名前を表示しないかを設定します。 • 着信時名前非表示機能は、着信時に伝言メモが起動すると名前を表示します。
利用情報の送信		スグ電の利用情報を送信するかどうかを設定します。
ローミング時スグ電無効		海外渡航時にスグ電をOFFにするかを設定します。 • スグ電機能は海外では自動で無効になります。海外でご使用の場合はスグ電設定より、ローミング時スグ電無効をOFFにしてからお使いください。

お知らせ

- スグ電は以下の場合には動作しません。
  - スピーカホン利用時
  - イヤホン、ヘッドセット利用時
  - 通話機能を持つBluetooth機器と接続中の場合
  - 通話中にさらに発信／着信を行う場合
  - 寝ている体勢の場合
  - 走る、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしている場合
  - ブックタイプのスマートフォンケースなどでディスプレイを覆っている場合
- 着信中に画面ONのまま鞄やポケットにいれると、まれにモーションが実行されたとみなされ、応答または切断される場合があります。
- 切断する際に、端末を下向きに置く動作が速いと反応しない（切断できない）場合があります。その場合は、動作をゆっくり行うと反応（切断）します。
- 近接センサーは黒いものに反応しにくい特性があります。
  （応答をする際）髪の毛の上から受話口をあてている場合、近接センサーが正常に動作しにくいため、電話に応答できない場合があります。その場合は耳に直接受話口をあててください。
  （切断／拒否をする際）黒い机などの上で本端末を裏返すと反応しない（切断／拒否されない）場合があります。その場合は直接置かず、机などから1cm程度浮かせるように本端末を裏返すと反応（切断／拒否）します。
- スグ電はビデオコールには非対応ですが、着信時名前非表示のみビデオコールに対応しています。
- スグ電の機能やご利用時の注意事項など、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。
  https://www.nttdocomo.co.jp/service/suguden/

電話帳

電話帳に登録する

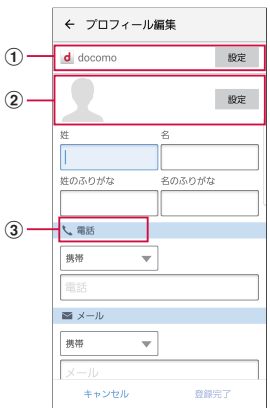
ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

- 電話帳でクラウドサービスをご利用になる際は、「ドコモ電話帳」アプリが必要です。
- 「ドコモ電話帳」アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」という画面が表示され、クラウドの利用を設定できます。

1 **ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」**

- 初期状態では、連絡先一覧画面が表示されます。

2 **「登録」**



連絡先編集画面

① **アカウント**
「設定」をタップするとアカウントを選択できます。

② **画像欄**
「設定」をタップすると、画像を登録できます。

③ **ラベルキー**
入力内容のラベル（種類）を選択できます。

3 必要な項目を入力

- 連絡先のグループ（P.69）が登録されている場合は、「グループ」の「設定」をタップすると、連絡先をグループ分けできます。

4 「登録完了」

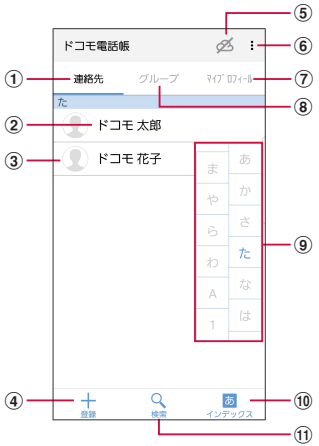
- 連絡先が表示されない場合は連絡先一覧画面で ⋮ →「設定」→「表示するアカウント」をタップして表示の設定を変更します。

お知らせ

- ホーム画面で ⊞ →「連絡先」をタップしてGalaxyが提供する「連絡先」アプリを起動すると、連絡先の登録や管理などができます。ただし、ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリとは、利用できる機能などが異なります。
- ホーム画面で ⊞ →「連絡先」→ ● →「本体」をタップすると、本端末に連絡先を保存できます。

連絡先の内容を確認／編集する

1 ホーム画面で「ドコモクラウド」→「ドコモ電話帳」→「連絡先」



連絡先一覧画面

① **連絡先**
- 連絡先一覧画面を表示します。

② **電話帳に登録された名前**

③ **電話帳に設定された写真**

④ **登録**
- 連絡先を登録します（P.67）。

⑤ **クラウドのログイン／ログアウト**

⑥ **メニュー**
- メニューを表示します。

⑦ **マイプロフィール**
- マイプロフィール画面が表示され、ご利用の電話番号の確認や、お客様ご自身のプロフィール情報の編集・管理ができます（P.69）。

⑧ **グループ**
- グループ一覧画面を表示します。グループの追加や編集などができます（P.69）。

⑨ **インデックス文字表示域**
- 「インデックス」をタップすると、名前を五十音順、アルファベット順などで検索できるインデックス文字が表示されます。

⑩ **インデックス**
- インデックス文字表示域を表示します。

⑪ **検索**
- 連絡先を検索します。

2 確認したい連絡先をタップ
- プロフィール画面が表示されます。
- 連絡先を編集する場合は、「編集」をタップします。

電話帳から電話をかける

1 連絡先一覧画面で電話をかけたい相手をタップ
- プロフィール画面が表示されます。

2
- 電話番号をタップするとSMSを作成したり、ビデオコールを発信したりすることができます。
- メールアドレスをタップしてアプリを選択するとメールを作成できます。

連絡先をお気に入りに追加する

1 連絡先一覧画面でお気に入りに追加したい連絡先をタップ → ☆（白色）をタップして、★（黄色）にする
- 追加した連絡先が「お気に入り」グループに表示されます。

グループを追加／編集する

1 連絡先一覧画面で「グループ」

2「グループ追加」

登録済みのグループを編集する場合

編集したいグループをタップ →「編集」→ 編集を行い「OK」をタップします。

グループを削除する場合

⋮ →「グループ削除」→ 削除したいグループにチェックを付ける →「決定」→「OK」をタップします。

グループの表示順を並べ替える場合

「並べ替え」→ グループをタップ → グループを表示したい位置にドラッグ →「決定」をタップします。

3 アカウントを選択 → グループ名を入力 → アイコン、色を選択

4「OK」

お知らせ
- グループ作成時にアイコンや色を設定したり、グループ一覧で並べ替えができるのは、保存先がdocomoのアカウントのグループのみです。

グループに連絡先を追加する

1 連絡先一覧画面で「グループ」

2 グループをタップ →「メンバー追加」→ 追加したい連絡先にチェックを付ける →「決定」→「OK」
- グループから連絡先を削除する場合は、削除したい連絡先を含むグループをタップ →「メンバー削除」→ 削除したい連絡先にチェックを付ける →「決定」→「OK」をタップします。

お知らせ
- グループに追加できる連絡先は、保存先が同じアカウントの連絡先のみです。

マイプロフィールを登録する

1 連絡先一覧画面で「マイプロフィール」
- プロフィール画面が表示されます。

2「編集」

3 必要な項目を入力 →「登録完了」

連絡先をインポート／エクスポートする

microSDカードやドコモnanoUIMカードと本端末の間で連絡先をインポートしたり、連絡先データ（vCard）として送信したりできます。

1 連絡先一覧画面で ⋮ →「SDカード／SIMカード／共有」

2 項目を選択
- 画面の指示に従って操作します。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。
ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。
※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス（SMS）」をご覧ください。

SMSを作成して送信する

1 ホーム画面で → 「メッセージ」

- スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。

2

- 宛先選択画面が表示されます。

3 宛先を選択 →「作成」

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は「作成」をタップし、宛先に送信先の携帯電話番号を入力します。
- 複数の相手に送信する場合は、携帯電話番号に続けてカンマ（,）を入力するか、 をタップします。
- をタップすると連絡先から宛先を選択して入力できます。

4 「メッセージを入力」欄にメッセージを入力

- 登録済みの定型文を挿入する場合は、 →「クイック返信」→ 挿入するメッセージをタップします。

5 「送信」

日時を指定してSMSを送信する場合

→「送信メッセージを予約」→ 送信したい日時を設定 →「完了」→ をタップします。

作成中のSMSを下書き保存する場合

宛先と本文が入力され、キーボードが表示された状態で → をタップします。

お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に“#”または“*”がある場合、SMSを送信できません。
- 送信予約したSMSの予約日時に本端末の電源が入っていない場合、SMSは送信されません。
- 送信予約したSMSは、本端末に設定した日付と時間で送信されます。ネットワーク状況や電波状態などによっては、設定した予約日時と送信日時が異なる場合があります。

受信したSMSを確認する

1 ホーム画面で ⊞ →「メッセージ」

- スレッド（SMSを送受信した相手）一覧画面が表示されます。
- 「検索」をタップするとSMSを検索できます。

2 読みたいスレッドをタップ

- SMS一覧画面が表示されます。
- 受信SMSは左側、送信SMSは右側、送信予約SMSは右側に表示されます。
- をタップすると受信元の電話番号に発信できます。

お知らせ

- 「通知」（P.71）をONに設定している場合は、SMSを受信すると、ステータスバーに が表示されます。

スレッド一覧画面のメニュー

スレッド一覧画面で ⋮ をタップすると以下の項目が表示されます。

項目			説明
編集			スレッドを編集します。
全てを既読にする			全てのスレッドを既読にします。
保護されたメッセージ			保護したSMSを表示します。
設定	通知		通知をONにすると、アプリアイコンのバッジの設定や、緊急通知、一般通知、新着メッセージのサウンド設定、ポップアップ設定ができます。また、ロック画面およびポップアップで新着メッセージのプレビューを表示するかどうかも設定できます。
	背景		背景を設定します。
	クイック返信		定型文を追加・編集します。
	メッセージを拒否	番号指定拒否	着信とメッセージを拒否する電話番号を管理します。
		フレーズを拒否	メッセージの受信を拒否するフレーズを管理します。
		拒否されたメッセージ	拒否されたメッセージを表示します。
	文字サイズ		文字サイズを設定します。
	その他の設定	SMS	配信状態確認、SIMカード保存メッセージ管理、メッセージセンター、有効期限を設定します。
		自動削除	保存される最大件数（1000件）に達した場合に、最も古いメッセージを削除します。
		Webプレビューを表示	チャット内でリンクされたWebサイトのプレビューを表示します。
	メッセージについて		「メッセージ」アプリについて確認します。
お問い合わせ			Galaxy Members が利用できます。

SMS一覧画面のメニュー

SMS一覧画面で ⋮ をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

本文画面のメニュー

送受信や送信予約したSMSをロングタッチするとメッセージオプションが表示されます。画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- 送信予約したSMSをすぐに送信する場合は、送信予約したSMSの → 「すぐに送信」→「すぐに送信」をタップすると、すぐに送信することができます。
- SMSはドコモnanoUIMカードに20件までコピーできます。

Eメール

一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPなどに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。
- 設定するEメールアカウントによって、手順が異なります。

1 ホーム画面で → 「Eメール」

2 メールアドレス、パスワードを入力 →「サインイン」

- アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で → 「Eメール」

2

- Eメール作成画面が表示されます。

3 「宛先」欄に送信先のメールアドレスを入力

- Cc/Bccを追加する場合は、 をタップしてCc欄またはBcc欄にアドレスを入力します。
- をタップすると、連絡先から宛先を選択して入力できます。

4 「件名」欄に件名を入力

5 本文欄に本文を入力

6 「送信」

お知らせ

- パソコンや他の端末とEメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。

受信したEメールを確認する

1 ホーム画面で → 「Eメール」
2 受信メール一覧を下にスライド
3 確認したいEメールをタップ
- 本文画面が表示されます。

お知らせ

- → → 「通知」をON にしている場合は、Eメールを受信すると、ステータスバーに などが表示されます。
- 本文画面で送信元をタップして「連絡先を表示」を選択すると、メールアドレスを連絡先に登録したり、Eメールを送信したりできます。
- データが添付されている場合はEメール一覧画面に が表示されます。ファイル名をタップすると添付データ一覧画面が表示されます。

Eメール一覧画面のメニュー

Eメール一覧画面で をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

本文画面のメニュー

本文画面で をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

Eメールの設定を変更する

アカウント設定

1 ホーム画面で → 「Eメール」
2 → → 設定したいアカウントをタップ
3 設定したい項目をタップ

項目	説明
アカウントを同期	Eメールのサーバーと同期を行うかどうかを設定します。
アカウント名	アカウント名を変更します。
ユーザー名	ユーザー名を変更します。
常にCc/Bccに自分を追加	自分のメールアドレスをCc/Bccに追加します。
署名	Eメールの本文に署名を入れるかどうかを設定します。また署名を編集します。
画像を表示	画像を表示するかどうかを設定します。
添付ファイルの自動ダウンロード※1	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかどうかを設定します。
同期スケジュール	Eメールを同期するタイミングを設定します。
同期するEメールの期間※1	Eメールを同期する期間を設定します。
読み込みEメール数※2	表示するEメールの数を設定します。
受信サイズの制限	受信するEメールのサイズを設定します。
ローミング中の受信サイズを制限	ローミング中に受信するEメールのサイズを設定します。
サーバー設定	送受信サーバーの設定を変更します。

※1 POP3アカウントの場合は表示されません。
※2 IMAPアカウントの場合は表示されません。

お知らせ

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、Eメール一覧画面で ☰ →「全てのアカウント」をタップすると、登録したすべてのEメールアカウントの受信メールを一覧で確認できます。
- Eメールアカウントを削除する場合は、Eメール一覧画面で ☰ → ⚙ → 削除したいEメールアカウントをタップ →「削除」→「削除」をタップします。
- Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントの場合は、設定項目が異なります。

基本設定

1 ホーム画面で ⊞ →「Eメール」
2 ☰ → ⚙
3 設定したい項目をタップ

Gmail

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- Gmailを利用するには、メールアドレスの設定が必要です（P.126）。メールアドレスの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。
- Gmailの詳細については、Gmailの画面で ☰ →「ヘルプとフィードバック」をタップしてご覧ください。

Gmailを開く

1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
- Gmailの新機能に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 読みたいメールをタップ
- 選択したメールの内容が表示されます。

Gmailを作成して送信する

1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」
2 ✎
- メール作成画面が表示されます。

3 宛先に送信先のメールアドレスを入力
- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。
- Cc/Bccを追加する場合は、⌄ をタップします。

4 「件名」欄に件名を入力
5 「メールを作成」欄に本文を入力
6 ➢

アカウントを切り替える

複数のEメールアカウントを登録している場合は、アカウントを切り替えることができます。

1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」

2 ☰

3 アカウント名をタップ → 切り替えるアカウントをタップ

- 選択したアカウントの受信トレイが表示されます。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェアアップデート中
  - PINコード入力画面表示中
  - 他社のSIMカードをご利用時
  - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）
- 端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

受信したエリアメールをあとで確認する

1 ホーム画面で ⊞ →「災害用キット」
2 「緊急速報「エリアメール」」→ エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

エリアメールを削除する

1 ホーム画面で ⊞ →「災害用キット」
2 「緊急速報「エリアメール」」→ 削除したいエリアメールにチェックを付ける
3 「削除」→「OK」

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 ホーム画面で ⊞ →「災害用キット」
2 「緊急速報「エリアメール」」→ ⋮ →「設定」
3 項目を設定

項目	説明
受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	専用ブザー音・専用着信音の鳴動時間や音量、マナーモード中でもブザー音・着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報（気象等に関する特別警報を含む）のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。
やさしい日本語表示	緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。
翻訳・アプリ連携設定	受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかどうかを設定します。

ウェブブラウザ

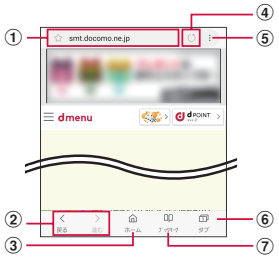
ウェブブラウザを使用する

ブラウザアプリを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面で
- ウェブブラウザが起動し、ホームページに設定されているウェブページ（初期状態ではdメニュー（http://smt.docomo.ne.jp/?home））が表示されます。



ブラウザ画面

① **アドレスバー**
ウェブページのURL や検索したいキーワードを入力します。
アドレスバーをタップすると、クイックアクセスが表示されます。
② **戻る／進む**
③ **ホーム**
ホームページに設定されているウェブページに戻ります。
④ **再読み込み**
⑤ **メニュー**
ブラウザのメニューを表示します。
⑥ **タブ**
タブを切り替えたり、閉じたり、新しいタブを開いたりします。
⑦ **ブックマーク**
ブックマークなどの一覧を表示します。

お知らせ

- アドレスバーやアイコンが表示されていない場合は、画面を下にフリック／スワイプすると表示されます。

ウェブブラウザを終了する

1 ⇄（履歴ボタン）→ ブラウザのサムネイルを左右にフリック
- ブラウザ画面で □（ホームボタン）や ←（戻るボタン）をタップしてホーム画面に戻っても、ブラウザは終了しません。

お知らせ
- ブラウザ画面で次の操作ができます（表示中のウェブページにより操作できない場合があります）。
  - 拡大／縮小：拡大／縮小したい位置でピンチアウト／ピンチイン
  - スクロール：画面をスクロール／フリック
  - 前の画面に戻る：←（戻るボタン）をタップする
  - 拡大鏡の使用：画面をロングタッチ
  - テキストのコピー、共有、検索：画面のリンクが貼られていないテキストをロングタッチ → ◢／◣ を上下左右にドラッグして、テキスト範囲を選択 → 利用したい機能をタップ

新しいタブを開く

1 ホーム画面で
2 「タブ」
- タブマネージャーが表示されます。

3 「新規タブ」
- ホームページ（P.78）に設定したページが表示されます。

4 画面上部の検索ボックスにURLまたは検索したいキーワードを入力
- タブを閉じる場合は、「タブ」→ 閉じたいタブの × をタップします。

シークレットタブを開く

ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに、ブラウザの閲覧ができます。
また、シークレットモードが有効な間に保存したすべてのブックマークおよびウェブページは、シークレットモードが無効な間は表示できません。

1 ホーム画面で
2 「タブ」
- タブマネージャーが表示されます。

3 「シークレットモードをON」
4 「パスワードを使用しない」→「OK」
- パスワードを使用する場合、「パスワードを設定」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- パスワードを後で登録する場合、タブマネージャー画面で ⋮ →「シークレットモードセキュリティ」→「パスワードを使用」をタップし、画面の指示に従って登録してください。

お知らせ
- シークレットモードをOFFにする場合、タブマネージャー画面で「シークレットモードをOFF」をタップする、またはウェブブラウザを再起動してください。
- シークレットモードで閲覧中のウィンドウは、アドレスバーの周囲がグレーで表示されます。
- シークレットタブで閲覧したウェブページは、閲覧履歴や検索履歴に表示されません。また、Cookie は本端末に保存されません。ただし、シークレットタブで閲覧中にダウンロードしたファイルやブックマークなどは保存されます。

ウェブページのリンクを操作する

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で
2 リンクをロングタッチ
3 利用したい項目をタップ

お知らせ
- 表示中のウェブページにより、リンク操作のメニューが表示されない場合や、表示される項目が異なる場合があります。

履歴やブックマークを管理する

履歴からウェブページを表示する

1 ホーム画面で
2 「ブックマーク」→「履歴」タブ
- 履歴の一覧が表示されます。
- 閲覧日時の新しい順に履歴が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ
- 履歴の一覧で ⋮ →「履歴を全て削除」をタップすると、履歴をすべて消去できます。

ウェブページをブックマークに追加する

1 ホーム画面で
2 ブックマークに追加するウェブページを表示 → ⋮ →「ブックマークに追加」
3 ブックマークのタイトルやWebアドレス、保存場所を確認／変更 →「保存」
- 「全て」をタップして、保存場所を変更することもできます。

ブックマークからウェブページを表示する

1 ホーム画面で
2 「ブックマーク」
- ブックマークの一覧が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

お知らせ

- ブックマークの一覧で ⋮ をタップすると、次の項目が表示されます。
  - 「編集」：複数のブックマークを選択して、削除や移動、表示順の変更などができます。
  - 「フォルダ作成」：フォルダを作成します。

ブックマーク／履歴／保存したページのメニュー

ブックマーク／履歴／保存したページをロングタッチすると選択画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

ウェブブラウザを設定する

1 ホーム画面で
2 ⋮ →「設定」
3 設定したい項目をタップ

項目	説明
ホームページ	ホームページを設定します。
標準検索エンジン	検索エンジンを設定します。
自動入力フォーム	自動で入力するプロフィール情報を設定します。
手動ズーム	ウェブページの設定とは無関係に、拡大／縮小できるようにするかどうかを設定します。
プライバシー	プライバシーに関するデータを利用するかどうかを設定したり、データを削除したりします。
Galaxyクラウドと同期	Galaxyアカウントにサインインすると、ブックマークや保存したページなどを同期します。
詳細設定	詳細の機能を設定します。
ユーザー補助	高コントラストモードの切り替えができます。
カスタマイズサービスを使用	対応するアプリやサービスなどのコンテンツをユーザーに合わせてカスタマイズします。
個人情報	カスタマイズサービスに送信する情報を選択できます。本機能を選択するにはGalaxyアカウントにサインインする必要があります。
ブラウザについて	ブラウザのバージョン情報を表示します。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で「dメニュー」

・ ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G/GSM）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で「dマーケット」

お知らせ

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html

Playストア

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です（P.126）。

アプリをインストールする

1 ホーム画面で「Playストア」

2 ダウンロードしたいアプリを検索し、タップ → 詳細を確認

3 無料アプリの場合は「インストール」、有料アプリの場合は金額欄をタップ → 画面の指示に従って操作

- インストールが完了すると、ステータスバーに が表示されます。
- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うことになります。

お知らせ

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlayストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。
- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- 購入したアプリに満足しない場合、規定の時間内であれば返金要求ができます。なお、返金要求は各アプリに対して最初の一度のみとなります。
- Google Playの詳細については、Playストアの画面で → 「ヘルプとフィードバック」をタップしてご覧ください。
- アプリのアンインストールについては、「アプリやウィジェットのアンインストール」（P.53）をご参照ください。

Galaxy Apps

Galaxy Appsを利用して、おすすめの豊富なアプリを簡単にダウンロードすることができます。

Galaxy Appsに接続する

1 ホーム画面で → 「Galaxy Apps」

2 利用したいアプリを検索してダウンロード

お知らせ

- Galaxy Appsは国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳細については、パソコンからGalaxy Appsサイト内のサポートページをご覧ください。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。
おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ※1、ドコモnanoUIMカード内データ※2が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 機種変更前のドコモnanoUIMカードを引き続き使う場合でも、ドコモnanoUIMカード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データ、ドコモnanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ
※2 ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイアプリよりサービスを設定してください。

1 ホーム画面で「おサイフケータイ」
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスをタップ

3 サービスに関する設定を行う
- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

4 マークを読み取り機にかざす
- 読み取り機と通信できます。

お知らせ

- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- 本端末の省電力モード設定（P.116）やデータセーバー設定（P.108）にかかわらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- インストールしているおサイフケータイ対応のアプリやその設定状態によっては、画面ロック中や画面がOFFのとき、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できなくなる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

「かざしてリンク対応サービス」を利用する

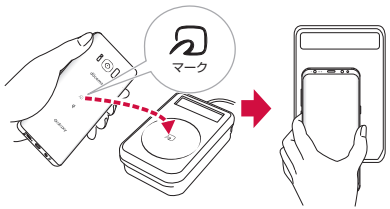
1 ホーム画面で → 「設定」 → 「接続」 → 「NFC ／おサイフケータイ 設定」

2 「Reader/Writer, P2P」 →

3 NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに マークをかざす

対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。



- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。NFC／おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で「おサイフケータイ」

2 → 「NFC／おサイフケータイ ロック」→ → パスワードを入力 →「OK」

- 初回起動時はパスワードの設定が必要です。画面の指示に従って、パスワードを設定してください。
- ロックを解除する場合は、 →「NFC／おサイフケータイ ロック」→ → パスワードを入力 →「OK」をタップします。

お知らせ

- 「NFC／おサイフケータイ ロック」をご利用になると、ステータスバーに または が表示されます。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック設定」が解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除してください。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」ご利用中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除してください。
- NFC／おサイフケータイのパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」の解除は、「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定した際に本端末に挿入していたドコモnanoUIMカードを取り付けた状態で行ってください。

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は2種類まで登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページ（http://id-credit.com/）をご覧ください。

タップ&ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効・無効の設定ができます。

- タップ&ペイの詳細については、ヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で → 「設定」→「接続」→「NFC／おサイフケータイ 設定」

2 「タップ&ペイ」

- ヘルプを表示するには、タップ&ペイ画面で →「ヘルプ」をタップしてください。

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メールやウェブダウンロードで取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で ⊞ →「トルカ」

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- コンテンツ提供者の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  更新、トルカの共有、地図表示
- 本端末の省電力モード設定（P.116）やデータセーバー設定（P.108）にかかわらず、トルカアプリはトルカ取得に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。

テレビ（フルセグ／ワンセグ）

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリです。また、映像・音声と共にデータ放送を受信することができ、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。
フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。
ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。
「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、以下のホームページでご確認ください。
一般社団法人　放送サービス高度化推進協会：
http://www.apab.or.jp/

フルセグ／ワンセグのご利用にあたって

フルセグ／ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の２種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

放送波について

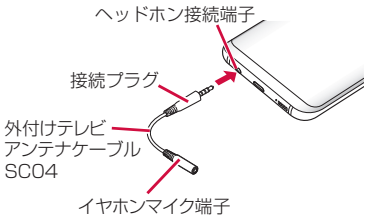
フルセグ／ワンセグは、放送サービスの１つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、以下のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

付属の外付けテレビアンテナケーブル SC04の向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

外付けテレビアンテナケーブル SC04について

フルセグ／ワンセグを視聴するときは、付属の外付けテレビアンテナケーブル SC04を本端末に接続してください。



1 外付けテレビアンテナケーブル SC04の接続プラグを、ヘッドホン接続端子に差し込む

テレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴する

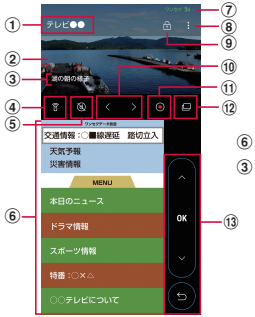
1 ホーム画面で ⊞ →「テレビ」

- 初めて起動したときやチャンネルエリアが登録されていない場合は、画面の指示に従ってチャンネルエリアの設定を行います（P.89）。

お知らせ

- 電波状態によっては、映像や音声が途切れたり、止まったりすることがあります。

視聴画面について



操作画面（ワンセグ）

操作画面（フルセグ）※

※フルセグの場合、データ放送は横画面の時のみ表示できます。

① **チャンネル**

② **テレビ映像**
- 左右にフリックすると、チャンネルを切り替えます。
- タップすると、メニューなどの表示／非表示を切り替えます。
- ロングタッチすると、番組の詳細情報などを表示します。

③ **字幕**

④ **リモコン／放送モード変更／番組の詳細情報表示**

⑤ **データ放送切替**

⑥ **データ放送**

⑦ **電波状態**

⑧ **メニュー**

⑨ **画面ロック**

⑩ **テレビ操作パネル**
- ＜／＞でチャンネルを切り替えます。

⑪ **録画**
- 番組を録画します。

⑫ **小画面**
- ポップアップ表示します。

⑬ **データ放送操作パネル**
- ／／／で項目にカーソルを合わせ、OKをタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- をタップすると、リンクの履歴に戻ります。
- をタップすると、テンキーを表示します。（フルセグ）

⑭ **チャンネル／番組表／TVファイルの表示**

⑮ **双方向サービスボタン（フルセグ）**
- 青・赤・緑・黄の4色ボタンを利用して、視聴者参加型クイズやアンケート、投票などを行うことができます。

■視聴画面でのキー操作
- 音量UPキー／音量DOWNキーで、音量を調節します。

操作画面について

1 視聴画面で「CH」タブをタップ

2 視聴したいチャンネルをタップ

CHタブ

操作画面（CHタブ）

① **チャンネル**

② **テレビ映像**
- 左右にフリックすると、チャンネルを切り替えます。
- タップすると、メニューなどの表示／非表示を切り替えます。
- ロングタッチすると、番組の詳細情報などを表示します。

③ **字幕**

④ **リモコン／放送モード変更／番組の詳細情報表示**

⑤ **データ放送切替**

⑥ **CHリスト**
- チャンネルをタップすると、チャンネルを切り替えます。
- チャンネルをロングタッチ →「削除」→「OK」をタップすると、チャンネルリストから削除できます。

⑦ **電波状態**

⑧ **メニュー**

⑨ **画面ロック**

⑩ **テレビ操作パネル**
- ＜／＞でチャンネルを切り替えます。

⑪ **録画**
- 番組を録画します。

⑫ **小画面**
- ポップアップ表示します。

⑬ **番組表**
- タップすると、視聴中チャンネルの番組一覧を表示します。

⑭ **チャンネルを更新**
- タップすると、チャンネルを更新します。

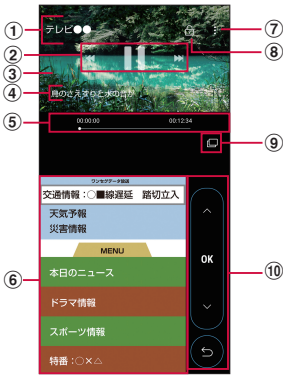
■CHタブでのキー操作
- 音量UPキー／音量DOWNキーで、音量を調節します。

TVファイルタブ

操作画面（TVファイルタブ）

① **TVファイルリスト**
- タップすると、TVファイルを再生できます。
- TVファイルをロングタッチ →「削除」→「OK」をタップすると、TVファイルを削除できます。

② **メニュー**



TVファイル再生画面

① **チャンネル／番組名**

② **再生操作パネル**
- ⏮／⏭でTVファイルを切り替えます。
- ▶／⏸でTVファイルの再生／一時停止を操作します。

③ **映像**
- 左右にフリックすると、TVファイルを切り替えます。

④ **字幕**

⑤ **再生時間、スライダー**
- ●をドラッグしてTVファイルの再生位置を任意の時間まで操作できます。

⑥ **データ放送**

⑦ **メニュー**

⑧ **画面ロック**

⑨ **小画面**
- ポップアップ表示します。

⑩ **データ放送操作パネル**
- ∧／∨で項目にカーソルを合わせ、OKをタップして項目を選択します。リンク先のデータ放送が表示されます。
- ↩をタップすると、リンクの履歴に戻ります。

■TVファイル再生画面でのキー操作
- 音量UPキー／音量DOWNキーで、音量を調節します。

予約リスト

1 視聴画面で ⋮ →「予約リスト」

操作画面（予約タブ）

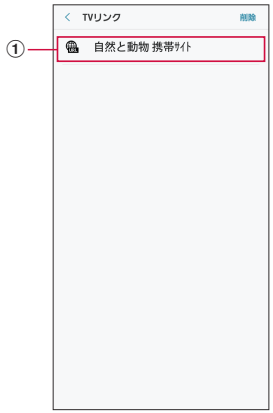
① **予約一覧**
：録画予約
：視聴予約

② **メニュー**

③ **「予約」／「成功」／「失敗」タブ**
- 成功した予約は「成功」タブに、失敗した予約は「失敗」タブに表示されます。
- 未実行の予約をタップすると、予約内容を変更できます。
- 実行済みの予約をタップすると、結果の確認と一覧からの削除ができます。

TVリンク

1 視聴画面で ⋮ →「設定」→「TVリンク」



TVリンク画面

① **TVリンク**
- 登録したサイトに接続します（P.88）。

TVリンクを登録する

1 データ放送を操作して、TVリンク登録可能な項目を選択
- TVリンクの登録方法は、番組によって異なります。

お知らせ
- リンク先によっては、TVリンクを登録できないことがあります。

TVリンクを表示する

1 TVリンク画面でTVリンクを選択 →「OK」
- 登録したサイトに接続します。

TVリンクを削除する

1 TV リンク画面で「削除」
2 削除するTVリンクを選択
3 「削除」→「OK」

テレビ（フルセグ／ワンセグ）を録画する

1 視聴画面で ⏺
- 録画中は ● REC が表示されます。
- 録画を停止するには、⏺ をタップします。

お知らせ
- 電波状態によっては、映像や音声が途切れたり、止まったりすることがあります。
- 録画中はチャンネル切替はできません。
- 録画中に他のアプリを起動すると、正常に録画できない場合があります。

録画した番組を再生する

1 視聴画面で「TVファイル」タブ
2 再生する番組をタップ

テレビ（フルセグ／ワンセグ）の録画や視聴を予約する

1 視聴画面で ⋮ →「予約リスト」
2 ⋮ →「マニュアル予約」
3 新規番組予約画面で各項目を入力
4 「完了」

お知らせ
- 視聴画面で「番組表」を選択しても予約できます。

予約を削除する

1 視聴画面で ⋮ →「予約リスト」
2 削除する予約をロングタッチ
3 「削除」→「OK」

チャンネルを設定する

1 視聴画面で ⋮ →「設定」→「エリア切替」
2 使用していない地域をタップ →「OK」
3 地域を選択 → 都道府県を選択 → ローカルエリアを選択
・ チャンネルが検索され、選択した地域にチャンネルリストが登録されます。

エリア情報を切り替える

1 視聴画面で ⋮ →「設定」→「エリア切替」
2 設定したい地域を選択

エリア情報を削除する

1 視聴画面で ⋮ →「設定」→「エリア切替」
2 削除する地域をロングタッチ
3 「OK」

テレビ（フルセグ／ワンセグ）を設定する

1 視聴画面で ⋮ →「設定」
2 項目を設定

項目	説明
字幕	字幕を設定します。
文字スーパー	文字スーパーを設定します。
音声	音声を設定します。
音声多重	主音声と副音声について設定します。
保存先設定	保存先を設定します。
空き容量	本体と外部SDカードの空き容量や録画可能時間を表示します。
TVオフタイマー	自動的にテレビ（フルセグ／ワンセグ）を終了するまでの時間を設定します。
エリア切替	→ P.89
TVリンク※1	→ P.87
データ放送	データ放送に関する設定をしたり、情報の確認をしたりします。
オリジナルRMPメーカID※2	RMP 方式における受信機のメーカーを識別するIDを表示します。
TS 名※2	TS 名を選択します。
局管理RMP メーカID※2	RMP 方式における受信機のメーカーを識別するIDを表示します。
CAS情報を初期化※2	CAS情報を再受信します。
テレビについて	テレビアプリのバージョンを表示します。
初期設定にリセット	初期設定にリセットします。

※1 ワンセグの場合のみ表示されます。
※2 フルセグの場合のみ表示されます。

カメラ

著作権・肖像権について
本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

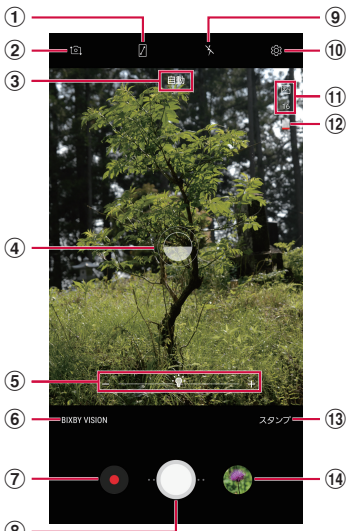
カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に本端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- 撮影した直後などは、microSDカードを強制的に取り外さないでください。正常に保存されなかったり、撮影したデータが破損する可能性があります。microSDカードを取り外す場合はあらかじめ外部SDカードの「マウント解除」（P.117）を行ってください。
- マナーモード（バイブ、サイレント）設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。

撮影画面の見かた

1 ホーム画面で「カメラ」

- 初めて起動したときは、microSDカードが取り付けられていると保存場所の確認画面が表示されます。内容を確認し、「キャンセル」／「OK」をタップしてください。
- 位置情報タグに関する画面が表示された場合は、内容を確認して画面に従って操作してください。
- 設定の状況によって、表示されるアイコンが異なります。



静止画／動画撮影画面

① **全画面表示ON ／ OFF**

② **リアカメラとフロントカメラの切替**
- 撮影画面で上下にフリックしても切り替えられます。

③ **現在の撮影モード**
- 設定中の撮影モードが表示されます。→ P.93

④ **フォーカス**
- 撮影画面をタップすると表示されます。

⑤ **明るさ調整**
- 撮影画面をタップするとバーが表示され、明るさの調整ができます。

⑥ **BIXBY VISION**
- Bixby Vision が利用できます。→ P.93

⑦ **シャッター（動画撮影）ボタン**

⑧ **シャッター（静止画撮影）ボタン**
- 撮影画面で左右にドラッグするとズーム調節できます。
- シャッター（静止画撮影）ボタンを上にドラッグすると、フローティングカメラボタンを追加できます。

⑨ **フラッシュ設定**
- フラッシュをオート／ ON ／ OFFに切り替えます。

⑩ **設定**
- タップすると、設定メニューが表示されます。→ P.92

⑪ **保存先（microSD カード）、撮影可能枚数**
- 保存先をmicroSD カードに設定して、撮影可能枚数が300 枚以下の場合に表示されます。
- 撮影可能枚数は目安です。撮影をしても表示が変わらない場合があります。

⑫ **バッテリー残量**
- バッテリー残量が15%以下のときに が表示されます。

⑬ **ライブスタンプ**

⑭ **サムネイル**
- タップすると、ギャラリーが起動します。

お知らせ
- 撮影画面で左にフリックするとエフェクトが表示されます。
- カメラを起動した状態で約2分間何も操作をしないと、カメラは終了します。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で「カメラ」
- 静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける
- ディスプレイ上でピンチアウト／ピンチインするとズーム調節できます。

3
- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- 撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 撮影時に をロングタッチすると、最大で100枚の写真を連続撮影することができます。

お知らせ
- 設定メニューの「音量キー機能」で「写真を撮影」を選択した場合、音量UPキー／音量DOWNキーを押しても静止画を撮影できます（P.92）。

動画を撮影する

1 ホーム画面で「カメラ」
- 静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 被写体にカメラを向ける →
- 開始音が鳴り、動画撮影が始まります。
- ディスプレイ上でピンチアウト／ピンチインするとズーム調節できます。
- をタップすると、動画撮影中に静止画も撮影できます。
- 撮影を一時停止するには をタップします。一時停止中に をタップすると、撮影を再開できます

3 撮影を停止するときは、
- 終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

お知らせ
- 動画を撮影する前に、メモリに十分な空きがあることを確認してください。
- 設定メニューの「音量キー機能」で「動画を撮影」を選択した場合、音量UPキー／音量DOWNキーを押しても動画を撮影／停止できます（P.92）。

カメラの設定をする

1 **ホーム画面で「カメラ」**
- 静止画／動画撮影画面が表示されます。

2 ⚙
- 撮影モードにより設定できない項目があります。
- 使用するカメラ（リアカメラ／フロントカメラ）によって、表示される項目が異なります。

項目		説明
リアカメラ	画像サイズ	リアカメラで撮影する静止画の画像サイズを設定します。 ・「RAWおよびJPEGファイルを保存」をONにすると、RAWファイルで保存できます。
	動画サイズ	リアカメラで撮影する動画の画像サイズを設定します。
	トラッキングAF	プレビュー画面で選択した被写体にフォーカスを合わせて追跡します。 ・「トラッキングAF」機能をONにする場合、「動画手振れ補正」機能を使用できません。
	輪郭補正	写真撮影時、画面のゆがみを補正するかどうかを設定します。
	タイマー	セルフタイマーを設定します。
	HDR（リッチトーン）	リアカメラのHDR（リッチトーン）の自動／ON／OFFを設定します。
フロントカメラ	画像サイズ	フロントカメラで撮影する静止画の画像サイズを設定します。
	動画サイズ	フロントカメラで撮影する動画の画像サイズを設定します。
	プレビュー通りに写真を保存	撮影したすべての写真を、左右反転せずプレビューに表示されたとおりに保存します。
	撮影方法	画面をタップ、手のひらを向ける、心拍数センサーをタップの機能のON／OFFを設定します。
	タイマー	セルフタイマーを設定します。
	HDR（リッチトーン）	フロントカメラのHDR（リッチトーン）の自動／ON／OFFを設定します。
共通	モーションフォト	写真を撮影する前の短いシーンのビデオクリップを撮影します。
	動画手振れ補正	動画撮影時の手振れ補正機能のON／OFFを設定します。
	グリッドライン	撮影位置を決めるためのグリッドを表示します。
	位置情報タグ	位置情報を付加するかどうかを設定します。 ・GPSの電波を正しく受信するため、受信しにくい場所での使用は避けてください。→ P.96 ・撮影した静止画をインターネットにアップロードすると、意図しない第三者からも付加された位置情報を確認される場合があります。位置情報が漏れるのを防ぐには、OFFに設定してください。
	写真を確認	写真を撮影した後、すぐに撮影結果を表示します。
	クイック起動	▯（電源／画面ロックキー）をすばやく2回押してカメラを起動します。
	保存場所	撮影した静止画／動画の保存先を選択します。
	音声コントロール	音声コントロール機能のON／OFFを設定します。
	フローティングカメラボタン	シャッター（静止画撮影）ボタンを画面上で移動できるようにするかどうかを設定します。
	音量キー機能	音量UPキー／音量DOWNキーを押したときの操作を設定します。
	設定をリセット	カメラの設定をリセットします。
	お問い合わせ	Galaxy Membersが利用できます。

3 **設定が終了したら、**〈

撮影モードを切り替える

1 ホーム画面で「カメラ」

2 撮影画面で右にフリック → 撮影モードを選択
- 使用するカメラ（リアカメラ／フロントカメラ）によって、表示される項目が異なります。

項目	説明
自動	色合いや明るさを最適化するように露光を自動調整します。
プロ	ISO感度、露出値、およびホワイトバランスを手動で調整します。
自分撮り	簡単に自分撮りができます。
ワイド自分撮り	自分撮りをするときに、左右に本端末を動かすことで大人数での撮影を行います。
パノラマ	水平または垂直の方向に本端末を動かしてパノラマ写真を撮影します。撮影結果を動画で見ることもできます。 • カメラを一方向にゆっくりと動かし、ガイドから白枠がずれないように、本端末を一方向にゆっくりと動かしてください。 • 被写体の背景が無地の壁や虚空などの場合は、正しく撮影できないことがあります。 • パノラマ撮影時、音は録音されません。 • 再生するパノラマは、静止画より上下左右が狭くなることがあります。
選択フォーカス	人物などの被写体をタップすると、被写体の周囲（背景）をぼかしてくっきりと撮影できます。
スローモーション	動画をスローモーション再生用として録画します。
ハイパーラプス	さまざまな速度で録画して、オリジナルのタイムラプス動画を作成します。録画するシーンや端末の動きに応じて、速度を自動的に調整することもできます。
食事	強調する領域を指定したり色調を変更して写真を撮影します。
バーチャルショット	多方向から被写体を撮影した画像を作成します。 • 撮影画面の中央に被写体を収めて をタップしたあと、画面の指示に従って本端末を動かしてください。 • 撮影したデータをギャラリーで開くと、自動的に回転して表示されます。その後は本端末を傾けることで画面が回転します。

Bixby Visionを利用する

Bixby Visionでは認識した画像を元に以下の機能などを利用できます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「BIXBY VISION」
- Bixby Visionのチュートリアルが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- Bixby Visionの全ての機能を利用するには、Galaxyアカウントにサインインする必要があります。

3 対象にカメラを向ける

4 認識した画像の下のアイコンをタップ
- 関連情報が表示されます。

項目	説明
	商品をカメラにおさめたり、バーコードをスキャンしたりすることで、オンラインショッピングができます。
	文字を認識し、翻訳できます。
	表示している画像と類似の画像を検索します。
	ランドマークや特定の場所をカメラにおさめると、関連情報を確認できます。
	QRコードを読み取ります。
	ラベルをカメラにおさめると、ワインの年代、それに合う料理、ランキングなどの情報を検索できます。

お知らせ
- Bixby Visionは「ギャラリー」からも利用できます（P.94）。
- Bixby Vision画面で ⋮ →「設定」をタップするとBixby Visionについて設定できます。Bixby Visionで認識させるには、「設定」で認識させる対象をONにする必要があります。
- ワインのラベルがうまく認識されない場合は、角度を変えて数回撮影してください。

ギャラリー

本端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。
対応しているファイル形式は以下のとおりです。ただし、静止画や動画によっては以下のファイル形式であっても表示／再生できない場合があります。

種類	ファイル形式
静止画	JPEG、PNG、GIF、BMP、WBMP、WEBP、AGIF、RAW
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM

1 ホーム画面で「ギャラリー」

- 撮影日別に並んだデーター覧画面が表示されます。
- 「画像」／「アルバム」／「ストーリー」をタップすると、表示を変更することができます。
- ⋮をタップすると、カメラを起動したり、各データー覧画面の機能メニューを表示したりすることができます。

2 データをタップ

- アイコンが表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。表示されるアイコンは、表示中のデータによって異なります。

項目	説明
＜	データー覧画面に戻ります。
Bixby Vision	Bixby Vision が利用できます。
♡	「お気に入り」にデータを追加します。
⋮	選択したデータ種別ごとの機能メニューを表示します。
回転	画像を回転、トリミングできます。
エフェクト	画像にエフェクト効果をつけます。
スタンプ	画像にスタンプをつけます。
ペン	ペンで描画します。
共有	データをオンラインサービスで共有、Bluetooth機能やメールなどで送信、他のアプリで使用します。
削除	データを削除します。

静止画を表示する

1 データの一覧画面で表示する静止画をタップ

- 静止画が表示されます。
- データを切り替えるには画面を左右にスクロールします。

動画を再生する

1 データの一覧画面で再生する動画をタップ

- データを切り替えるには画面を左右にスクロールします。

2 ▶

- 再生が開始されます。

プレイヤー

メディアプレイヤーを利用する

本端末やmicroSDカードに保存してある音楽や動画を再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、音楽や動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

種類	ファイル形式
音楽	MP3、M4A、3GA、AAC、OGG、OGA、WAV、WMA、AMR、AWB、FLAC、MID、MIDI、XMF、MXMF、IMY、RTTTL、RTX、OTA、DFF、DSF
動画	MP4、M4V、3GP、3G2、WMV、ASF、AVI、FLV、MKV、WEBM

1 ホーム画面で → 「メディアプレイヤー」

2 画面上部のタブを選択
- タップしたタブに応じた結果が表示されます。
- → 「TOP」／「新着」／「ランキング」をタップすると、音楽や動画などのコンテンツを購入することができます。

3 再生したい音楽または動画をタップ
- 音楽や動画の再生が開始されます。
- 画面（音楽再生画面／動画再生画面）や画面の方向によって、表示される項目が異なります。

項目	説明
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
	データの一覧画面を表示します。
／	本端末の向きに合わせて縦横表示を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
／	再生／一時停止します。
／	タップすると早戻し／早送りします。
／	タップするとデータの先頭または前のデータ／次のデータにスキップします。
／／	リピートモードを設定します（リピートなし／全曲リピート／１曲リピート）。
／	シャッフル機能を設定します（シャッフルしない／シャッフルする）。
	音量の大きさを表示します。左右にドラッグすると音量を調節できます。 • 再生画面をタップすると表示されます。
	ワイヤレス機器に接続して動画を再生します。
／	メニューを表示します。

GPS ／ナビ

位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリを使用するには、あらかじめGPS機能をONにしておく必要があります。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「位置情報」

2 ○ →「同意する」

3「位置情報の検出方法」→ 検出する方法を選択

項目	説明
高精度	GPS、Wi-Fi、モバイルネットワークで現在地を特定します。より正確に現在地を検出できますが、本端末の電池消費量が大きくなります。
バッテリーを節約	Wi-Fiとモバイルネットワークで現在地を特定します。
端末のみ	GPSで現在地を特定します。

GPSのご利用にあたって

- システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状態が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地や別の場所を検索したり、目的地への道案内情報を取得したりできます。

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（4G ／ 3G ／ GSM）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

Googleマップを開く

1 ホーム画面で「Google」→「マップ」
- メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 検索ボックスに地名などを入力

Googleマップで経路を検索する

車や電車、徒歩でのルート検索を行う場合は、Googleマップの「経路」機能を利用します。

1 ホーム画面で「Google」→「マップ」

2 → 移動方法（ ／ ／ ）のアイコンをタップ

3 上の検索ボックスに地名などを入力

4 下の検索ボックスに地名などを入力

5 経路をタップ

周辺のスポットを検索する

Googleマップを利用して、現在地周辺のお店や施設などを検索できます。

1 ホーム画面で「Google」→「マップ」

2 検索ボックスをタップ → 以降は画面の指示に従って操作

時計

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

1 ホーム画面で → 「時計」

2 画面上部のタブをタップ
- 各機能の画面に切り替わります。

アラームを利用する

1 「アラーム」画面で → 各項目を設定 →「保存」
- 時／分の数字をタップするとテンキーが表示されます。

2 アラームを止めるには、を表示される円の外側までドラッグ
- 「アラーム」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップしてください。
- スヌーズをONにした場合は、「スヌーズ」をタップすると設定した時間経過後に再度アラームが鳴動します。

お知らせ
- スヌーズとは、いったんアラームを止めてもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。
- 登録したアラームを削除するには、「アラーム」画面で削除するアラームをロングタッチ →「削除」をタップします。
- 登録したアラームをOFFにするには、をタップして にします。

世界時計を利用する

登録した都市の日付と時刻と時差を一覧で確認できます。

1 「世界時計」画面で → 表示される地図上の都市をタップ →「追加」
- 現在地から都市を登録する場合は、 → 都市をタップします。

お知らせ
- 「都市を追加」画面で検索したい都市名または国名を検索ボックスに入力すると、都市名／国名で検索することができます。
- 登録した都市を削除するには、「世界時計」画面で →「編集」→ 都市を選択して「削除」をタップします。

ストップウォッチを利用する

1 「ストップウォッチ」画面で「スタート」
- 測定が開始されます。

2 測定を止めるには「停止」

タイマーを利用する

1 「タイマー」画面で時間、分、秒を設定
- 時間／分／秒の数字をタップするとテンキーが表示されます。

2 「スタート」
- タイマーが開始されます。

3 タイムアップ通知音を止めるには、 を表示される円の外側までドラッグ
- 「タイマー」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップしてください。
- 「タイマー」ウィンドウで「リスタート」をタップすると、同じ設定でタイマーがリスタートします。

カレンダー

カレンダーを表示してイベントやタスクを登録できます。また、Googleアカウントを登録すると、Googleカレンダーと同期することもできます。

1 ホーム画面で → 「カレンダー」

2

イベント登録画面

3 項目を設定 →「保存」

Galaxy Notes

テキストを入力したり、絵を描いたりしてノートを作成できます。撮影した写真または絵をノートに追加したり、録音したデータをノートに保存することもできます。

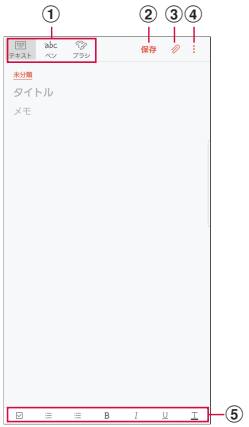
ノートを作成する

1 ホーム画面で → 「Galaxy Notes」

2

3 ノート作成 →「保存」

■ 編集画面



編集画面

① **ツールバー**
- メモの作成方法や、使用するブラシの選択ができます。
- 選択した項目に対応したメニューが画面下に表示されます。

② **保存**
- 現在のノートを保存し、表示画面に戻ります。
- 表示画面で画面をタップすると、再度編集ができます。

③ **ファイル追加**
- 画像、音声を追加します。

④ **メニュー**
- リッチテキストメニューを表示／非表示します。

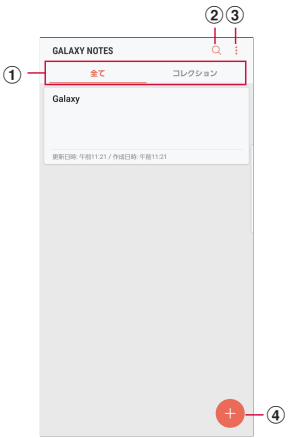
⑤ **リッチテキストメニュー**

■ 表示画面

表示画面

① **一覧画面を表示**
② **ノートを編集**
③ **お気に入りに設定**
④ **表示している画面の共有**
⑤ **メニューを表示**

■一覧画面



一覧画面

① ノートの表示形式を変更
② ノート内を検索
③ ノートのメニューを表示
④ ノートを作成

ボイスレコーダー

音声を録音する

1 ホーム画面で ⊞ →「ボイスレコーダー」

2 ●
- 録音が開始されます。

3 ■
- 録音が停止します。ファイル名を入力し「保存」をタップすると、録音した内容が保存されます。

音声を再生する

1 ホーム画面で ⊞ →「ボイスレコーダー」

2 「リスト」
- 録音したデータの一覧画面が表示されます。

3 再生したいデータをタップ
- 再生が開始されます。

ボイスレコーダーのメニュー

録音画面、録音したデータの一覧画面／再生画面で ⋮ をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

電卓

四則演算（＋、－、×、÷）やパーセント計算、関数計算などができます。

1 ホーム画面で ⊞ →「電卓」

- 画面の自動回転がONの状態で本端末を横向きにすると、関数電卓に切り替わります。また、画面の自動回転がOFFの状態でも、関数 をタップすることで、関数電卓に切り替えることができます。
- ▭ をタップすると、単位コンバーターが使用できます。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ／復元をしたりするためのアプリです。
機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- OSやファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元できない場合があります。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。
コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で ⊞ →「データコピー」→「データ移行」

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- ご利用の機種やOSにより、通信方法は異なります。
- 対応機種や詳しい使い方は、ドコモのホームページをご覧ください。

microSD カードへのバックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoおよび本体のアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

バックアップする

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1 ホーム画面で ⊞ →「データコピー」→「バックアップ&復元」

2 「バックアップ」→ バックアップするデータにチェックを付ける →「バックアップ開始」→「開始する」
- 選択したデータがmicroSD カードに保存されます。

3 「トップに戻る」

復元する

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で ⊞ →「データコピー」→「バックアップ&復元」

2 「復元」→ 復元するデータ種別の「選択」→ 復元するデータにチェックを付ける →「選択」

3 復元方法を選択 →「復元開始」→「開始する」
- データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
- 選択したデータが本端末に復元されます。

4 「トップに戻る」

電話帳をドコモのアカウントにコピーする

Googleアカウントおよび本体に登録された連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で ⊞ →「データコピー」→「バックアップ&復元」

2 「電話帳アカウントコピー」→ コピーする電話帳の「選択」→「上書き」／「追加」
- コピーした連絡先がdocomoのアカウントに保存されます。

3 「OK」

データ保管BOX へのバックアップ・復元

データ保管BOX を利用して、通話履歴・音楽のデータの移行やバックアップ・復元ができます。

1 ホーム画面で ⊞ →「データコピー」→ ⋮ →「データ保管BOXへバックアップ・復元」

2 「バックアップ」または「復元」
- 画面の指示に従って操作してください。
- ドコモクラウドへログインしていない場合、確認画面が表示されます。

お知らせ

- 画面ロック中や省電力設定の作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となった時に実行されます。
- データ保管BOX での定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

YouTube

YouTubeは無料のオンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりすることができます。

動画を再生する

1 ホーム画面で「Google」→「YouTube」

2 再生したい動画をタップ
- 動画が再生されます。

辞書

辞書を利用して語句を検索することができます。
本端末は辞書データをダウンロードして利用できます。

1 ホーム画面で → 「辞書」
- 初めて起動したときは、辞書データのダウンロード／インストール画面が表示されますので、ダウンロードする辞書にチェックを付けて「ダウンロード」をタップしてください。辞書データのダウンロードには、Wi-Fi環境が必要です。

S Health

歩数計や心拍数などの「トラッカー」、「目標」、準備運動やランニングの「プログラム」といったアイテムを使って、消費カロリーや摂取カロリーの記録、運動の記録などを行い、健康管理をサポートします。

- サーバー上にデータをバックアップするには、Galaxyアカウントの設定が必要です。Galaxyアカウントの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。

1 ホーム画面で → 「S Health」

- S HEALTH画面が表示されます。

2 アイテムをタップ

お知らせ

- S Healthの詳細については、S HEALTH画面で → 「お問い合わせ」をタップしてください。

本体設定

設定メニュー

画面の明るさや表示方法、着信音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」

2 メニュー項目を選択して設定を行う

項目	説明
接続	→P.106
サウンドとバイブ	→P.112
通知	→P.114
ディスプレイ	→P.115
壁紙とテーマ	→P.116
高度な機能	→P.30
端末のメンテナンス	→P.116
アプリ	→P.118
ロック画面とセキュリティ	→P.119
クラウドとアカウント	→P.126
ドコモのサービス／クラウド	→P.127
Google	→P.128
ユーザー補助	→P.128
一般管理	→P.130
ソフトウェア更新	→P.131
端末情報	→P.132

お知らせ

- 🔍 をタップして検索したいキーワードを検索ボックスに入力すると、本体設定内を検索し、設定内容を確認できます。
- 本端末の利用状況によっては、「接続」の上におすすめの設定が候補として表示されます。

接続

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
Wi-Fi	→ P.106
Bluetooth	→ P.135
データ使用量	→ P.108
機内モード	→ P.109
NFC ／おサイフケータイ 設定	→ P.109
テザリング	→ P.109
モバイルネットワーク	→ P.111
位置情報	→ P.96
その他の接続設定	→ P.111

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

本端末の無線LANとBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、無線LANとBluetooth機能を近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. 無線LANとBluetoothデバイスは、約20m以上離してください。
2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に4G ／ 3G ／ GSMネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- ユーザー認証が必要なWi-Fiネットワークに接続し、ユーザー認証が未成立の場合 が表示され、Wi-Fiではなく、モバイルネットワークで通信が行われる場合があります。
  このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、アクセスポイントに接続するときに「自動的にWi-FiをON」をOFFにしてください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」→「dアカウント設定」をタップして設定します。

■ Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 ○

- 接続可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークをタップ →「接続」

- セキュリティで保護されているWi-Fiネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」をタップします。
- WPSが利用可能なWi-Fiネットワークは、WPS（Wi-Fi Protected Setup）を利用して接続できます。Wi-Fiネットワークの一覧画面で ⋮ →「詳細設定」→「さらに表示」→「WPSプッシュボタン」／「WPS PINエントリ」→ アクセスポイント側で操作を行います。
- 「自動再接続」にチェックを付けると、Wi-Fiを有効にしたときに自動的にそのネットワークに接続されます。

お知らせ

- 一度接続したWi-Fiネットワークのパスワード（セキュリティキー）は自動的に保存され、次回の接続時の入力は不要になります。

■ Wi-Fiネットワークの設定を削除する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 接続中のWi-Fiネットワークをタップ →「削除」

■ Wi-Fiアクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、本端末のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」→ ⋮ →「詳細設定」→「さらに表示」のMACアドレスで確認できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 「ネットワークを追加」

3 ネットワーク名を入力 → セキュリティを設定
- 利用可能な認証方法は「WEP」「WPA/WPA2/FT PSK」「802.1x EAP」です。

4 パスワードを入力 →「接続」
- セキュリティを「なし」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

■ 自動的にWi-Fiが ON になるように設定する

Wi-Fiを頻繁に使用する場所でWi-Fiが自動的にONになるようにします。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 ⋮ →「詳細設定」

3 「自動的にWi-Fiを ON」→ ○

お知らせ

- 「自動的にWi-Fiを ON」を有効にした状態で、無線LAN内蔵メモリカードなどのインターネットに接続しないアクセスポイントとのWi-Fi接続が切断される場合は、「自動的にWi-Fiを ON」をOFFにしてください。

■ Wi-Fiの省電力設定をする

Wi-Fi使用時に、Wi-Fiのトラフィックパターンを分析して、バッテリー使用量を削減するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 ⋮ →「詳細設定」

3 「Wi-Fi省電力モード」→ ○

■ ネットワークを管理する

保存されたWi-Fiネットワークを表示します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 ⋮ →「詳細設定」

3 「ネットワークを管理」

■ Hotspot 2.0対応のWi-Fiアクセスポイントに自動接続する

Wi-Fiアクセスポイントを設定することなく、Hotspot 2.0対応のWi-Fiアクセスポイントのエリアになったときに、Hotspot 2.0対応のWi-Fiアクセスポイントへ自動的に接続させるかどうかを設定します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 ⋮ →「詳細設定」

3 「さらに表示」→「Hotspot 2.0」→ ○

■ Wi-Fiのスリープ設定をする

本端末の画面の表示が消えたときにWi-Fi接続を切断したり、充電時は常にWi-Fi接続を維持するように設定したりできます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 ⋮ →「詳細設定」

3 「さらに表示」→「スリープ中にWi-Fi接続を維持」→ スリープ設定を選択

■ ネットワーク証明書をインストールする

ネットワーク証明書のインストールを行います。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 ⋮ →「詳細設定」

3 「さらに表示」→「ネットワーク証明書をインストール」

■ 静的IPアドレスを使用する
静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本端末を設定できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 接続するWi-Fiネットワークをタップ →「拡張オプションを表示」にチェックを付ける

3 「IP設定」欄をタップ →「静的」

4 必要な項目を設定
- 静的IPアドレスを使用するには、以下の項目を入力する必要があります。
  - IPアドレス
  - ゲートウェイ
  - ネットワークプレフィックス長
  - DNS 1 ／ DNS 2
- プロキシの設定が必要な場合はプロキシから「手動」または「プロキシの自動設定」を選択し、画面の指示に従って設定してください。

5 「接続」

■ Wi-Fi Directを利用する
Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続し、データのやりとりができます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi Direct」

3 検索されたデバイス名をタップ
- 検索されたデバイス側で接続を承認すると、Wi-Fi Directで接続し、ステータスバーに が表示されます。

■ Wi-Fi Directの接続を解除する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 「Wi-Fi Direct」

3 接続を解除するデバイス名をタップ

データ使用量

モバイルデータ通信の有効／無効の設定や、データ使用量の上限を設定します。データ使用量を測定する期間の設定もできます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「データ使用量」
- データ使用量画面が表示されます。
- 「モバイルデータ」をONにすると、モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- 「モバイルデータ使用量」をタップすると期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。 ⚙ をタップするとモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は、「データ制限を設定」をONにしているときのみ設定できます。

バックグラウンドデータを制限する場合

データ使用量画面で「データセーバー」→ をタップすると、アプリが自動的に行うモバイルデータ通信を制限できます。
「データセーバーON時にデータ使用を許可」をタップすると個々のアプリのモバイルデータの使用も制限できます。

Wi-Fiの使用状況を表示する

期間ごとやアプリごとのWi-Fi使用量（目安）が表示されます。
データ使用量画面で「Wi-Fiデータ使用量」をタップします。

Wi-Fiテザリングとして利用するWi-Fiネットワークの利用を制限する場合

「ネットワークを制限」をタップするとバックグラウンドアプリが、特定のWi-Fiネットワークを利用できないように設定できます。

お知らせ
- 表示されるデータ通信量は目安であり、実際の通信量とは異なる場合があります。ご利用のデータ通信量はMy docomoからご確認いただけます。
- データ使用量が指定の上限に達した場合は、モバイルデータ通信が一時停止されます。ご注意ください。モバイルデータ通信を再開するには、「モバイルデータがOFF」のポップアップ画面で、「モバイルデータをON」をタップするか、データ使用量の上限の設定値を変更してください。

機内モード

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「機内モード」

2 ○

お知らせ

- 通知パネルで「機内モード」をタップしても設定を切り替えることができます。
- 「機内モード」を有効にするとWi-FiやBluetooth、NFCのReader/Writer, P2Pなどの機能がOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。

NFC ／おサイフケータイ 設定

おサイフケータイの機能をロックしたり、Reader/Writer, P2P機能を利用してコンテンツやファイルなどの送受信の許可／拒否を設定できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「NFC ／おサイフケータイ 設定」

2 項目を設定

項目	説明
NFC ／おサイフケータイ ロック	NFC ／おサイフケータイの機能をロックします。
Reader/Writer, P2P	本端末をNFCモジュールが内蔵された機器またはReader/Writer, P2P機能を搭載した端末に近づけたとき、データ交換を許可するかどうかを設定します。→ P.136
Android Beam	P2P機能を搭載した他の対応端末との間で、ウェブページのリンクや連絡先などのコンテンツの送受信を許可するかどうかを設定します。 ・「Reader/Writer, P2P」をONにすると設定できます。
NFC Type設定	「FeliCa ／ Type A ／ Type B（標準）」／「FeliCa ／ Type A」／「FeliCa ／ Type B」から通信モードを設定します。
タップ&ペイ	おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効の設定ができます。→ P.82

テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器、Bluetooth対応機器をインターネットに接続させる機能です。

- Wi-Fiテザリングをご利用の場合は最大10台、USBテザリングをご利用の場合は1台、Bluetoothテザリングをご利用の場合は最大3台の機器を同時接続できます。また、Wi-Fiテザリング、USBテザリング、Bluetoothテザリングを同時にご利用の場合は、合計14台を同時接続できます。

■ Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をインターネットアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

2 ○

- Wi-Fi共有に関する説明が表示された場合は、内容を確認し画面の指示に従って操作してください。

■ Wi-Fiテザリングのアクセスポイントを設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

2 ○

- Wi-Fi共有に関する説明が表示された場合は、内容を確認し画面の指示に従って操作してください。

3 ⋮ →「Wi-Fiテザリングを設定」

4 「ネットワーク名」欄をタップ → ネットワーク名を入力

- あらかじめ「AndroidAP」が設定されています。

5 「セキュリティ」欄をタップ

- 「オープン」「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。

6 「パスワード」欄をタップ → パスワードを入力

- 「セキュリティ」を「オープン」に設定した場合は、パスワードの入力は不要です。

7 「保存」

お知らせ

- 初期状態では、セキュリティは「WPA2 PSK」に設定されています。
- Wi-Fiテザリングが接続されている状態で、Wi-Fiテザリング画面で ⋮ →「Wi-Fiテザリングを設定」→「マイデバイスを非表示」にチェックを付ける →「保存」をタップすると、接続されている無線LAN対応機器の接続が解除されます。
- 「マイデバイスを非表示」にチェックを付けると、本端末はスキャンできなくなります。他の機器から接続する場合は、Wi-Fiテザリング画面の「他のデバイスからの接続」に表示される情報を確認して、手動でWi-Fiアクセスポイントの設定を行ってください。
- Wi-Fiテザリングが接続されている状態で、Wi-Fiテザリング画面で ⋮ →「WPSプッシュボタン」をタップすると、接続している機種側でWPSボタンを押して接続できます。また、Wi-Fiテザリング画面で ⋮ →「タイムアウト設定」をタップすると、接続しているデバイスがない場合に、時間を決めて自動的にWi-Fiテザリングを無効にできます。

■ Bluetoothテザリングを設定する

本端末をインターネットアクセスポイントとして利用し、Bluetooth対応機器をインターネットに3台まで同時接続させることができます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「テザリング」→「Bluetoothテザリング」

2 ○

お知らせ

- Bluetoothテザリング機能を利用するには本端末を検出可能にする必要があります。詳細については、「Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする」(P.135)をご参照ください。

■ USBテザリングを設定する

本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 01（別売）で接続し、インターネットに接続することができます。

1 本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブル A to CのType-Cプラグを差し込む

- 接続方法については、「USBケーブル A to Cで接続する」(P.137)をご参照ください。

2 パソコンのUSBコネクタに、USBケーブル A to CのUSBプラグを差し込む

3 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「テザリング」

4 「USBテザリング」

お知らせ

- USBテザリング中は本端末とmicroSDカード内をパソコンから参照できません。
- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  - Windows 7
  - Windows 8.1
  - Windows 10

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/
mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
https://www.mopera.net/

■利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「APN」

■アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「APN」→「追加」
2 「名前」→ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 →「OK」
3 「APN」→ アクセスポイント名を入力 →「OK」
4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力
- 「携帯国番号」を440、「通信事業者コード」を10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

5 ⋮ →「保存」

お知らせ

- 携帯国番号、通信事業者コードの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、初期状態に戻ります。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「APN」
2 ⋮ →「初期値にリセット」→「リセット」

ハイブリッドダウンロード

Wi-FiとLTEネットワークを同時に使用することで、容量が大きいファイル（30MB超）をより速くダウンロードできるように設定します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「その他の接続設定」→「ハイブリッドダウンロード」
2 ○

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

- 本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

■VPNを追加する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「その他の接続設定」→「VPN」
2 ＋
- 注意画面が表示された場合は、「OK」をタップし、画面の指示に従って画面ロック解除方法を設定します。

VPNを編集する場合

編集するVPNの ⚙ をタップ → 各項目を編集 →「保存」をタップします。

VPNを削除する場合

削除するVPNの ⚙ をタップ →「削除」をタップします。

3 ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定
4 「保存」

■ VPNに接続する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「その他の接続設定」→「VPN」

2 接続したいVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力 →「接続」
- ステータスバーに 🔑 が表示されます。

■ VPNを切断する

1 通知パネルを開く → VPN接続中を示す通知をタップ

2「切断」

サウンドとバイブ

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「サウンドとバイブ」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
サウンドモード	サウンド、バイブ、サイレントから選択します。
着信時にバイブ	→ P.113
音量キーでメディアを調整	音量キーでメディアの音量を調整するかどうかを設定します。
音量	→ P.113
バイブの強度設定	音声着信や通知などのバイブレーションの強弱を調節します。
着信音	→ P.113
バイブパターン	→ P.113
通知音	→ P.113
通知をミュート	→ P.114
タッチ操作音	→ P.114
画面ロック音	→ P.114
GPS通知	→ P.114
充電時の音	→ P.114
タッチ操作バイブ	←（戻るボタン）または ⇄（履歴ボタン）をタップするなど特定の操作をしたときに振動させるかどうかを設定します。
ダイヤルキーパッド音	→ P.114
キーボード音	→ P.114
キーボードバイブ	→ P.114
音質とエフェクト	お好みの音質にカスタマイズしたり、サウンドエフェクトを設定したりします。

マナーモードを設定する

マナーモード（バイブ、サイレント）に設定すると、着信音や通知音などが鳴らなくなります。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「サウンドとバイブ」→「サウンドモード」

2「バイブ」／「サイレント」

お知らせ

- マナーモード（バイブ、サイレント）設定中に「音量」の「着信音」（P.113）を変更すると、マナーモード（バイブ、サイレント）が解除されます。
- サイレント設定中は「一時的に消音」をタップすると「サウンド」／「バイブ」に戻すまでの消音時間を設定できます。
- マナーモード中（バイブ、サイレント）でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。

各種音量を調節する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「サウンドとバイブ」→「音量」
- 音量バーが表示されます。

項目	説明
着信音	電話着信時の着信音量を調節します。
メディア	音楽などの再生音量を調節します。
通知	通知（P.39）があったときの通知音量を調節します。
システム	タッチ操作音や画面ロック／ロック解除時、GPS起動時の音などの音量を調節します。

2 各音量の ● を左右にドラッグ

■ 音量UPキー／音量DOWNキーで音量を調節する

1 音量UPキー／音量DOWNキーを押す

着信／通知を音や振動で知らせる

電話着信時や通知時に鳴らす着信音／通知音のメロディなどを設定したり、本端末を振動させるかどうかを設定します。

■ 着信音を設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「サウンドとバイブ」→「着信音」

2 設定したい電話着信音をタップ
- 「サイレント」を選択すると、電話着信音は鳴りません。
- 「追加」をタップすると、着信音を検索して追加できます。

■ バイブレーションのパターンを設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「サウンドとバイブ」→「バイブパターン」

2 設定したいバイブパターンをタップ

お知らせ

- マナーモード（バイブ、サイレント）が設定されていないときに「着信時にバイブ」をONにすると、着信時に着信音とバイブレーションが鳴動します。「着信時にバイブ」をOFFにすると、着信音のみ鳴ります。
- SMS、カレンダー、Eメールの通知音とバイブは個別に設定できます。

■ 通知音を設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「サウンドとバイブ」→「通知音」

2 設定したい通知音をタップ
- 「サイレント」を選択すると、通知音は鳴りません。

通知を消音する

選択した例外を除いて、着信音や通知音、アラーム音を鳴らさないようにしたり、通知を表示しないようにしたりします。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「サウンドとバイブ」→「通知をミュート」

2「今すぐON」

お知らせ

- 「今すぐON」をONにすると、SMSのポップアップ通知もOFFになります。
- 通知を消音する時間帯を設定するには、「予定時刻にON」をONにして、「曜日」、「開始時刻」、「終了時刻」を設定します。
- 例外を許可するには、「例外を許可」→ 例外にする項目をタップして設定します。
- 「通知を非表示」をタップすると、非表示の設定ができます。

システムの音や振動を設定する

操作時に音を鳴らすかどうかを設定したり、本端末を振動させるかどうかを設定したりします。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「サウンドとバイブ」→「タッチ操作音」／「画面ロック音」／「GPS通知」／「充電時の音」／「タッチ操作バイブ」

キータップ時の音や振動を設定する

キータップ時に音を鳴らすかどうかを設定したり、本端末を振動させるかどうかを設定したりします。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「サウンドとバイブ」→「ダイヤルキーパッド音」／「キーボード音」／「キーボードバイブ」

通知

通知を受信するアプリを設定します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「通知」

2 通知を受信したいアプリの ○

- 「詳細設定」をタップするとアプリの通知についての詳細設定ができます。

ディスプレイ

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ディスプレイ」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
明るさ	→ P.115
明るさ自動調整	ディスプレイの明るさ調整を記録し、周囲の明るさが記録時と同様の場合に自動的に調整します。 ・「使用パターンをリセット」→「リセット」をタップすると、明るさ調整の履歴が削除されます。
ブルーライトフィルター	画面から発するブルーライトの量を制限します。
フォントと画面のズーム	画面のズームや文字のサイズ、フォントのスタイルを設定します。
画面モード	画面のコントラストやカラーバランスを設定します。→ P.115
画面の解像度	画面の解像度を設定します。
ホーム画面	ホーム画面のカスタマイズができます。 ・ ホーム画面がdocomo LIVE UX以外の場合に設定できます。
全画面アプリ	全画面の縦横比で使用するアプリを選択します。
かんたんモード	シンプルなホーム画面レイアウトと大きなアイコンを使用するかんたんモードにします。
アイコンのフレーム	ホーム画面やアプリ画面でアイコンにフレームをつけて表示します。 ・ ホーム画面がdocomo LIVE UX以外の場合に設定できます。
エッジスクリーン	エッジスクリーンの設定をします。→P.40
LEDインジケーター	充電時や録音時、通知を受信したときなどに通知LEDが点灯するように設定できます。
ステータスバー	バッテリー残量のパーセンテージをステータスバーに表示するかどうかを設定します。 ・「最新通知のみ表示」をONにすると、3件の最新通知アイコンのみを表示します。
ナビゲーションバー	→P.30
画面のタイムアウト	画面の表示が消えるまでの時間を設定します。 ・ 設定時間が近づくと画面が少し暗くなります。
誤操作を防止	端末がポケットやバックの中などの暗い場所にあるときに、画面を誤ってONにしないようにします。
スクリーンセーバー	→ P.115

ディスプレイの明るさを調整する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ディスプレイ」

2「明るさ」の ● を左右にドラッグ

画面のカラーバランスを調整する

画面の色を詳細に調整できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ディスプレイ」→「画面モード」

2「全画面のカラーバランス」の ● を左右にドラッグ
- 「画面モード」が「表示を最適化」のときにのみ調整できます。
- 「ブルーライトフィルター」がONの間は調整は適用されません。
- 「暖色」側に調整すると赤のトーンが増加し、「寒色」側に調整すると青のトーンが増加します。
- 「拡張オプション」にチェックを付けると、赤、緑、青の色ごとに、より詳細にカラーバランスを調整できます。

スクリーンセーバー

充電中に表示するスクリーンセーバーのON／OFF、種類を設定します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ディスプレイ」→「スクリーンセーバー」

2 ○

3「カラー」／「フォト」／「フォトテーブル」／「フォトフレーム」
- 「フォト」／「フォトテーブル」／「フォトフレーム」を選択した場合は、⚙ をタップし、表示する画像が保存されているフォルダにチェックを付けてください。

壁紙とテーマ

壁紙やテーマなどを設定します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「壁紙とテーマ」
2 「壁紙」／「テーマ」／「アイコン」／「AOD」
3 設定したい壁紙やテーマなどを選択
4 画面の指示に従って設定

端末のメンテナンス

端末のパフォーマンス評価やバッテリー、パフォーマンス、ストレージ、メモリ、端末の保護の設定を行います。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末のメンテナンス」
- 端末のパフォーマンス評価が表示されます。さらに最適化を行うには「今すぐ最適化」などをタップしてください。

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
バッテリー	→ P.116
パフォーマンスモード	→ P.117
ストレージ	→ P.117
メモリ	→ P.117
端末の保護	→ P.118

バッテリー

電池使用量データや電池残量、省電力モードに関する設定、省電力化がされているアプリの情報などを表示します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末のメンテナンス」→「バッテリー」

項目	説明
バッテリー残量	電池残量がパーセントで表示されます。
推定残り充電時間	充電しているときに、充電完了までの推定時間が表示されます。ただし、低温または高温の環境で充電した場合、充電完了までの推定時間が表示されない場合があります。
バッテリーの推定残り使用時間	充電していないときに、バッテリーが使用できる推定時間が表示されます。
バッテリーの使用量	バッテリーの使用量を表示したり、バッテリーをどのアプリが消費しているか確認したりできます。また、アプリごとにバッテリー使用量を最適化できます。 • バッテリー使用量の最適化の設定を変更するには、⋮ →「バッテリー使用量を最適化」→「非最適化アプリ」→「全てのアプリ」で設定を変更するアプリを選択します。
省電力モード	省電力モードを設定します。

項目	説明
アプリのバッテリーモニター	バックグラウンドでバッテリーを使用しているアプリが表示されます。アプリをスリープ状態にすることでバッテリーを長持ちできます。 ・アプリをスリープ状態にするには、スリープ状態にするアプリにチェックを付ける →「省電力化」をタップします。
監視対象外のアプリ	バッテリー長持ちのためにスリープ状態に設定しないアプリを選択します。
常にスリープにするアプリ	使用していない場合は直ちにスリープ状態に設定するアプリを選択します。

パフォーマンスモード

日常の使用に適したバッテリーの消費量と画面の解像度を調整します。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末のメンテナンス」→「パフォーマンスモード」

・各項目内の「設定」や「詳細」をタップすると、手動でパフォーマンス設定ができます。

項目	説明
最適化（推奨）	デフォルトの設定です。
ゲーム	ゲームをよりスムーズに実行してゲームの操作性が向上するように設定します。
エンターテイメント	高品質なサウンドや映像で音楽や動画を楽しめるように設定します。
高精細	画面の明るさと解像度を最大にした最高画質に設定します。

ストレージ

本端末やmicroSDカードのメモリ容量の確認や、microSDカードの初期化をします。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末のメンテナンス」→「ストレージ」

・ストレージの空き容量などが表示されます。さらに空き容量を増やすには「今すぐ確保」をタップしてください。
・「外部SDカード」をタップすると外部SDカードの空き容量などを確認できます。

■ストレージの設定を行う

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末のメンテナンス」→「ストレージ」→ ⋮ →「ストレージ設定」

項目	説明
システムメモリ（本体）	本端末のデータ容量を表示します。 アプリや画像、ゲームなど保存されているデータの容量がカテゴリごとに表示されます。項目をタップすると、データを確認できます。
外部SDカード※	microSDカードのデータ容量を表示します。 ・「初期化」をタップすると、microSDカードを初期化します。 ・「マウント解除」をタップすると、microSDカードのマウントが解除されます。マウント解除後に「外部SDカード」→「マウント」をタップすると、マウントできます。

※ microSDカードを取り付けている場合のみ表示されます。

お知らせ

・本端末にUSBストレージを取り付けると、対応する項目が表示されます。

メモリ

メモリの状態の確認をします。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末のメンテナンス」→「メモリ」

・メモリの空き容量などが表示されます。さらに空き容量を増やすには「今すぐ確保」をタップしてください。

お知らせ

・複数のアプリが起動されていると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。このため使用しないアプリを終了することをおすすめします。

端末の保護

端末の保護を行います。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末のメンテナンス」→「端末の保護」→「端末をスキャン」
- 端末の保護の状態が表示されます。

アプリ

アプリの設定をします。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「アプリ」

2 アプリをタップ
- 画面の指示に従って各アプリを設定します。

お知らせ
- アプリ設定画面で ⋮ →「標準アプリ」をタップすると、通常使うホーム画面やブラウザアプリなどを設定できます。
- アプリ設定画面で ⋮ をタップすると、システムアプリを表示したり、アプリの権限の設定などができます。

アプリを無効化する

アプリの無効化を設定したアプリは、動作が停止し、アプリ画面に表示されなくなります。
- アンインストールとは異なります。
- アンインストールできない一部のアプリやサービスについて使用可能です。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「アプリ」

2 無効化するアプリをタップ →「無効」→「無効」

お知らせ
- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。再度有効にするには、ホーム画面で ⊞ →「設定」→「アプリ」→「全てのアプリ」→「無効」→ 有効化するアプリをタップ →「有効」をタップします。

アプリのアクセス権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。
許可してアクセス権限を付与すると、アプリ／機能は該当する機能や情報を利用できるようになります。
（例）テレビを初めて起動した場合

1 ホーム画面で ⊞ →「テレビ」

2「許可しない」／「許可」をタップ

お知らせ

- 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で ⊞ →「設定」→「アプリ」→ 設定を変更するアプリをタップ →「権限」→ 変更する権限の ／ をタップします。

ロック画面とセキュリティ

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
画面ロックの種類	→ P.120
Smart Lock	承認済みの場所やデバイスが検出されると、自動的にモバイル端末のロックが解除されます。 ・ あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。
安全ロック設定※1	自動ロック、電源キーですぐにロックなど安全ロック機能を設定します。
顔認証	→ P.124
虹彩認証	→ P.125
指紋認証	→ P.123
Always On Display	画面がOFFのときに、時計やカレンダー、画像を表示します。→ P.32
時計とFaceWidget	ロック画面およびAlways On Displayに表示する内容を選択します。
通知	ロック画面およびAlways On Displayでの通知について設定します。
アプリのショートカット	ロック画面から起動するアプリを選択します。 ・ ホーム画面がGalaxyホームの場合に設定できます。
Google Playプロテクト	Google Playプロテクトを利用するかどうかを設定します。
端末リモート追跡サービス	端末を紛失した場合やロック解除方法を忘れた場合、端末の位置確認や遠隔操作を行います。
セキュリティ アップデート	セキュリティの更新状態を確認したり、更新があるかをチェックしたりできます。
Galaxy Pass	パスワードの代わりに生体認証を使用してユーザー認証するかどうかを設定します。
セキュリティフォルダ	プライベートなコンテンツなどをロックしてセキュリティを強化します。

項目		説明
アプリの権限モニター		選択した権限がバックグラウンドで実行中のアプリで使用されると、通知を受信するかどうかを設定します。
安全な起動		電源を入れるたびに設定した画面ロックの解除方法の入力を必要とするかどうかを設定します。 ・一定回数入力を誤ると本端末が初期化されます。設定した画面ロックの解除方法をお忘れにならないようお気をつけください。 ・本端末が起動するまで、着信、メッセージなどの通知は受信せず、アラームも鳴動しません。
外部SDカードを暗号化		microSDカードに保存されているデータを暗号化し、他の端末やパソコンで使用できないようにします。暗号化を行うと項目名が「外部SDカードを復号」に変わります。 ・microSDカードを暗号化した状態で「工場出荷状態に初期化」を行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。「工場出荷状態に初期化」を行う前に、暗号化解除を行ってください。暗号化解除を行うには「外部SDカードを復号」をタップしてください。
その他のセキュリティ設定	SIMカードロック設定	→ P.122
	パスワードを表示	パスワードの入力画面で入力した文字を表示するかどうかを設定します。
	セキュリティポリシーを更新	更新して本端末のセキュリティを向上させます。
	セキュリティレポートを送信	セキュリティ脅威を分析するため、Wi-Fi経由でセキュリティレポートを送信します。
	デバイス管理アプリ	デバイス管理アプリを有効にするかどうかを設定します。
	ストレージの種類	認証情報ストレージのバックアップ先を表示します。
	セキュリティ証明書を表示	セキュリティ証明書を表示します。

項目		説明
その他のセキュリティ設定	ユーザー証明書	ユーザー証明書を表示します。
	ストレージからインストール※2	システムメモリ（本体）から証明書のインストールを行います。
	証明書を消去	VPNの設定情報など、すべての証明書データとパスワードを削除します。
	トラストエージェント※1	信頼できる端末が接続されると、選択した操作を実行します。
	アプリ固定モード	本端末の画面に特定のアプリを固定できるようにするかどうかを設定します。
	使用履歴へのアクセス	アプリに本端末の使用履歴の読み取りを許可するかどうかを設定します。
	通知へのアクセス	アプリに通知の読み取りを許可するかどうかを設定します。
	[通知をミュート]の管理アプリ	「通知をミュート」の設定を変更する権限を持つアプリを表示します。

※1 「画面ロックの種類」によって表示が異なります。
※2 インストールした証明書を削除する場合は、「証明書を消去」をタップし、認証情報ストレージから削除する必要があります。「証明書を消去」では認証情報ストレージ内のすべての証明書が削除されます。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除パターンやPIN、パスワードをタッチスクリーンで入力しなければならないように設定できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「画面ロックの種類」

2 画面ロックの解除方法を選択 → 画面の指示に従って入力

・「PIN」は4～16桁の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4～16桁の英数字で設定してください。
・ロック画面への通知情報の表示のしかたを設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- 画面ロックをOFFにするには、ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「画面ロックの種類」→ 設定した解除方法を入力 →「なし」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗するごとに、30秒後に再度実行するようメッセージが表示されます。10回連続して失敗すると、それ以降は失敗するごとに30秒後に再度実行するようメッセージが表示されます。
  - PINやパスワードを忘れた場合は、パソコンからFind My Mobileのホームページにアクセスし、「画面のロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。本機能は本端末がWi-FiまたはモバイルネットワークにⅠ接続され、Galaxyアカウントが設定されている場合に利用できます。詳細については、Find My Mobileのホームページをご参照ください。→ P.126
- Galaxyアカウントが設定されていない状態で画面のロック解除方法を忘れると、本端末を初期化するまで本端末が使えません。このことに関して当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

リモート機能を有効にする

遠隔操作で端末の追跡や管理をします。

1 Galaxyアカウントを設定

- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のGalaxyアカウントがある場合は、サインインしてください。→ P.126

2 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「端末リモート追跡サービス」→「リモートコントロール」※

- Galaxyアカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力 →「確認」をタップします。
- 説明画面が表示された場合は、「OK」をタップします。

3 パソコンでFind My Mobile（端末リモート追跡）のホームページを開く

4 Galaxyアカウントでログイン後、画面の指示に従って設定を行う

※ Galaxyアカウントが登録されると、「リモートコントロール」は自動でONになるため、本端末での操作は不要となります。パソコンで手順3から実施してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「●」で表示されます。

■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■画面ロック用PIN／パスワード

本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

■ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/

■PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となるように設定できます。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
PINロック解除コード（8桁）を入力 →「OK」→ 新しいPINコードを入力 →「OK」→ 再度新しいPINコードを入力 →「OK」をタップします。

■PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

■dアカウント

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケット等のドコモが提供するサービスを利用する時に必要なID／パスワードです。

■Googleアカウント

Google アカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogle アカウントを設定することで、Gmail を利用してE メールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「その他のセキュリティ設定」→「SIMカードロック設定」→「SIMカードをロック」→ PINコードを入力 →「OK」

- 「SIMカードをロック」がONになります。

PINコードを変更する

「SIMカードをロック」（P.122）を設定している場合に、PINコードを変更できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「その他のセキュリティ設定」→「SIMカードロック設定」

2 「SIMカードのPINを変更」→ 画面の指示に従って現在のPINコードと新しいPINコードを入力

指紋認証

指紋認証機能は、指紋センサーに指を当てて行う認証操作です。

■ 指紋認証利用時の注意事項

- 本機能は指紋の特徴情報を認証に利用するためのものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で複数回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指を当てた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。手が乾燥しているなど、指の状態によっては指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- 指紋の登録や認証の際は、第１関節をセンサー中央に合わせ、指を当てます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を押し当ててください。
- 指を曲げたり、指先だけで指紋センサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 指の当て方が弱かったり指の離し方が速すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。できるだけ指紋の渦の中心を指紋センサーの中心に当ててください。
- （電源／画面ロックキー）を押してから、または（ホームボタン）を押し込んでからロック画面が表示されるまでの間は、指紋センサーに触れないでください。指紋センサーが機能しなくなることがあります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。異なる２つの指紋を指紋センサーが誤認識する可能性は非常に低いですが、特徴が非常に似た異なる指紋を同一の指紋と認識することがあります。当社では本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時の注意事項

- 指紋センサー表面や操作する指先に汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、指紋センサー表面をひっかいたり、ペン先など先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- 泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障および破損の原因となることがあります。
- お買い上げ時に貼り付けられている保護フィルムをはがしてからご使用ください。保護フィルムを貼り付けたまま使用すると、正常に認識できないことがあります。
- 指紋センサー表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れなどが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が解消されることがあります。
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい、乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬季など乾燥する時期は、特にご注意ください。

指紋認証機能を設定する

指紋を登録したり、利用する機能を設定します。指紋は最大４件まで登録できます。

■ 指紋を登録する

- 画面ロックの解除方法については、「画面ロックの解除方法を設定する」（P.120）をご参照ください。

1 ホーム画面で → 「設定」 → 「ロック画面とセキュリティ」 → 「指紋認証」

2 画面のロック解除方法を設定

3 以降、画面の指示に従って指紋を登録

■ Galaxy Passでの認証操作利用を設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「指紋認証」
- 指紋を保護するセキュリティを解除します。

2 「Galaxy Pass」

3 以降、画面の指示に従って設定
- ホーム画面にGalaxy Passのアイコンが表示されます。

■ 指紋を解除する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「指紋認証」
- 指紋を保護するセキュリティを解除します。

2 削除する指紋をロングタッチ →「削除」→「削除」

指紋認証を行う

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサーに指を置く
- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

お知らせ
- 端末のロック解除に指紋を使用しない場合は、指紋認証画面で「指紋ロック解除」をOFFにします。
- 指紋が正しく認証されない場合は、🔒をタップし、指紋登録時に登録したロック解除方法を使用しても、画面ロックを解除することができます。
- 認証操作に5回失敗すると、30秒後に再度実行するようメッセージが表示されます。

顔認証

所有者の顔を認識して本端末のロック解除ができます。

■ 顔認証利用時の注意事項
- 双子などの見た目が似ている他の人でもロック解除ができる場合があります。
- 顔認証の安全性はパターン、PIN、パスワード、虹彩または指紋よりも劣ります。

■ 顔登録時の注意事項
- 登録の際は、眼鏡、帽子、マスクの着用、ひげや化粧の濃さなどの状態をよく確認してください。
- 薄暗い環境やカメラのレンズが汚れたまま登録しないでください。
- 認識の成功率を高めるために、画像がぼやけていないことを確認してください。

顔認証機能を設定する

■ 顔を登録する
- 画面ロックの解除方法については、「画面ロックの解除方法を設定する」(P.120)をご参照ください。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「顔認証」
- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。

2 「続行」→ 画面のロック解除方法を設定

3 「続行」→ 画面の指示に従って顔を登録

■ 顔データを削除する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「顔認証」
- 顔認証を保護するセキュリティを解除します。

2 「顔データを削除」→「削除」

顔認証を行う

1 画面に顔を向ける
- 正しく認証されない場合は、顔登録時に登録したセキュリティ解除方法で認証操作を行ってください。

虹彩認証

本端末は、あらかじめ登録した所有者の虹彩情報でセキュリティの認証を行う虹彩認証機能を搭載しています。

■ 虹彩認証用カメラおよびLED利用時の注意事項

虹彩認証用カメラおよびLEDを使用する前に、以下の注意事項に留意してください。

- 眼を保護するために虹彩認証中に画面から20cm以上離れてください。
- 当社が承認していない画面プロテクター（プライバシー保護フィルム、強化ガラスプロテクターなど）を本端末に貼らないでください。このようなプロテクターを貼ると虹彩認証用LEDに近づいても虹彩認証用LEDがOFFにならないことがあります。
- 虹彩認証を乳幼児に対して使用しないでください。視力障害などの原因となります。
- めまい、発作、意識喪失、失神などのてんかんに関連する症状を経験したり、ご家族がこのような症状を経験されている場合は、虹彩認証のご使用にあたって医師とよく相談してください。
- 虹彩認証は医療デバイスとして使用することを意図したものではなく、虹彩認証でローカルに収集および保存される生体データは、医療（診断、治療、または予防）を目的としたものではありません。

■ 虹彩登録時の注意事項

虹彩登録時の注意事項は次のとおりです。

- 虹彩登録は、室内か直射日光の当たらない所で行ってください。
- 眼鏡またはコンタクトレンズをはずして登録してください。

■ 虹彩認証時の注意事項

虹彩認証時の注意事項は次のとおりです。

以下の場合、本端末で虹彩を認証できないことがあります。

- 何らかの形で虹彩が隠れている場合（眼鏡、直射日光、まぶたが下がっている、眼の手術または病気）
- 虹彩認証用カメラまたは虹彩認証用LEDとの間に何かがある場合（画面プロテクター、汚れ、カメラの損傷）
- 虹彩を登録したときと照明が大きく異なる場合（部屋がより明るいなど）
- 本端末が過度に傾いている、または動いている場合

虹彩認証機能を設定する

■ 虹彩を登録する

- 画面ロックの解除方法については、「画面ロックの解除方法を設定する」（P.120）をご参照ください。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「虹彩認証」

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。

2「続行」→ 画面のロック解除方法を設定

3「続行」→ 画面の指示に従って虹彩を登録

■ 虹彩認証の設定

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「虹彩認証」

2 各項目を設定

■ 虹彩情報を削除する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ロック画面とセキュリティ」→「虹彩認証」

- 虹彩認証を保護するセキュリティを解除します。

2「虹彩データを削除」→「削除」

虹彩認証を行う

1 ロック画面で虹彩認証操作を行う

- 正しく認証されない場合は、虹彩登録時に登録したセキュリティ解除方法で認証操作を行ってください。

クラウドとアカウント

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「クラウドとアカウント」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
Galaxyクラウド	→ P.126
アカウント	→ P.126
バックアップと復元	→ P.127
Smart Switch	古い端末から画像、連絡先、メッセージなどのコンテンツを転送します。

Galaxyクラウド

Galaxyクラウドを利用した連絡先やカレンダーやブラウザ、ギャラリーなどのデータの同期やバックアップと復元について設定します。Galaxyクラウドの利用には、Galaxyアカウントへのサインインが必要です。

アカウント

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「クラウドとアカウント」→「アカウント」

項目	説明
docomo	あらかじめdocomoのアカウントが登録されています。
アカウント追加	→ P.126

お知らせ

- 「アカウント追加」でGoogleアカウントを設定すると、GmailやGoogle PlayなどのGoogleサービスがご利用になれます。

アカウントを設定する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「クラウドとアカウント」→「アカウント」→「アカウント追加」

2 追加したいアカウントの種類をタップ

3 画面の指示に従って設定

- Facebookなどログインが必要なオンラインサービスの場合は、メールアドレスやパスワードなどを入力して「ログイン」などをタップします。

お知らせ

- 登録済みのアカウントを修正する場合は、アカウントを削除してから登録し直してください。
- 同期させる項目を変更するには、ホーム画面で ⊞ →「設定」→「クラウドとアカウント」→「アカウント」→ 変更するアカウントをタップ →「アカウントを同期」→ 同期させる項目のみONにします。
- 手動で同期させる場合は、ホーム画面で ⊞ →「設定」→「クラウドとアカウント」→「アカウント」→ 同期するアカウントをタップ →「アカウントを同期」→ ⋮ →「今すぐ同期」をタップします。

Galaxyアカウントについて

Galaxyアカウントを設定すると、Find My Mobile（端末リモート追跡）を利用して本端末をリモートコントロールしたり、本端末とGalaxyアカウントとの間でデータを同期したりすることができます。

- Galaxyアカウントは、ホーム画面で ⊞ →「設定」→「クラウドとアカウント」→「アカウント」→「アカウント追加」→「Galaxyアカウント」をタップして、画面の指示に従って設定します。
- Find My Mobile（端末リモート追跡）の詳細については、以下のホームページをご覧ください。
  http://findmymobile.samsung.com/

お知らせ

- Galaxyアカウントに設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。また、パスワードを忘れた場合は、「IDまたはパスワードを忘れた場合」をタップして、画面の指示に従って操作してください。

アカウントを削除する

登録したアカウントを削除すると、本端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや連絡先、設定など）も削除されます。

- サーバーに保存されたデータは削除されません。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「クラウドとアカウント」→「アカウント」

2 削除したいアカウントをタップ → ⋮ →「アカウントを削除」→「削除」

- パスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力してください。
- アカウントによっては手順が異なる場合があります。

3 「アカウントを削除」

お知らせ

- 登録されているアカウントによっては、削除できない場合があります。削除するには、「工場出荷状態に初期化」（P.131）を実行してください。

バックアップと復元

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「クラウドとアカウント」→「バックアップと復元」

項目	説明
データをバックアップ	Galaxyアカウントを使用して、データをバックアップします。
データを復元	Galaxyアカウントを使用して、バックアップデータを復元します。
データのバックアップ	Googleアプリの設定やデータなどをGoogleサーバーにバックアップします。
バックアップアカウント	バックアップするGoogleアカウントを設定します。
Googleアカウント	Googleアカウントと関連するアプリの各種バックアップを設定します。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップした設定およびデータを復元するように設定します。

ドコモのサービス／クラウド

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
dアカウント設定	ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。
ドコモクラウド	ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。
ドコモアプリ管理	定期アップデート確認などを設定します。
おすすめ使い方ヒント	おすすめ使い方ヒントを利用するための設定をします。
オートGPS	オートGPSの設定や、測位した場所の履歴を表示します。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
プロフィール設定	ドコモの各種サービスで利用するお客様のプロフィール情報を、確認・変更できます。
ドコモサービス初期設定	端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。
USBデバッグ切替	ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

お知らせ

- ドコモサービスで表示されるアプリの中には無効化設定できるものがあり、無効化設定されたアプリは、ドコモサービスの一覧には表示されなくなる場合があります。
- 新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすることで、ドコモサービスの一覧に項目が追加表示される場合があります。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

- Google設定の詳細については、Google画面で ≡ →「ヘルプ」をタップしてヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「Google」

- Google設定画面が表示されます。

2 各項目を設定

- Bluetooth機器を使用して音声検索を行うには、手順2で「検索」→「音声」→「Bluetooth ヘッドセット」をタップします。

ユーザー補助

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ユーザー補助」

2 項目を選択して設定を行う

項目		説明
視覚	Voice Assistant	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。
	Voice Assistantヘルプ	タッチ操作の練習やチュートリアルを行います。 ・「Voice Assistant」をONにすると使用できます。
	画面の情報を保護	プライバシー保護のため、画面を常にOFFの状態にします。 ・「Voice Assistant」をONにすると設定できます。 ・▯（電源／画面ロックキー）を2回押して本機能の有効／無効を切り替えられます。
	高速キー入力	指を離すと選択した文字を入力するように設定できます。 ・「Voice Assistant」をONにすると設定できます。
	ボイスラベル	NFCタグに音声録音を書き込み、周囲の対象物に関する情報を提供します。
	フォントと画面のズーム	画面のズーム設定や文字サイズを設定します。
	高コントラストフォント	フォントの色および輪郭を調整します。
	高コントラストキーボード	キーボードのサイズを調整してキーボードの色を変更します。
	ボタンを強調して表示	ボタンを影付き表示にします。
	ルーペウィンドウ	画面上のコンテンツを拡大表示します。
	拡大	画面の拡大操作を設定します。

項目		説明
視覚	マウス／タッチパッドポインターを拡大	マウスやタッチパッドのポインターを大きくします。
	ネガポジ反転	画面のカラーを反転します。
	色の調整	色覚テストを行い、ディスプレイ表示を最適な色に調整します。
	カラーレンズ	文字が読みづらい場合、画面の色を調整できます。
聴覚	音を検出して通知	ドアチャイムまたは赤ちゃんの泣き声を検出すると、振動で通知するように設定します。
	フラッシュ通知	通知情報があるときにライトを点滅して知らせるかどうかを設定します。
	全ての音を消音	受話音声を含む、すべての音を消音に設定します。
	Galaxy字幕（CC）	字幕の表示方法を設定・確認します。
	Google字幕（CC）	
	左右のサウンドバランス	イヤホンを使用してメディアプレイヤーで音楽を聴くときの左右のサウンドバランスを設定します。
	モノラル再生	モノラルイヤホンで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。
操作と制御	ユニバーサルスイッチ	カスタマイズしたスイッチで本端末をコントロールします。
	アシスタントメニュー	手先が不自由なユーザーのために、本端末のユーザー補助を向上させる機能を有効にします。
	かんたんに画面をON	上向きに置いた本端末の上に手をかざすだけで画面をONにできるように設定します。
	長押しの認識時間	タッチパネルがロングタッチを感知する時間を設定します。

項目		説明
操作と制御	ポインター停止後にクリック	マウス使用時などにポインターが停止したら自動的にクリックするかどうかを設定します。
	入力操作制御	タッチ操作をブロックする範囲などを設定します。 • 本機能を有効にして動作を設定するには、▯（電源／画面ロックキー）と音量UPキーを同時に長押しし、画面の指示に従って操作してください。 • 本機能を有効にすると、「自動回転」（P.33）が自動的にOFFになります。
テキスト読み上げ		テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
スワイプコンビネーションロック		スワイプ方向の組み合わせで画面のロックを解除します。設定を解除するにはスワイプコンビネーションロック画面で「ON」をタップして画面の指示に従って操作してください。
ダイレクトアクセス		▯（電源／画面ロックキー）と音量UPキーを押してユーザー補助機能を設定／解除できるようにします。
ユーザー補助ショートカット		ユーザー補助ショートカットがONの場合、両方の音量キーを3秒間長押しすると、選択したサービスが開始されます。
通知リマインダー		SMSやEメールなどの未読通知があるときにバイブまたはサウンドで通知するかどうかとその通知間隔を設定します。

項目	説明
通話応答／終了	かかってきた電話に出る操作方法を追加したり、▯（電源／画面ロックキー）を押して電話を切ることができるように設定したりすることができます。 ・「電源キーを押して通話終了」がONの状態で、通話中にスリープモードになった場合は、▯（電源／画面ロックキー）を押してスリープモードを解除してから▯（電源／画面ロックキー）を押すと通話を終了できます。
シングルタップモード	着信に応答／拒否、アラームの停止／スヌーズなどの動作を、ドラッグの代わりにタップ操作で行うかどうかを設定します。
ユーザー補助設定のバックアップ	インポート／エクスポート：ユーザー補助設定をファイルとして保存（エクスポート）したり、保存済みファイルをインポートしてユーザー補助設定を更新したりします。 共有：ユーザー補助設定ファイルをオンラインサービスで共有したり、Bluetooth機能やメールなどで送信したりします。
おすすめ使い方ヒント	操作や利用状況にあわせて端末の使い方をご紹介する機能です。

お知らせ

- 「Voice Assistant」の使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェイスでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「Voice Assistant」の使用を許可すると、タッチガイド機能も有効になります。タッチガイドとは、指の位置にあるアイテムの説明を読み上げたり表示したりする機能です。タッチガイド機能をONにすると、項目の選択は一度タップして選択してからダブルタップ、スクロールは2本の指での操作になります。
- ホーム画面がdocomo LIVE UXのときに、「Voice Assistant」が正常に動作しないことがあります。

一般管理

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「一般管理」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
言語とキーボード	→ P.130
日付と時刻	→ P.131
お問い合わせ	Galaxy Membersが利用できます。
診断情報を報告	診断情報の報告をするかどうかを設定します。
マーケティング情報	マーケティング情報を受信するかどうかを設定します。
リセット	→ P.131

言語とキーボード

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「一般管理」→「言語とキーボード」

項目	説明
言語	使用する言語を設定します。
標準キーボード	標準使用するキーボードを設定します。
オンスクリーンキーボード	Galaxy日本語キーボード／ドコモ文字編集／ Google音声入力について設定します。
ハードウェアキーボード	外付けキーボードを使用する際の設定をします。
キーボードボタンを表示	ナビゲーションバーに表示することで、キーボードをすばやく切り替えることができます。
自動入力サービス	許可すると、アプリなどでユーザー名やパスワードを求められた場合に自動入力するようになります。
テキスト読み上げ	テキストを読み上げるための音声合成エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。
ポインター速度	マウス／トラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。

日付と時刻

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「一般管理」→「日付と時刻」

項目	説明
自動日時設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正します。初期状態では自動的に補正されるように設定されています。
日付設定※	日付を設定します。 • 日付を手動で設定するには、「自動日時設定」をOFFにしてから設定を行います。
時刻設定※	時刻を設定します。 • 時刻を手動で設定するには、「自動日時設定」をOFFにしてから設定を行います。
タイムゾーンを選択	タイムゾーンを設定します。 • タイムゾーンを手動で設定するには、「自動日時設定」をOFFにしてから設定を行います。
24時間形式を使用	時刻を24時間表記に切り替えます。

※ 日付・時刻情報が自動的に補正されることがあります。

リセット

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「一般管理」→「リセット」

項目	説明
設定をリセット	個人データ、ダウンロードしたアプリの設定、セキュリティ、言語、およびアカウント設定を除き、本端末を初期状態にリセットします。
ネットワーク設定をリセット	Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetoothなどのネットワーク設定をリセットします。
工場出荷状態に初期化	本端末を初期状態にリセットします。
自動再起動	設定された時刻に自動的に再起動するかどうかを設定します。再起動によって本端末は最適化されます。このとき、保存されていないデータは失われます。

ソフトウェア更新

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ソフトウェア更新」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
更新を手動でダウンロード	→ P.153
更新を自動的にダウンロード	→ P.153
ソフトウェアの更新予約	ソフトウェア更新の予約時間を設定します。
最終更新情報	最終更新情報を確認します。

端末情報

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末情報」

2 項目を選択して設定を行う

項目	説明
編集	BluetoothやWi-Fi Directなどで表示される名称を編集できます。
電話番号	電話番号を表示します。
モデル番号	型番を表示します。
シリアル番号	シリアル番号を表示します。
IMEI	IMEIを表示します。
ステータス	SIMカードの状態やIMEI情報などを表示します。
法定情報	オープンソースライセンス：オープンソースの使用許諾条件を確認します。 Google利用規約：Googleの利用規約を確認します。 システムのWebViewライセンス：WebViewライセンスを確認します。 Samsung規約：エンドユーザーライセンス契約を確認します。 Samsung Knoxのプライバシーに関する注意：Samsungのセキュリティポリシー、プライバシーポリシーを確認します。
認証情報	本端末の認証情報を表示します。
ソフトウェア情報	Androidのバージョンなどを確認します。
バッテリー情報	本端末のバッテリー残量などを表示します。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末情報」
- 「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

ファイル管理

ストレージ構成

本体（内部ストレージ）

本端末の初期状態では、内部ストレージ（/storage/emulated/0）に作成される主なフォルダは以下のとおりです。

- 本端末の操作状況によっては、表示されるフォルダが異なる場合があります。

項目	説明
Alarms	アラーム音として設定したい音楽データなどを保存します。
Android	システムや各種アプリの設定データや一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画や表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）した画像のデータが保存されます（保存先を本端末に設定している場合）。
Download	ブラウザでダウンロードしたデータが保存されます。
Movies	動画データが保存されます。
Music	音楽データが保存されます。
Notifications	通知音として設定したい音楽データなどを保存します。
Pictures	画像データなどを保存します。
Podcasts	ポッドキャストデータが保存されます。
Ringtones	着信音として設定したい音楽データなどを保存します。
Samsung	Galaxy関連サイトから取得したデータが保存されます。

microSDカード（外部ストレージ）

本端末はmicroSDカードを取り付けて使用することができます。

- 本端末で使用できるmicroSDカードの詳細については「microSDカード」（P.24）をご参照ください。
- microSDカードの取り付け／取り外し方については「microSDカードの取り付け」（P.24）と「microSDカードの取り外し」（P.25）をご参照ください。

ファイル操作

フォルダやファイルの操作

「マイファイル」を利用して、本端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。

- フォルダによっては、名前の変更や削除などの操作ができないものがあります。

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」

2 カテゴリ／端末内の項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- フォルダ／ファイルをロングタッチするとチェックが付き、項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

3 利用したいファイルをタップ
- ファイルが表示／再生されます。

ショートカットを作成する

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」

2 カテゴリ／端末内の項目をタップ

3 ショートカットを作成したいフォルダ／ファイルをロングタッチ → ⋮ →「ショートカットを追加」→「マイファイル」／「ホーム画面」

マイファイルのメイン画面のショートカットを削除する

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」

2 ⋮ →「ショートカットを管理」→ 削除したいショートカットを選択 →「削除」
- ショートカットをホーム画面に作成した場合は、ホーム画面のアイコンをロングタッチし、「ホーム画面から削除」へドラッグします。

フォルダを作成する

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」

2 端末内の項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

3 ⋮ →「フォルダ作成」→ フォルダ名を入力 →「作成」

フォルダやファイルの名前を変更する

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」
2 カテゴリ／端末内の項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
3 名前を変更したいフォルダ／ファイルをロングタッチ → ⋮ →「名前を変更」→ 名前を入力 →「名前を変更」

フォルダやファイルを削除する

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」
2 カテゴリ／端末内の項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
3 削除したいフォルダ／ファイルをロングタッチ →「削除」→「削除」

フォルダやファイルを移動／コピーする

1 ホーム画面で ⊞ →「マイファイル」
2 カテゴリ／端末内の項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
3 移動／コピーしたいフォルダ／ファイルをロングタッチ → ⋮ →「移動」／「コピー」
4 移動先／コピー先のフォルダを選択 →「完了」

マイファイルのメニュー

マイファイルのメイン画面、フォルダ／ファイル一覧画面で ⋮ をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

データ検索

1 マイファイルのメイン画面、フォルダ／ファイル一覧画面で 🔍
2 ファイル名や拡張子などを入力
- 検索されたファイルが一覧表示されます。
- ファイルタイプからファイルを検索することもできます。

データ通信

Bluetooth通信

本端末とBluetoothデバイス間で、無線でデータのやりとりができます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」（P.154）をご参照ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が短くなります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から約2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず約3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
3. 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
4. Bluetoothデバイスが発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetoothデバイスの電源を切ってください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、約20m以上離してください。
2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスコードについて

Bluetooth機能のパスコードは、接続するBluetoothデバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスコード（最大16文字の半角英数字）が必要です。Bluetoothデバイスによっては、入力する必要があります。

- 本端末ではパスコードを「PIN」「パスキー」と表示している場合があります。

Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Bluetooth」

2 ○

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消耗を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

本端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（接続設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続までを続けて行うデバイスがあります。
- Bluetoothデバイスによって、ペアリング時にパスコード（PIN）の入力が必要な場合があります。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Bluetooth」

2 ○

- 検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。
- Bluetoothデバイスが表示されない場合は、「スキャン」をタップして再度検索します。

3 接続したいデバイスをタップ

4 パスコードを確認 →「OK」

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「OK」をタップします。

接続を解除する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、接続中のデバイスをタップします。

ペアリングを解除する

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「Bluetooth」
2 ペアリングを解除したいデバイスの ⚙ →「ペアリングを解除」

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の連絡先データ）、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリの「共有」「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 「ファイル転送」画面が表示されたら、「承認」
- ステータスバーに ↓ が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら通知パネルを開き、「ファイルを受信」をタップすると、受信したデータの一覧が表示されます。表示／再生したいデータをタップすると、受信したデータを確認することができます。

NFC通信

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。本端末のリーダー／ライター機能（R/W）や機器間通信機能（P2P）を利用して、本端末をNFCタグに近づけてデータを受信したり、NFCモジュールを搭載した他の機器とデータの送受信をしたりすることができます。

- 対向機にかざす際の注意事項については、P.82をご覧ください。

NFCのReader/Writer, P2PをONにする

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間でデータを送受信するには、Reader/Writer, P2P機能をONにする必要があります。

- 「Android Beam」をONにすると、P2P機能を搭載した他の対応端末との間で、ウェブページや連絡先などのコンテンツを送受信できます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「NFC ／おサイフケータイ 設定」→「Reader/Writer, P2P」
2 ○
- Android Beamを利用する場合は、「NFC ／おサイフケータイ 設定」画面で「Android Beam」→ ○ をタップします。

データを送受信する

1 本端末／相手機器で送信するコンテンツを表示
2 本端末と相手機器の 📶 マークを近づける
3 本端末の画面をタップ／相手機器からコンテンツの送信操作を行う
- コンテンツが送信／受信されます。
- アプリの選択画面が表示された場合は、利用するアプリを選択してください。

お知らせ

- 本端末と相手機器から同時にコンテンツの送信操作を行うと、送信が正しく動作しない場合があります。
- 画面ロックの設定中は、NFCタグ情報の送受信はできません。
- NFC ／おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Android Beamを利用できません。
- アプリによってはAndroid Beamをご利用になれません。
- すべてのReader/Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

外部機器接続

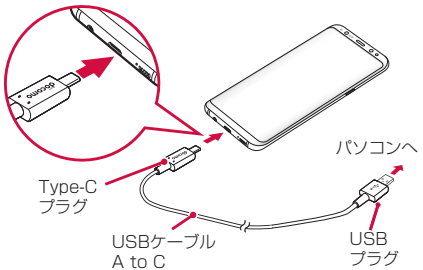
パソコンとの接続

USBケーブル A to Cで接続する

本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 01（別売）で接続すると、パソコン用Galaxy Smart Switch（P.138）とデータを同期したり、本端末をメディアデバイスとして認識させたりできます。

1 本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブル A to CのType-Cプラグを差し込み、本端末をパソコンに接続

- USBプラグとType-Cプラグは、水平に差し込みます。



2 通知パネルを開く →「USBをファイル転送に使用」

- 本端末上に「USBを使用」画面が表示されます。

項目	説明
ファイルを転送	本端末がメディアデバイス（MTP）として認識され、音楽や動画などのメディアファイルを転送できます。
画像を転送	本端末で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。 • MTP非対応のパソコンなどにデータを転送する場合に使用します。
MIDI機器に接続	本端末をMIDIプレーヤーまたは、MIDI対応機器の入力ソースとして使用します。
端末の充電のみ	充電のみ行います。
接続されたデバイスに給電	本端末に接続されたデバイスに給電します。 • 接続するデバイスによっては給電できない場合があります。

お知らせ

- USBケーブル A to CのUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にUSBケーブル A to Cを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- 接続可能なOSは、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Mac OS X10.5以降です。

Galaxy Smart Switchを利用する

Galaxy Smart Switchを利用して、音楽や動画などのメディアファイルや個人情報を管理したり、本端末のソフトウェアを更新したりできます。
ご自分が所有または譲渡する権利を持つコンテンツのみ転送してください。
著作権法の侵害についてSamsung Electronics Co., Ltd.は責任を負いかねます。

- パソコン用Galaxy Smart SwitchはGalaxy Smart Switchのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。ご利用時の注意事項や詳細については、下記のGalaxy Smart Switchホームページをご覧ください。
  http://www.galaxymobile.jp/apps/smart-switch/

パソコンと接続してSmart Switch を起動する

1 本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 01で接続（P.137）

2 パソコンで「Smart Switch」を起動
- 画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- USBケーブル A to CのUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データ転送中にUSBケーブル A to Cを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

プリンターとの接続

Wi-Fi機能やUSB接続を利用して本端末に対応しているプリンターで印刷できます。

- Wi-Fi機能を使用する場合は、本端末とプリンターは、同一のWi-Fiネットワークに接続されているか、Wi-Fi Directで接続している必要があります。あらかじめ無線LAN（Wi-Fi）およびプリンター側の設定を行ってください。
- USB接続を使用する場合、対応している接続ケーブルにつきましては、プリンターの取扱説明書をご確認ください。
- 使用するプリンターに接続するには、あらかじめプリンターのプラグインをインストールしておく必要があります。プラグインをインストールするには、ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「その他の接続設定」→「印刷」→「サービスを追加」をタップして画面の指示に従って設定してください。

プリンターで印刷する

1 印刷可能なアプリの画面で ⋮ →「共有」→「印刷」
- 画面の指示に従って操作してください。
- 印刷する手順はアプリによって異なります。

Smart View

本端末とWi-Fi Miracast対応機器をWi-Fi接続して、テレビやディスプレイなどに端末の画面やコンテンツを表示します。

1 通知パネル →「Smart View」

2 検出されたWi-Fi Miracast 対応機器をタップ

- Wi-Fi Miracast対応機器と切断するには、接続済みの機器をタップ →「接続を解除」をタップしてください。

お知らせ

- Wi-Fi Miracastを使った映像送信はトランスコードして送信するため、画像劣化が発生することがあります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

国際ローミング（WORLD WING）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/

■ 対応ネットワークについて

本端末は、LTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz／GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

（○：利用可能）

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM(GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信※1	○	○	○	○

※1 ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください（P.141）。

お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます（P.39）。

海外でご利用になる前に

出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について
- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について
- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について
- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

事前設定

■ ネットワークサービスの設定について
ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。
- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作（有料）」の設定を行うこともできます。日本国内から（P.64）、海外から（P.144）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について
「通信事業者」の設定を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

海外で利用するための設定

■ データローミングの設定
海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を「ON」にする必要があります。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」

2「データローミング」→ 注意画面の内容を確認して「OK」

■ 通信事業者の設定
初期状態では、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「通信事業者」→「ネットワークを検索」
- 利用可能なネットワークが表示されます。
- 情報画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「モバイルデータ」をOFFにして再度実行してください（P.108）。

2 通信事業者のネットワークを選択

お知らせ
- 手順1で、「自動選択」をタップすると、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定を戻せます。

■ ネットワークモードの設定

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」

2「4G／3G／GSM(自動接続)」／「3G／GSM(自動接続)」／「GSMのみ」

■ 日付と時刻について
「日付と時刻」の「自動日時設定」がONになっている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。
- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは、海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」（P.131）

■お問い合わせについて
- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で → 「ダイヤル」

2 ＋（「0」をロングタッチ）→ 国番号 → 地域番号（市外局番）→ 相手の電話番号を入力
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3 → 「WORLD CALLで発信」／「そのまま発信」
- ビデオコールを発信する場合は、 → 「ビデオコール」をタップします。

4 通話が終了したら

お知らせ
- ビデオコールの詳細については、「電話をかける」（P.58）をご覧ください。

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で → 「ダイヤル」

2 相手の電話番号を入力

3

4 通話が終了したら

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「+」と「81」（日本の国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「番号指定拒否」（P.64）が動作しない場合があります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で → ⋮ →「通話設定」→「海外設定」

2 必要に応じて設定を変更する

項目	説明
ローミング時着信規制	国際ローミング中に着信を規制することができます。
ローミング着信通知	国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
ローミングガイダンス	国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
国際ダイヤルアシスト	→ P.143
ネットワークサービス	→ P.144

■ 国際ダイヤルアシストの設定

1 ホーム画面で → ⋮ →「通話設定」→「海外設定」→「国際ダイヤルアシスト」

2 項目を選ぶ

項目	説明
自動変換機能	国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
国番号	自動変換機能で使用される国番号を選択します。
国際プレフィックス	自動変換機能で使用される国際プレフィックスを選択します。

■ ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります（P.64）。
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で → ⋮ →「通話設定」→「海外設定」

2「ネットワークサービス」→ 目的のサービスを選択

項目	説明
遠隔操作（有料）	遠隔操作を開始するかどうかを設定します。
番号通知お願いサービス（有料）	発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。
ローミング着信通知（有料）	→P.143
ローミングガイダンス（有料）	→P.143
留守番電話サービス（有料）	電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（お申込み必要）
転送でんわサービス（有料）	かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（お申込み必要）

3 画面表示に従って操作

4 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「4G ／ 3G ／ GSM（自動接続）」に設定してください（P.141）。
- 「モバイルネットワーク」の「通信事業者」を「自動選択」に設定してください（P.141）。

付録／索引

試供品

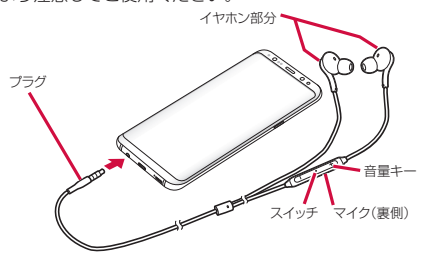
AKGチューニングマイク付高音質イヤホン

- 本端末には、AKGチューニングマイク付高音質イヤホンを使用してください。他のイヤホンマイクなどを使用した場合、音楽の再生音などが聞こえにくくなることがあります。
- AKGチューニングマイク付高音質イヤホンを接続すると、AKGチューニングマイク付高音質イヤホンのスイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

ご使用方法

1 AKGチューニングマイク付高音質イヤホンのプラグを本端末のヘッドホン接続端子に差し込む

- ホーム画面などを表示中にスイッチを押すと、以下の操作ができます。
  - 音楽の再生／一時停止
  - 電話を受ける／終了する
- 音量キーを押すと、音量を調節できます。
- プラグを奥まで確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
- AKGチューニングマイク付高音質イヤホンのコードが本人や周囲の人、物にからまないよう注意してご使用ください。



- 使い終わったら、プラグを本端末のヘッドホン接続端子から水平に引き抜きます。

■ イヤピースのサイズが合わないときは

AKGチューニングマイク付高音質イヤホンには、あらかじめ取り付けられているイヤピース以外に、予備のイヤピースが2種類付属しています。サイズが合わないと感じたときは、交換してください。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
  https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（ソフトウェア更新 → P.153）
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

□ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。→ P.27
画面が動かない、電源が切れない	• 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に ▯（電源／画面ロックキー）と音量DOWNキーを7～8秒間押すと、強制的に再起動することができます。 ※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

□ 充電

症状	チェック項目
充電ができない	• アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリーソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 • ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末と正しく接続されていますか。→ P.27 • USBケーブル A to C 01（別売）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

□ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながらアプリやテレビ（フルセグ／ワンセグ）視聴などを長時間行った場合などには、本端末やアダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。 • 複数のアプリを起動していませんか。使用していないアプリを終了してください。→ P.49 • Wi-Fi機能やBluetooth 機能を使用していないときは、設定をOFFにしてください。→ P.106、P.135
タッチスクリーンをタップしても動作しない	• 画面ロックが設定されていませんか。▯（電源／画面ロックキー）を押すか、□（ホームボタン）を押し込んで画面ロックを解除してください。→ P.28、P.120
タッチスクリーンをタップしたときの画面の反応が遅い	• 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 • 保護シートが貼られていませんか。保護シートによって動作が認識されにくくなる場合があります。
ドコモnanoUIMカードが認識されない	• ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→ P.22
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「自動日時設定」が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→ P.131
端末動作が不安定	• お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード（初期状態に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 - セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から▯（電源／画面ロックキー）を2秒以上押し、docomoのロゴが消えた後、音量DOWNキーを押し続けてください。 ※ セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、通知パネルを開いて「セーフモードがON」→「OFF」をタップしてください。 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 - アプリやウィジェットによっては消去される場合があります。 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。
本端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない	• 本端末のメモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了するなどして、メモリの空き容量を確保してください。→ P.117

症状	チェック項目
データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない	• 電源を入れ直してください。電源を入れ直しても問題が解決しないときは、「工場出荷状態に初期化」（P.131）を実行すると問題が改善される場合があります。ただし、本端末に保存されたすべてのデータが削除されるため、必要なデータを事前にバックアップした上で実行してください。
アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	• 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→ P.118

□ 通話

症状	チェック項目
電話発信キーをタップしても発信できない	• ドコモnanoUIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか。→ P.22 • 機内モードを設定していませんか。→ P.109
着信音が鳴らない	• 「音量」を最小にしていませんか。→ P.113 • 「着信音」を「サイレント」にしていませんか。→ P.113 • マナーモード（バイブ、サイレント）に設定していませんか。→ P.113 • 「番号指定拒否」を設定していませんか。→ P.64 • 機内モードに設定していませんか。→ P.109 • 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。→ P.64 • 伝言メモの応答時間を「0秒」にしていませんか。→ P.63
通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを取り付け直してください。→ P.22、P.28 • 電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 「番号指定拒否」を設定していませんか。→ P.64 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
ネットワークに接続できない	• 電波の弱い場所で使用していませんか。 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→ P.28

□ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	• 「画面のタイムアウト」で設定した時間を経過していませんか。→ P.115 • ディスプレイの明るさを調整していませんか。→ P.115 • 省電力モードを設定していませんか。→ P.116 • 電池残量が少なくなっていませんか。→ P.132

□ 音声

症状	チェック項目
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 通話音量を変更していませんか。→ P.113

□ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	• 「アカウントを同期」をOFFにしていませんか。ONにしてください。→ P.73 • 「同期スケジュール」の「同期スケジュールを設定」を「手動」に設定していませんか。同期スケジュールを設定してください。→ P.73
添付ファイルが削除されて画像を見ることができない	• 「受信サイズの制限」を確認してください。→ P.73

□ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

□ テレビ（フルセグ／ワンセグ）

症状	チェック項目
テレビ（フルセグ／ワンセグ）の視聴ができない	• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。 • エリア情報を設定していますか。→ P.89 • 外付けテレビアンテナケーブル SC04を接続していますか。→P.84

□ おサイフケータイ

症状	チェック項目
おサイフケータイが使えない	• おまかせロックを設定すると、NFC／おサイフケータイロックの設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→ P.82 • 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→ P.82

□ 海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない	**■ アンテナマークが表示されている場合** • WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 **■ 圏外が表示されている場合** • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。「ネットワークモード」を「4G ／ 3G ／ GSM(自動接続)」に設定してください。→ P.141「通信事業者」を「自動選択」に設定してください。→ P.141 • 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→ P.28
海外でデータ通信ができない	• 「データローミング」をONにしてください。→ P.141
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
海外で電話がかかってこない	• 「ローミング時着信規制」を「サービス開始」に設定していませんか。→ P.143
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

□ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードをマウントしてください。→ P.117 • microSDカードを取り付け直してください。→ P.24
画像が表示されない	• 画像データが壊れている場合は が表示されることがあります。
本端末をパソコンに接続しても動作しない	• Galaxy Smart SwitchまたはWindows Media Player 10以上をパソコンにインストールしてください。
ステータスバーに が表示される	• システムメモリ（本体）の空き容量が低下したときに表示されます。このままご使用になられると一部機能やアプリが動作しない場合があります。アプリやメディアコンテンツなどのデータを削除して、空き容量を確保してください。→ P.53、P.134

□ Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetoothデバイスと接続ができない／サーチしても見つからない	• Bluetoothデバイス（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みのデバイスを削除後、再度登録する場合は、デバイスと本端末の双方で登録されているデバイスを削除してから登録してください。
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

□ 地図・GPS機能

症状	チェック項目
オートGPSサービス情報が設定できない	• 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。「低電力時動作設定」により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。→ P.26、P.127 • 「オートGPS動作設定」がOFFになっていませんか。→P.127

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXXは停止しました。／プロセスXXXXは停止しました。※	本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」／「OK」をタップしてから再度操作してください。	−
電話を発信するために、機内モードをOFFにしますか？	機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。機内モードをOFFにしてから再度操作してください。	P.109
モバイルネットワークは利用できません。	ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられていません。ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。	P.22
しばらくお待ちください（音声サービス）／しばらくお待ちください（データサービス）	通話・通信回線においてアクセスが集中しているため、通信規制がかかっているときに表示されます。規制が解除されてから再度操作してください。	−
ビデオコールへの切り替え要求に失敗しました。	ビデオコールへの切り替えができない場合に表示されます。緊急通報中や音声ガイダンス中、通話相手がキャッチホンを使用している場合、サービスエリアの圏外で通話している場合などは、切り替えができません。	P.58 P.61
音声通話への切り替え要求に失敗しました。	通信エラーなどにより、ビデオコールから音声通話への切り替えができない場合に表示されます。しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	P.61
発信できませんでした	ビデオコールの発信ができない場合に表示されます。サービスエリア圏内であることや、通話モード設定、モバイルネットワークの設定などを確認してください。	P.58
ソフトウェアを更新できません。ネットワークまたはサーバーエラーが発生しました。後ほどお試しください。	サーバーとの通信に失敗しました。しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	P.153

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
カメラを起動できませんでした。	カメラの起動に失敗したときに表示されます。しばらく時間をおいてから操作をやり直すか、本端末の電源を入れ直してください。 電池残量またはメモリの空き容量を確認してください。	P.28 P.90 P.117 P.132
端末の温度が高すぎるため、カメラを使用できません。カメラを使用するには、温度が下がるまでお待ちください。	端末の温度上昇により、カメラを終了したときに表示されます。しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	P.90
録画に失敗しました。	動画撮影が正常的に行われない場合に表示されます。 カメラアプリを終了し、アプリを再起動してください。	P.90
サーバーエラーが発生しました。カメラを再起動してください。	メディアサーバーにエラーが発生し、異常終了する場合に表示されます。 カメラアプリを終了し、アプリを再起動してください。	P.90
カメラを利用するアプリケーションを同時に複数使用することはできません。カメラを終了します。	カメラを使用するアプリが同時に2つ以上実行されている場合に表示されます。 カメラアプリを終了し、アプリを再起動してください。	P.90
ビルトインアプリを無効にすると、他のアプリでエラーが発生する原因になります。	アプリを無効化すると、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。「OK」をタップして無効化し、他のアプリが正しく動作しなくなった場合は、アプリを有効化してください。	P.118
ブラウザは停止しました。	ブラウザにエラーが発生したときに表示されます。「OK」をタップし、しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。	P.76
証明書が見つかりません	SSLを利用したウェブページから要求される証明書が、本端末にない場合に表示されます。対応する証明書を本端末にインストールしてください。	−
証明書ベースの認証に失敗しました	SSLを利用したウェブページから証明書を要求されていますが、本端末に保存されている証明書では承認されない場合などに表示されます。対応する証明書を本端末にインストールしてください。	−

※ XXXXには、エラーが発生したアプリや機能の名称などが表示されます。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモnanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話する

ドコモの携帯電話からの場合：（局番なしの）15710（無料）

一般電話などからの場合：0120-783-360

受付時間 午前9：00～午後8：00（年中無休）

本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で → 「遠隔サポート」→「このスマートフォンから発信する」→「ダイヤル」／「電話」をタップして発信操作を行います。

2 ホーム画面で →「遠隔サポート」

はじめて利用するときは、「アプリケーション・プライバシーポリシー」に関する確認画面が表示されるので、内容を確認して「同意する」にチェックし、「使用開始」をタップします。

3「遠隔サポートの接続画面に進む」→「同意する」

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 接続後、遠隔サポートを開始

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 外付けテレビアンテナケーブル SC04、AKGチューニングマイク付高音質イヤホン、SIM取り出しツールは無料修理保証の対象外となります。
- AKGチューニングマイク付高音質イヤホン、SIM取り出しツールは試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子・ディスプレイなどの破損）による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後４年間を基本としております。
修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - › ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
    - › 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - › 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障･損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切ってお早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

インターネット上のダウンロードサイトから本端末のアップデートファイルをダウンロードし、ソフトウェアのアップデートを行います。ソフトウェアアップデートには、本端末で直接ネットワークに接続して行う方法と、パソコンにインストールしたパソコン用Galaxy Smart Switch（P.138）を使って行う方法の2種類があります。

ソフトウェアアップデートについての注意事項

ソフトウェアアップデートは本端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェアアップデートの前に以下の準備を行ってください。
  - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する（P.49）
  - 本端末を充電（P.26）し、電池残量を十分な状態にする
- 本端末で直接ネットワークに接続してソフトウェアアップデートを行う場合は、電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェアアップデートを中断することがあります。
- ソフトウェアアップデート（ダウンロード、アップデートファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェアアップデートファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- 国際ローミング中にアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続（ドコモnanoUIMカード未挿入）で行ってください。
- ソフトウェアアップデートに失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

本端末だけでアップデートする

本端末でネットワークに接続して本端末のソフトウェアをアップデートできます。

1 ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ソフトウェア更新」→「更新を手動でダウンロード」

- Wi-Fi接続時にソフトウェア更新を自動的にダウンロードする場合は、「更新を自動的にダウンロード」をONにします。

2 画面の指示に従って操作

- アップデートするファイルが正常にダウンロードされた後、アップデートするように操作を行うと、端末が再起動され、アップデートが開始されます。アップデート中には電話などの機能を使用できません。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードした後、インストール続行の確認画面で「後で」または「夜間にインストール」をタップすると、インストールの実行を延期できます。
  延期した場合でも、以下の操作でインストールをすぐに開始できます。
  - ホーム画面で ⊞ →「設定」→「ソフトウェア更新」→「更新を手動でダウンロード」→「今すぐインストール」
  - 通知パネルを開く →「ソフトウェア更新」→「今すぐインストール」
- アップデートの内容によっては、利用できるネットワークが制限される場合があります。

主な仕様

本体

品名		SC-02J
サイズ		高さ：約149mm、 幅：約68mm、 厚さ：約8mm（最厚部：約8.2mm）
質量		約150g
メモリ		ROM 64GB※1 RAM 4GB
連続待受時間	FOMA ／ 3G	静止時（自動）：約310時間
	LTE	静止時（自動）：約340時間
	GSM	静止時（自動）：約270時間
連続通話時間	FOMA ／ 3G	約1070分
	VoLTE音声通話	VoLTE：約1250分 VoLTE(HD+)：約1200分
	GSM	約700分
充電時間	ACアダプタ 06（別売）	約110分※2
	DCアダプタ 04（別売）	約130分※3
	ワイヤレスチャージャー 03（別売）	約200分
画面部分	種類	SuperAMOLED（有機EL）
	サイズ	約5.8inch
	発色数	16,777,216色
	解像度（ピクセル数）	横1440ピクセル× 縦2960ピクセル QHD+
撮像素子	種類	外側：裏面照射型CMOS 内側：裏面照射型CMOS
	サイズ	外側：1/2.5 inch 内側：1/3.6 inch
カメラ有効画素数		外側：約1220万画素 内側：約800万画素
カメラ記録画素数（最大時）		外側：約1220万画素 内側：約800万画素
デジタルズーム		最大約8.0倍（70段階）
ワンセグ	連続視聴時間	約720分
	録画時間	1GBあたり約6時間
フルセグ	連続視聴時間	約550分
	録画時間	1GBあたり約8分
表示言語		日本語／英語／韓国語／中国語／ポルトガル語／ベトナム語
入力言語（文字入力・音声入力）		文字入力：日本語／英語／韓国語 音声入力：Google音声入力による
ヘッドホン接続端子		3.5 φイヤホンジャック
	極数	4極
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n※4 /ac※4 準拠（IEEE802.11n周波数帯：2.4GHz／5GHz）
Bluetooth機能	対応バージョン※5	Bluetooth標準規格 Ver. 5.0
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class 1
	見通し通信距離※6	約10m以内
	対応プロファイル※7	Hands-Free Profile（HFP（mSBC））（1.7） Headset Profile（HSP）（1.2） Object Push Profile（OPP）（1.2） Serial Port Profile（SPP）（1.2） Human Interface Device Profile（HID）（1.0） Advanced Audio Distribution Profile（A2DP（aptX／SBC／LDAC））（1.3） Audio/Video Remote Control Profile（AVRCP）（1.4） Phone Book Access Profile（PBAP）（1.1.1） Personal Area Networking Profile（PAN（PAN-NAP／PANU））（1.0） SIM Access Profile（SAP）（1.1） HID over GATT Profile（HOGP）（1.0） Message Access Profile（MAP）（1.2）

※1 Android OSや初期状態に搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。使用可能な空き容量については、「ストレージ」（P.117）をご参照ください。
※2 「急速ケーブル充電」をONにした際の数値です。ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末のメンテナンス」→「バッテリー」→ ⋮ →「詳細設定」→「急速ケーブル充電」で設定できます。
※3 microUSB変換アダプタ B to C 01（別売）を使用した場合の充電時間です。
※4 MIMOに対応しています。
※5 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※6 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※7 Bluetooth通信の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。

  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

□ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.85V
公称容量	3000mAh

□ 外付けテレビアンテナケーブル SC04

長さ	約130mm
質量	約5g

ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は以下のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

本端末でOffice文書などを閲覧できます。
対応している種類は以下のとおりです。

種類	拡張子
Microsoft Word	doc、docm、docx、odt、rtf、txt、pdf
Microsoft Excel	ods、xls、xlsb、xlsm、xlsx、xlt、csv、skv
Microsoft Power Point	odp、pps、ppsm、ppsx、ppt、pptm、pptx

動画の撮影時間（目安）

撮影サイズ	SC-02J（本体）※
FHD（1920×1080）	1件あたり約33分

※ 初期状態での録画可能時間です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話の比吸収率（SAR）

この機種［SC-02J］の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.619 W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.919 W/kg(※3)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。
このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html

ドコモのホームページ
https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

Galaxyのホームページ
http://www.samsung.com/sar/sarMain.do
→ LOCATION欄で「JAPAN」→ Phone Model欄で「SC-02J」→「GO」

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model [SC-02J] mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves(*1) and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.619 W/kg (*2) and when worn on the body is 0.919 W/kg (*3). There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.
The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm

Association of Radio Industries and Businesses Website:
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/

Galaxy Website:
http://www.samsung.com/sar/sarMain.do
→ Select "JAPAN" from "LOCATION" → Type "SC-02J" in Phone Model field → "GO"

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).
*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.
*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.64 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.57 W/kg.

Body-worn operation

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of https://www.fcc.gov/fccid after searching on FCC ID A3LSC02J
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

本端末はFederal Communications Commission (FCC)の承認を取得しています。
本端末のFCC IDは、以下の手順で確認できます。
確認方法：
ホーム画面で ⊞ →「設定」→「端末情報」→「認証情報」をタップします。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.455 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 1.740 W/kg.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

Product details

For the following
Product : GSM WCDMA LTE Bluetooth/Wi-Fi Mobile Phone

Model(s) : SC-02J

CE 0168 !
TÜV SÜD BABT

Declaration & Applicable standards

We hereby declare, that the product above is in compliance with the essential requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC) by application of:

SAFETY	EN 50360 : 2001 / A1:2012	EN 50566 : 2013
	EN 60950-1:2006 + A11:2009 + A1:2010 + A12:2011 + A2:2013	
	EN 62479 : 2010	
EMC	EN 301 489-1 V1.9.2 (09-2011)	EN 301 489-17 V2.2.1 (09-2012)
	EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010)	EN 301 489-3 V1.6.1 (08-2013)
	EN 301 489-7 V1.3.1 (11-2005)	
RADIO	EN 300 328 V1.9.1 (02-2015)	EN 300 330-2 V1.6.1 (03-2015)
	EN 300 440-2 V1.4.1 (08-2010)	EN 301 511 V12.1.1 (06-2015)
	EN 301 893 V1.8.1 (03-2015)	EN 301 908-1 V7.1.1 (03-2015)
	EN 301 908-13 V7.1.1 (12-2015)	EN 301 908-2 V7.1.1 (12-2015)
	EN 302 291-2 V1.1.1 (07-2005)	

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment by application of EN 50581:2012.
and the Eco-Design Directive (2009/125/EC) implemented by Regulation (EC) No 1275/2008 for standby and off mode, and network standby, electric power consumption.

Representative in the EU

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park
Saxony Way, Yateley, Hampshire
GU46 6GG, UK*

2017.04.14
(Place and date of issue)

Stephen Colclough / EU Representative
(Name and signature of authorized person)

※ This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉコンシェル」「マチキャラ」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「おまかせロック」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「mopera U」「ビジネスmopera」「エリアメール」「spモード」「eトリセツ」「おサイフケータイ」「トルカ」「dマーケット」「d メニュー」「かざしてリンク」「フォトコレクション」「しゃべってコンシェル」「あんしん遠隔サポート」「あんしんスキャン」および「ｉコンシェル」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴ、「トルカ」ロゴ、「エリアメール」ロゴ、「eトリセツ」ロゴ、「しゃべってコンシェル」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「iD」ロゴ、「マイマガジン」ロゴ、「フォトコレクション」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標です。

Bluetooth®

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標または商標です。

Wi-Fi CERTIFIED

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2018 All Rights Reserved.
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

G-GUIDE MOBILE

- その他本書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 他社のSIMカードを挿入

2 本端末を起動し、画面ロックを解除

3 SIMロック解除コードを入力

4 「ロック解除」

お知らせ

- SIMロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、SIMロック解除がブロックされます。
- SIMロック解除の状態は、本端末起動時のロック画面で確認できます。

索引

かな

あ

アカウント…… 126
　削除…… 127
　設定…… 126
明るさ…… 115
アクセスポイント
　初期化…… 111
　設定…… 111
アプリ…… 118
アプリ画面…… 45
アプリ画面の見かた…… 54
暗証番号
　PINコード…… 122
　PINロック解除コード（PUK）…… 122
　ネットワーク暗証番号…… 122
あんしん遠隔サポート…… 151
位置情報…… 96
印刷…… 138
ウェブブラウザ…… 76
エッジスクリーン…… 20
　エッジパネル…… 41
おサイフケータイ…… 81
音量を調節する…… 113

か

海外で利用可能なサービス…… 140
顔認証…… 124
カメラ…… 90
　カメラの設定…… 92
　撮影画面の見かた…… 90
　静止画を撮影…… 91
　動画を撮影…… 91
画面ロックの解除方法を設定…… 120
画面ロックを解除する…… 28
画面ロックを設定する…… 28
カレンダー…… 98
かんたんモード…… 115
キーボードの種類（入力方法）を切り替える…… 33
機内モード…… 109
キャッチホン…… 64
ギャラリー…… 94
緊急速報「エリアメール」…… 75
緊急通報…… 59
クイック検索ボックス…… 49
公共モード（電源OFF）設定…… 64
虹彩認証…… 125
高度な機能…… 30
国際電話（WORLD CALL）…… 63
国際ローミング（WORLD WING）…… 140

さ

最近使用したアプリの一覧…… 49
辞書…… 103
指定した電話番号からの着信とメッセージを拒否する…… 65
自分の電話番号を確認…… 132
指紋認証…… 123
充電…… 26
仕様…… 154
省電力モード…… 116
初期設定…… 36
スクリーンキャプチャ…… 33
スクリーンセーバー…… 115
スクロール…… 29
ステータスバー…… 37
　主なステータスアイコン…… 38
　主な通知アイコン…… 37
ストレージ…… 117
スワイプ…… 29
静止画
　撮影…… 91
　表示…… 94
設定メニュー…… 105
ソフトウェアアップデート…… 153

た

タッチスクリーン…… 29
タップ…… 29
タップ&ペイ…… 82
ダブルタップ…… 29
着信音
　設定…… 113
着信拒否…… 59
　SMSで送信する拒否理由を登録する …… 65
　メッセージを送信…… 59
着信履歴…… 62
通知LED …… 37
通知音
　設定…… 113
通知パネル…… 39
通話設定…… 64
通話を保留…… 61
ディスプレイ…… 20
ディスプレイの表示方向
　切り替え…… 33
データ使用量…… 108
テザリング…… 109
テレビ（フルセグ／ワンセグ）…… 83
電源を入れる／切る…… 28
伝言メモ…… 63
転送でんわサービス…… 64
電卓…… 101
電話帳…… 67
　電話をかける…… 69
　登録…… 67
電話を受ける…… 59
電話をかける…… 58
　電話帳…… 69
　履歴…… 62
動画
　再生…… 94
　撮影…… 91
時計…… 97
　アラーム…… 97
　ストップウォッチ…… 98
　世界時計…… 97
　タイマー…… 98
ドコモnanoUIMカード…… 21
　PINコード…… 122
　取り付ける…… 22
　取り外す…… 23
ドコモアプリ管理…… 127
ドコモデータコピー…… 101
ドコモメール…… 70
ドラッグ…… 29
トラブルシューティング（FAQ）…… 145
トルカ…… 83

な

内蔵電池
　充電時間…… 154
　内蔵電池の寿命について…… 26
　連続通話時間…… 154
　連続待受時間…… 154
ナビゲーションバー…… 30

は

ハイブリッドダウンロード…… 111
バイブレーションのパターンを設定…… 113
パソコンとの接続
　USBケーブル A to Cで接続 …… 137
発信者番号通知…… 64
発信履歴…… 62
比吸収率（SAR）…… 156
ビデオコール
　通話中の画面…… 60
ピンチアウト…… 29
ピンチイン…… 29
フリック…… 29
フルセグ…… 83
プレイヤー…… 95

分割画面表示 50
ボイスレコーダー 100
防水／防塵性能 18
ホーム画面 44
ホーム画面のバックアップと復元 56
バックアップ 56
復元 56
ホーム画面の見かた 52

ま

マイク付高音質イヤホン 145
マイファイル 133
マイプロフィール 69
マイマガジン 57
マチキャラを表示 54
マナーモード 113
メール 70
Eメール 72
Gmail 74
SMS 70
ドコモメール 70
メディアプレイヤー 95
文字入力 33
Galaxy日本語キーボードの設定を行う 35
切り取り 35
コピー 35
貼り付け 35

ら

留守番電話サービス 64
ロック画面 28
ロングタッチ 29

わ

ワンセグ 83

英数字

ACアダプタ 27
充電 27
Always On Display 32
Bixby 32
Bixby Vision 93
Bluetooth 135
docomo LIVE UX 52
きせかえ 53
dマーケット 79
dメニュー 79
Eメール 72
アカウントを設定 72
作成して送信 72
受信 73
設定 73
Galaxy Apps 80
Galaxy Notes 99
Galaxy Smart Switch 138
Galaxyアカウント 126
Galaxy日本語キーボード 33
キーボードの種類 34
ワイルドカード予測 34
Galaxyホーム 44
Gmail 74
Google Play 80
Googleマップ 97
経路を検索 97
GPS 96
microSDカード 24
初期化 26
取り付け 24
取り外し 25
NFC／おサイフケータイ 設定 109
Playストア 80
S Health 104
SIMカードロック設定 122
SIMロック解除 161

Smart View …… 139
SMS …… 70
作成して送信…… 70
受信…… 71
spモード …… 111
VPN …… 111
Wi-Fi …… 106
WORLD CALL …… 63
YouTube …… 103

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）（P.64）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

■ バイブ（P.113）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード（バイブ、サイレント）（P.113）
キー確認音・着信音など本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.64）、転送でんわサービス（P.64）などのオプションサービスが利用できます。

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から　dメニュー→My docomo（お客様サポート）
パソコンから　My docomo（https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/）

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

総合お問い合わせ先〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）

※ 一般電話などからはご利用になれません。

受付時間 午前9:00 ～ 午後8:00（年中無休）

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※ 一般電話などからはご利用になれません。

受付時間 24時間（年中無休）

■ 一般電話などからの場合

0120-800-000

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

● 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

● 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
ドコモのホームページ　https://www.nttdocomo.co.jp/

海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示　-81-3-6832-6600（無料）

（「+」は「0」をロングタッチします。）

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■ 一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号　-81-3-6832-6600（有料）

※ 日本向け通話料がかかります。

※ 国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間　24時間（年中無休）

● 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
● 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
● お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

試供品のお問い合わせ先

■ Galaxyカスタマーサポートセンター

0120-363-905

受付時間　午前9:00 ～ 午後8:00（年中無休）

● 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
● 試供品については、本書内でご確認ください。

危険です、歩きスマホ。

キケン！水ぬれ充電

Li-ion 00

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
'18.3（2.1版）